

あぶるま苑改修 2 期工事（建築工事）

図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
D ー 1	図面リスト	D ー 2 0	改修後立面図 1	D ー 3 9	現況矩計図 2	D ー 5 8	雪底防止柵詳細図 3・改修後E X P・J廻り納まり
D ー 2	特記仕様書 1	D ー 2 1	改修後立面図 2	D ー 4 0	現況矩計図 3	D ー 5 9	現況E X P・J詳細図
D ー 3	特記仕様書 2	D ー 2 2	現況断面図	D ー 4 1	現況矩計図 4	D ー 6 0	改修後E X P・J詳細図
D ー 4	特記仕様書 3	D ー 2 3	改修後断面図	D ー 4 2	現況A階段矩計図	D ー 6 1	現況建具伏図
D ー 5	特記仕様書 4	D ー 2 4	現況2階天井伏図	D ー 4 3	改修後矩計図 1	D ー 6 2	現況建具表 1
D ー 6	特記仕様書 5	D ー 2 5	改修後2階天井伏図	D ー 4 4	改修後矩計図 2	D ー 6 3	現況建具表 2
D ー 7	特記仕様書 6	D ー 2 6	浴室現況・改修後平面図	D ー 4 5	改修後矩計図 3	D ー 6 4	現況建具表 3
D ー 8	配置図・案内図	D ー 2 7	浴室洗面台廻り・浴槽改修図	D ー 4 6	改修後矩計図 4	D ー 6 5	現況建具表 4
D ー 9	設計概要・工事概要・外部仕上表	D ー 2 8	一般浴室断面詳細図	D ー 4 7	改修後A階段矩計図	D ー 6 6	現況建具表 5
D ー 1 0	現況1階平面図	D ー 2 9	一人浴槽詳細図	D ー 4 8	屋上外部階段詳細図	D ー 6 7	現況建具表 6
D ー 1 1	現況2階平面図	D ー 3 0	現況渡り廊下2階平面図・屋根平面図	D ー 4 9	現況雑詳細図 1	D ー 6 8	
D ー 1 2	現況塔屋・屋根平面図	D ー 3 1	現況渡り廊下断面図 1	D ー 5 0	現況雑詳細図 2	D ー 6 9	
D ー 1 3	現況屋根平面図	D ー 3 2	現況渡り廊下断面図 2	D ー 5 1	改修後雑詳細図 1	D ー 7 0	
D ー 1 4	改修後1階平面図	D ー 3 3	現況渡り廊下立面図・建具表	D ー 5 2	改修後雑詳細図 2	D ー 7 1	
D ー 1 5	改修後2階平面図	D ー 3 4	改修後渡り廊下2階平面図・屋根平面図	D ー 5 3	屋上笠木詳細図 1	D ー 7 2	
D ー 1 6	改修後塔屋・屋根平面図	D ー 3 5	改修後渡り廊下断面図 1	D ー 5 4	屋上笠木詳細図 2	D ー 7 3	
D ー 1 7	改修後屋根平面図	D ー 3 6	改修後渡り廊下断面図 2	D ー 5 5	雪底防止柵詳細図 1	D ー 7 4	
D ー 1 8	現況立面図 1	D ー 3 7	改修後渡り廊下立面図・建具表	D ー 5 6	雪底防止柵詳細図 2	D ー 7 5	
D ー 1 9	現況立面図 2	D ー 3 8	現況矩計図 1	D ー 5 7	雪底防止柵詳細図 3・現況E X P・J廻り納まり	D ー 7 6	

あぶるま苑改修 2 期工事		令和 年 月（全 枚）		Ⅱ 特記仕様		2 1 騒音・粉じん等の対策		3 3 アスファルト防水		乾式保護材の材料	
仕 様 書		Ⅰ 共通仕様		1. 本共通仕様及び特記仕様に記載されていない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版」（以下「改修標仕」という。）により、改修標仕に記載されていない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版」（以下「標仕」という。）による。		2 仮設工事		防水改修工事		防水改修工事	
2. 改修標仕に用いられている用語を、次のとおり読み替える。 (1) 「工事請負契約書」を「魚沼市財務規則（平成16年11月1日 規則第49号） 別記（第67条関係）建設工事請負基準約款」（以下「約款」という。）に読み替える。 (2) 「監督職員」を「監督員」に読み替える。 (3) 「特記仕様書」を「特記仕様」に読み替える。		2. 改修標仕に用いられている用語を、次のとおり読み替える。 (1) 「工事請負契約書」を「魚沼市財務規則（平成16年11月1日 規則第49号） 別記（第67条関係）建設工事請負基準約款」（以下「約款」という。）に読み替える。 (2) 「監督職員」を「監督員」に読み替える。 (3) 「特記仕様書」を「特記仕様」に読み替える。		3. 仮設工事		3. 仮設工事		4. 改質アスファルトシート防水		5. 合成高分子系 ルーフingシート防水	
6. 養生		7. 養生		8. 仮設間仕切り		3 1 施工数量調査		6 塗膜防水		7 脱気装置	
9. 養生		10. 養生		11. 養生		3 2 防水の保証等		3 3 アスファルト防水		3 4 アスファルト防水	
12. 養生		13. 養生		14. 養生		3 5 アスファルト防水		3 6 アスファルト防水		3 7 アスファルト防水	
15. 養生		16. 養生		17. 養生		3 8 アスファルト防水		3 9 アスファルト防水		3 10 アスファルト防水	
18. 養生		19. 養生		20. 養生		3 9 アスファルト防水		3 10 アスファルト防水		3 11 アスファルト防水	
21. 養生		22. 養生		23. 養生		3 10 アスファルト防水		3 11 アスファルト防水		3 12 アスファルト防水	
24. 養生		25. 養生		26. 養生		3 11 アスファルト防水		3 12 アスファルト防水		3 13 アスファルト防水	
27. 養生		28. 養生		29. 養生		3 12 アスファルト防水		3 13 アスファルト防水		3 14 アスファルト防水	
30. 養生		31. 養生		32. 養生		3 13 アスファルト防水		3 14 アスファルト防水		3 15 アスファルト防水	
33. 養生		34. 養生		35. 養生		3 14 アスファルト防水		3 15 アスファルト防水		3 16 アスファルト防水	
36. 養生		37. 養生		38. 養生		3 15 アスファルト防水		3 16 アスファルト防水		3 17 アスファルト防水	
39. 養生		40. 養生		41. 養生		3 16 アスファルト防水		3 17 アスファルト防水		3 18 アスファルト防水	
42. 養生		43. 養生		44. 養生		3 17 アスファルト防水		3 18 アスファルト防水		3 19 アスファルト防水	
45. 養生		46. 養生		47. 養生		3 18 アスファルト防水		3 19 アスファルト防水		3 20 アスファルト防水	
48. 養生		49. 養生		50. 養生		3 19 アスファルト防水		3 20 アスファルト防水		3 21 アスファルト防水	
51. 養生		52. 養生		53. 養生		3 20 アスファルト防水		3 21 アスファルト防水		3 22 アスファルト防水	
54. 養生		55. 養生		56. 養生		3 21 アスファルト防水		3 22 アスファルト防水		3 23 アスファルト防水	
57. 養生		58. 養生		59. 養生		3 22 アスファルト防水		3 23 アスファルト防水		3 24 アスファルト防水	
60. 養生		61. 養生		62. 養生		3 23 アスファルト防水		3 24 アスファルト防水		3 25 アスファルト防水	
63. 養生		64. 養生		65. 養生		3 24 アスファルト防水		3 25 アスファルト防水		3 26 アスファルト防水	
66. 養生		67. 養生		68. 養生		3 25 アスファルト防水		3 26 アスファルト防水		3 27 アスファルト防水	
69. 養生		70. 養生		71. 養生		3 26 アスファルト防水		3 27 アスファルト防水		3 28 アスファルト防水	
72. 養生		73. 養生		74. 養生		3 27 アスファルト防水		3 28 アスファルト防水		3 29 アスファルト防水	
75. 養生		76. 養生		77. 養生		3 28 アスファルト防水		3 29 アスファルト防水		3 30 アスファルト防水	
78. 養生		79. 養生		80. 養生		3 29 アスファルト防水		3 30 アスファルト防水		3 31 アスファルト防水	
81. 養生		82. 養生		83. 養生		3 30 アスファルト防水		3 31 アスファルト防水		3 32 アスファルト防水	
84. 養生		85. 養生		86. 養生		3 31 アスファルト防水		3 32 アスファルト防水		3 33 アスファルト防水	
87. 養生		88. 養生		89. 養生		3 32 アスファルト防水		3 33 アスファルト防水		3 34 アスファルト防水	
90. 養生		91. 養生		92. 養生		3 33 アスファルト防水		3 34 アスファルト防水		3 35 アスファルト防水	
93. 養生		94. 養生		95. 養生		3 34 アスファルト防水		3 35 アスファルト防水		3 36 アスファルト防水	
96. 養生		97. 養生		98. 養生		3 35 アスファルト防水		3 36 アスファルト防水		3 37 アスファルト防水	
99. 養生		100. 養生		101. 養生		3 36 アスファルト防水		3 37 アスファルト防水		3 38 アスファルト防水	
102. 養生		103. 養生		104. 養生		3 37 アスファルト防水		3 38 アスファルト防水		3 39 アスファルト防水	
105. 養生		106. 養生		107. 養生		3 38 アスファルト防水		3 39 アスファルト防水		3 40 アスファルト防水	
108. 養生		109. 養生		110. 養生		3 39 アスファルト防水		3 40 アスファルト防水		3 41 アスファルト防水	
111. 養生		112. 養生		113. 養生		3 40 アスファルト防水		3 41 アスファルト防水		3 42 アスファルト防水	
114. 養生		115. 養生		116. 養生		3 41 アスファルト防水		3 42 アスファルト防水		3 43 アスファルト防水	
117. 養生		118. 養生		119. 養生		3 42 アスファルト防水		3 43 アスファルト防水		3 44 アスファルト防水	
120. 養生		121. 養生		122. 養生		3 43 アスファルト防水		3 44 アスファルト防水		3 45 アスファルト防水	
123. 養生		124. 養生		125. 養生		3 44 アスファルト防水		3 45 アスファルト防水		3 46 アスファルト防水	
126. 養生		127. 養生		128. 養生		3 45 アスファルト防水		3 46 アスファルト防水		3 47 アスファルト防水	
129. 養生		130. 養生		131. 養生		3 46 アスファルト防水		3 47 アスファルト防水		3 48 アスファルト防水	
132. 養生		133. 養生		134. 養生		3 47 アスファルト防水		3 48 アスファルト防水		3 49 アスファルト防水	
135. 養生		136. 養生		137. 養生		3 48 アスファルト防水		3 49 アスファルト防水		3 50 アスファルト防水	
138. 養生		139. 養生		140. 養生		3 49 アスファルト防水		3 50 アスファルト防水		3 51 アスファルト防水	
141. 養生		142. 養生		143. 養生		3 50 アスファルト防水		3 51 アスファルト防水		3 52 アスファルト防水	
144. 養生		145. 養生		146. 養生		3 51 アスファルト防水		3 52 アスファルト防水		3 53 アスファルト防水	
147. 養生		148. 養生		149. 養生		3 52 アスファルト防水		3 53 アスファルト防水		3 54 アスファルト防水	
150. 養生		151. 養生		152. 養生		3 53 アスファルト防水		3 54 アスファルト防水		3 55 アスファルト防水	
153. 養生		154. 養生		155. 養生		3 54 アスファルト防水		3 55 アスファルト防水		3 56 アスファルト防水	
156. 養生		157. 養生		158. 養生		3 55 アスファルト防水		3 56 アスファルト防水		3 57 アスファルト防水	
159. 養生		160. 養生		161. 養生		3 56 アスファルト防水		3 57 アスファルト防水		3 58 アスファルト防水	
162. 養生		163. 養生		164. 養生		3 57 アスファルト防水		3 58 アスファルト防水		3 59 アスファルト防水	
165. 養生		166. 養生		167. 養生		3 58 アスファルト防水		3 59 アスファルト防水		3 60 アスファルト防水	
168. 養生		169. 養生		170. 養生		3 59 アスファルト防水		3 60 アスファルト防水		3 61 アスファルト防水	
171. 養生		172. 養生		173. 養生		3 60 アスファルト防水		3 61 アスファルト防水		3 62 アスファルト防水	
174. 養生		175. 養生		176. 養生		3 61 アスファルト防水		3 62 アスファルト防水		3 63 アスファルト防水	
177. 養生		178. 養生		179. 養生		3 62 アスファルト防水		3 63 アスファルト防水		3 64 アスファルト防水	
180. 養生		181. 養生		182. 養生		3 63 アスファルト防水		3 64 アスファルト防水		3 65 アスファルト防水	
183. 養生		184. 養生		185. 養生		3 64 アスファルト防水		3 65 アスファルト防水		3 66 アスファルト防水	
186. 養生		187. 養生		188. 養生		3 65 アスファルト防水		3 66 アスファルト防水		3 67 アスファルト防水	
189. 養生		190. 養生		191. 養生		3 66 アスファルト防水		3 67 アスファルト防水		3 68 ア	

8 鋼製軽量建具
(標準型鋼製軽量
建具を含む)

簡易気密型ドアの性能値の適用は建具表による

[5.5.2][5.5.6]

鋼板類の種類

[5.5.3]

・垂始めつき鋼板
・ビニル被覆鋼板
・カー鋼板
・ステンレス鋼板

9 ステンレス製建具

簡易気密型ドアの性能値の適用は建具表による

[5.4.2][5.6.2][表5.4.1]

外部に面する建具の耐風圧性

[5.4.2][5.6.2][表5.2.1]

・S-4
・S-5
・S-6

10 木製建具

かまち戸の樹種

かまち()

鏡板()

(16.7.2)

ふすまの種類

Ⅰ類・Ⅱ類

(表16.7.3)

ふすまの上張り

※新鳥の子又はビニル紙程度

(表16.7.3)

ふすまの縁の仕上げ

・塗り縁
・生地縁

(表16.7.10)

・建具表による

11 建具用金具

・製作する(3本)

※製作しない

[5.7.4]

錠札数量

※錠前1組に2枚とする

錠前1組に

枚とする

かざ箱

市販品

形式

・30組用
・60組用
・120組用

・建具表による

12 自動ドアの開閉装置

自動ドアの開閉機構

[5.8.3][表5.8.4]

開閉方法

引き戸用検出装置の種類

※ステイディングドア

・電子マトリックス
・タッチスイッチ

※光線(反射)センサー

・スイングドア

・音波センサー
・熱線センサー
・光電センサー

・押しボタンスイッチ
・多機能トイスイッチ

凍結防止措置

※行わない

・行う()

[5.8.3]

13 自閉式上吊り
引戸装置

※適用する(適用建具及び適用位置は図示による)

[5.9.1]

14 重量シャッター

外部に面するシャッターの耐風圧強度()

N/m²

[5.10.2]

開閉機能

※上部電動式(手動併用)

・上部手動式

[5.10.2]

二重チェーン、急降下制動装置、急降下停止装置等を設けた電動シャッターの

[5.10.2]

設置箇所

・図示

障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所

・図示

屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構

・設ける(設置箇所:・図示)

一般重量シャッターのシャッターケース

※設ける

・設けない

[5.10.2]

15 軽量シャッター

開閉形式

※手動式
・上部手動式(手動併用)

[5.11.2]

外部に面するシャッターの耐風圧強度()

N/m²

[5.11.2]

スラット

厚さ(mm)

・0.5
・0.6
・0.8
・1.0

[表5.11.2]

材質

※塗装溶融亜鉛めっき鋼板又は鋼帯

[5.11.3]

形状

※インターロック形
・オーバラッピング形

[5.11.4]

ガイドレール等

※鋼板製

・ステンレス製SUS304(厚さ1.5mm)

[表5.11.2]

シャッターケース

厚さ(mm)

・0.4
・0.8

[表5.11.2]

・図示による

16 オーバーヘッドドア

セクション材料

開閉方式

収納形式

ガイドレール

※スチールタイプ

※オーバーラ式

・スタンダード形

・溶融亜鉛めっき鋼板

・アルミニウムタイプ

・チェーン式

・ローヘッド形

※ステンレス鋼板(SUS304)

・ファイバークラスチックタイプ

・電動式

・ハブリト形

・オーバーラ形

耐風圧性能による区分

・50
・75
・100
・125

[5.12.2]

17 ガラス

下記以外は、建具表による

[5.13.2]

・合わせガラス

特性による種類

※Ⅱ-1類

強化ガラス

材料板ガラスによる種類

色調

・フロート強化ガラス

Ⅲ類(曲面はⅠ類)

・型板ガラス

材料板ガラスによる種類

・熱線吸収フロート板ガラス

・ブルー
・グレー
・ブロンズ
・グリーン

・熱線吸収網入り磨き板ガラス

複層ガラス

材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ

・建具表による

耐熱性による区分

・T1
・T2
・T3
・T4
・T5
・T6

日射取得性、日射遮へい性による区分

・G
・S

乾燥気体の種類

・空気

熱線反射ガラス

品質

反射皮膜面

材料板ガラスの種類

映像調整

※熱線反射ガラス

※内面
・外面

・フロート板ガラス

※行わない

・高性能熱線反射ガラス

・内面

・熱線吸収フロート板ガラス

・行う

・強化ガラス

・倍強度ガラス

材料板ガラスによる種類の名称

色調

※フロート倍強度ガラス

・熱線吸収倍強度ガラス

・グレー
・ブルー
・ブロンズ

18 ガラス留め材

[5.13.2][表3.7.1]

建具の種類

種類

アルミニウム製及び樹脂製

・シーリング材

※カセット(FIX部はシーリング材)

鋼製及び軽量鋼製

※シーリング材

ステンレス製

※シーリング材

19 ガラス用フィルム

ガラス用フィルム

20 ガラス用フィルム

6 基本要求品質

[6.1.2]

特記以外の建物内部に使用する内装改修工事の既製品等の品質、又は製品を構成する材料及び接着剤の材料の放散量はF☆☆☆☆を基本とする。なお、該当する材料等がない場合において、F☆☆☆☆以外の材料等を使用する場合は監督員の承諾を受けること。

[6.1.3]

・既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲

※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う

・図示の範囲

[6.1.3]

・天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲

※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う

・図示の範囲

[6.1.3]

・天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修

※既存のまま

・図示の範囲

[1.5.2]

3 施工数量調査

下記の調査結果について、施工方法、施工箇所、施工数量等をまとめた施工数量調査報告書を提出し、監督員の承諾を得て施工する。

・内部床、壁、天井等の改修後に見え掛りとなる既存のコンクリート、モルタル、タイル、フローリング、ボード等の面

調査内容

ひび割れの幅及び長さ等を壁面等に図示する。

モルタル、フローリングの浮き部分を壁面に表示する。また、モルタルの欠陥部分(モルタル目地を含む。)を調査する。

仕上材の欠損部、腐朽部、脆弱部を壁面に表示する。

・カーペット工法による床・壁・天井改修箇所の下地材

調査内容

既存下地材の不陸、脆弱部、欠損部を調査する。

天井下地組の強度、腐朽状況を調査する

・改修工事後も使用する建具(枠、額縁を含む。)

調査内容

建具の建付け状況、建具金物の不具合の有無、仕上材の欠損部、腐朽部を調査する。

・設備工事及び既存部分と改修部分との取合い部の整合を調査する。

・造り付けの美観台、作業台、流し及び黒板等で監督員が指示したものについて、欠陥部分不具合の有無を調査する。

[6.2.2]

・ビニルシート等の撤去

※仕上げ材のみ(接着剤とも)

・下地モルタル等(※図示の範囲)

・行わない(※図示の範囲)

[6.2.2]

・合成樹脂塗料の除去工法

・機械的除去工法

※目荒工法

改修後の床の清掃範囲

※改修箇所の室内

[6.2.2]

5 既存壁の撤去並びに下地補修

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修

[6.3.2][4.4.9]

※図示

・[4.4.9]モルタル塗替え工法

仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置

※ステンレス製アンカーピンを縦横200mm程度の間隔に打ち込み、ステンレス等を張る。

・図示

6 木下地等

表面仕上げ

[6.5.1][表6.5.2]

表面仕上げの種類

適用箇所

・A種

・B種

・C種

・H-A種

・H-B種

・H-C種

6 木下地等

内装改修工事

7 集材材

8 合板等

9 防腐・防蟻処理

10 軽量鉄骨天井下地

11 ビニル床シート張り

12 ビニル床タイル張り

「製材の日本農林規格」による製材

[6.5.2]

品名

樹種

寸法(mm)

等級

形状

含水率

保存処理

・下地用針葉樹製材

※2級

・A種・B種

・造作用針葉樹製材

・上小節
・小節以上

・A種・B種

・広葉樹製材

※1等

・A種・B種

「製材の日本農林規格」以外の製材

[6.5.2]

施工箇所

樹種

寸法(mm)

材面の品質

防虫処理

含水率

・

()

・適用する

※A種・B種

・適用しない

・

・樹種のうち杉は、県産材を使用する

造作用集成材等

[6.5.2]

品名

規格・品質

心材の樹種

化粧単板の樹種

見付け材面数

・造作用集成材

※1等・2等

・

・

・化粧ばり造作用集成材

※1等・2等

・

・

・化粧ばり構造用集成材

・1等・2等

・

・

・

・

直交集成板

[6.5.2]

品名

強度等級

種別

接着性能(使用環境)

樹種

・異等級構成直交集成板

・A種
・B種

・A
・B

・

・同一等級構成直交集成板

・A種
・B種

・A
・B

・

・

・

合板等

[6.5.2]

品名

板厚

接着の程度

樹種

防虫処理

・普通合板

※5.5mm

・

※1類・2類

・

・適用する

・構造用合板

※12mm

・

・特種

※1類

・

・適用する

・化粧ばり構造用合板

・

・特種

・1類

・

・適用する

・天然木化粧合板

・

・1類

・2類

・

・適用する

・耐水合板

・12mm・9mm

・

・

防腐・防蟻処理

防腐処理

※行う(適用範囲)

※改修標準6.5.5(1)による

・図示

[6.5.5]

防蟻処理

・行う(適用範囲)

[6.5.5]

防腐・防蟻剤はカビ・シロシ等を含まない非有機剤系の表面処理用木材保存剤とし、種類及び品質等が確認できる資料を監督員に提出し承諾を受ける。

防腐・防蟻処理の方法

工場における加圧式とし、十分に乾燥を行う。

ただし、現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に対し、現場にて表面処理用木材保存剤を塗布することとする。

薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部材

保存処理性能区分

・K2
・K3
・K4

・K2
・K3
・K4

10 軽量鉄骨天井下地

屋外の場合の形式及び寸法

[6.6.3][表6.6.2]

※下表以外は、改修標準6.6.3及び表6.6.2による

下地材の間隔(mm)

施工箇所

野縁受、吊りボルト、インサート

野縁

中央部

周辺部

ただし、建築基準法に基づき指定する条件により、定まる風圧力に対応した工法を改修標準1.2.2[施工計画書]による品質計画で定める。

既存の埋込インサート

・使用する

・使用しない

[6.6.4]

あと施工アンカーの引抜き試験

・行う

・行わない

[6.6.4]

屋外の場合の試験

荷重

・400N

箇所数

・当該階において3箇所程度

・図示

ふところ高が3mを超える場合の補強

※図示

・

[6.6.4]

屋外の天井の補強

※図示

・改修標準6.6.4(11)による

[6.6.4]

11 ビニル床シート張り

[6.8.2]

種類

JISの記号

色柄

厚さ(mm)

※免泡層のないもの

※FS

・

※無地
・マーブル柄

※2.0

・免泡層のあるもの

※柄物
・無地

・

工法

※熱溶接工法

・突付け(施工箇所)

[6.8.3]

・図示

12 ビニル床タイル張り

[6.8.2]

種類

JISの記号

厚さ(mm)

備考

※コンクリート・コンクリート床タイル

KT

※2.0

・単層ビニル床タイル

TT

・

・複層ビニル床タイル

FT

・

・置き敷きビニル床タイル

FOA

・

・薄型置き敷きビニル床タイル

FOB

・

13 帯電防止床タイル張り

内装改修工事

14 誘導用、注意喚起用床材

15 ビニル幅木

16 カーベット敷き

17 合成樹脂塗床

18 フローリング張り

19 畳敷き

20 セットこぼーど
その他のボード張り

視覚障害者用タイル

[6.8.2]

適用箇所

種類

寸法(mm)

形状

屋内

・塩化ビニル系

※300×300

・

・レジンコンクリート系

※300×300

・

・磁器又はせつ器タイル

・

屋外

・コンクリート系

※300×300×60

・300×300×30

・磁器又はせつ器タイル

・

高さ(mm)

※60

○75

・100

[6.8.2]

・織じゅうたん

[6.9.1][6.9.2][表6.9.1]

種別

織り方

バイル形状

帯電性

色・柄等

・A種

・ウイルトンカーベット

・カットバイル

人体帯電圧

※単一色(無地)

・B種

・ダブ・ルーフ・スカーベット

・ルーフバイル

※3kV以下

・柄物(標準品)

・C種

・タキミンスカーベット

・カット、ルーフ併用

・

・タフテッドカーベット

[6.9.2][6.9.3][表6.9.2]

バイル形状

バイル長(mm)

工法

帯電性

・カットバイル

※5.0~7.0

・

※全面接着工法

人体帯電圧

・マルチバイル

※4.0~6.0

・

・グリッド工法

※3kV以下

・バイル、ルーフバイル

※4.0

・

・

・カット、ルーフ併用

・

・タイルカーベット

[6.9.2]

種別

バイル形状

電気抵抗値(Ω)

施工箇所

※第一種

※ルーフバイル

※適用しない

・

・カットバイル

・10⁹Ω以下

[6.10.3][表6.10.4~表6.10.8]

種別

仕上げの種類

・弾性ウレタン樹脂塗床材

※平滑仕上げ

・防滑仕上げ

・つや消し仕上げ

・エポキシ樹脂塗床材

※薄膜流しのべ仕上げ(※平滑・防滑)

・厚膜流しのべ仕上げ(※平滑・防滑)

・樹脂モルタル仕上げ(※平滑・防滑)

・薄膜型塗床

[6.11.2][6.11.3][6.11.4][6.11.5][6.11.6][表6.11.1~表6.11.6]

品名

樹種

等級・種別

板厚

工法

仕上塗装

・フローリングボード1等

・なら

・1等

※15

・

・釘留め工法

・塗装品

・フローリングブロック1等

・なら

・1等

※15

・

・モルタル埋込工法

・

・天然木化粧複合フローリング

・

・A種
・B種
・C種

・

※釘留め工法

・

※塗装品

・複合フローリング(大型積層型式)

・かば

※18

・

※のりくぎ併用

・

・塗装品

※無塗装品

現場塗装仕上げ

・行う(塗料:)

・行わない

[6.11.6]

適用箇所

量の種別

改修標準6.5.10による床組

・A種
・B種
・C種
・D種(※KT-Ⅲ・ボリステルフォーム床下地

・C種
・D種(※KT-Ⅲ・)

・C種

[6.13.2][表6.13.1]

種類

厚さ(mm)・規格等

・硬質木毛セメント板

・15
・20
・25

・普通木毛セメント板

15
・20
・25

・けい酸カルシウム板

タイル2(無石綿)

・ロックウール化粧吸音板

※フロックタイプ(※9.0・12.0

・)

・凹凸タイプ(※12.0・15.0)

・((個)不燃)

・せっこうボード

・9.5(準不燃)

・12.5(不燃)

・不燃積層せっこうボード

9.5(不燃)

・化粧無(下地張り用)

・化粧有(トランペット模様)

・シージンクせっこうボード

・9.5(準不燃)

・12.5(準不燃)

・強化せっこうボード

・12.5(不燃)

・15.0(不燃)

・難燃合板

・普通合板

表板の樹種

板面の品質

厚さ

※図示

接着の程度

・1種
・2種

防虫処理

・行う

・行わない

・12.0

・9.0

・不燃防水石膏ボード

・12.5(不燃)

軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材

[6.13.2]

・せっこうボードの継目処理

[6.13.3][表6.13.5]

目地工法の種類

せっこうボードのエッジの種類

施工箇所

・継目処理工法

・テーパー

・バベル

・突付け工法

・バベル

・タイル

・目透かし工法

・バベル

・タイル

内装改修工事

21 吸音材

[表6.13.1]

種 類	記 号	厚さ(mm)
・ロクワール吸音ボード1号	RW-B	※25
※グラスウール吸音ボード32K	GW-B	※25

22 壁紙張り

[6.14.2]

施工箇所	壁 紙 の 種 類				防火性能の級別	備 考
	紙製	織物	ビニル	化学繊維		
	・	・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃
	・	・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃

モルタル、プラスチック面等の下地調整 [6.14.3][7.2.5][7.2.6][表7.2.4][表7.2.5]

※RB種 ・RA種(施工箇所：)

せっこうボード面の下地調整 [6.14.3][7.2.7][表7.2.7]

・図示による

23 モルタル塗り

[6.15.3]

モルタル ・現場調査材料

(セメントは本特記仕様書8-1、8-2「セメントの種類」による)

・既調査材料

既製目地材 ※適用しない ・適用する(形状は図示による) [6.15.3]

仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 [6.15.5][4.4.9]

・

24 タイル

[6.16.3]

タイルの種類	形状寸法	耐凍害性	うわぐすり	役 物	色	備 考
施工場所・用途	(mm)	あり なし	施 施	有 無	有 無	
		・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・

タイルの試験張り ※行わない ・行う [6.16.3]

タイルの見本焼き ※行わない ・行う [6.16.3]

コンクリート素地の処理 ・目荒し工法 ・ [6.16.3]

壁タイル張りの工法 [6.15.5][表6.16.4][表6.16.6]

内装タイル ※タイル接着剤張り ・積上げ張り

25 フリーアークセーフ

(20.2.2)

施工箇所	構 法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材
	・バネ構法	・	・1.0G	・3,000N	・帯電防止床タイル
	・溝構法	※50未満	・0.6G	・5,000N	・タイルカーペット
	・バネ構法	・	・1.0G	・3,000N	・帯電防止床タイル
	・溝構法	※50未満	・0.6G	・5,000N	・タイルカーペット

注1：耐荷重性能5,000Nについては、国土交通省の建設技術評価「耐震型フリーアークセーフの開発」において評価を取得したものと又は同等のものとする。

注2：表面仕上げ材の品質・規格等は、13 帯電防止床タイル張り、16 カーペット敷きによる。

スロープ及びバースー

※製造所の標準仕様(ただし、構成材は標準20.2.2(2)(イ)による)

・図示

コネクタ等の取付け対応

仕様 ※製造所の標準仕様(コネクタ本数は別途設備工事)

コネクタの箇所数 ※10～15㎡に1箇所程度

配線取出しバネ

フリーアークセーフ全体面積に対する設置割合 ※20～30%

配線取出し開口 ※40mm×80mm程度の開口

空調用吹き出しバネ

※無し

・有り(※固定式 ・可動式 ：施工箇所は図示)

26 可動間仕切

(20.2.3)

構造形式	バネ部の総厚さ(mm)	表面材種厚さ(mm)	バネ表面仕上げ	遮音性
※バネ式	・	※銅板	・ポリ樹脂焼付け	・有り
・スリット式	・	(※0.6 ・0.8)	・アクリル樹脂焼付け	・
・スリットバネ式	・	・	・	・

不燃材料の認定 ・有り

27 移動間仕切

(20.2.4)

遮音性能による区分	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ		※銅板	・焼付け塗装	・手動式 ・電動式 ・部分電動式
・遮音タイプ		※銅板	・焼付け塗装	・手動式 ・電動式 ・部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質 22壁紙張りによる。

遮音性能 ※36dB/500Hz以上 ・36dB/500Hz未満

パネル圧接装置操作方法 ※製造所標準仕様 ・

28 トイレブース

(20.2.5)

表面仕上げ材 ・ポリ樹脂系化粧板(標準色 アルミ製コーナーエッジ付き)

・ポリ樹脂系化粧板(標準色 アルミ製コーナーエッジ付き)

脚部(ステン製)※幅木タイプ ・支柱タイプ

ドアタイプ ※曲面形 ・フラット形 ・製造所の仕様

・図示による

29 階段滑止め

(20.2.6)

材 種	※ステンレス(SUS304) ・アルミニウム ・黄銅
形 状	※ビニル貼付入り
	両端フラットエンド ※有り(・ステン製 ※ビニル製) ・無し
	・ビニル貼付無し
幅(mm)	・50 ・65 ・75
取付け工法	※接着工法 ・埋込み工法

30 階段手すり

種 類

施工箇所

※集成材材7アック-仕上げ(市販品 径 約45mm又は約60mm)

・ビニル製ハンドレール(幅 約50mm)

・

31 黒板及びホワイトボード

(20.2.8)

種類	区分	種類	寸法(mm)	備 考
・黒板	※焼付け	・銅製		※平面 ・曲面 ・スクリン付引分
・	・	・ほうろう		
・ホワイトボード	・	・		※平面 ・曲面 ・スクリン付引分

32 室名札

(20.2.10)

材 種	寸法(mm)	突出型	面付型	文字形式	受 金 具
※塩化ビニル製	※260×80×5	ケ所	ケ所	・文字書込み	※ステンレス(SUS304)
・アクリル樹脂製	・	ケ所	ケ所	・文字彫込み	・
・県産杉板材	※260×80×12	ケ所	ケ所	・カッティングシート	
・ビクトサイン					

33 ブラインド

[2.3.1][5.1.6]

・既存再使用する(養生方法：)

・新設する

(20.2.12)

形 式	種 類	スラットの材質	スラットの幅(mm)
※横形	※ギア式 ・コード式	※アルミニウム合金製	※25 ・35 ・100
・縦形	・1本操作コード	・焼付け塗装仕上げのアルミスラット	・80
	※2本操作コード	・特殊防炎加工のガラススラット	・100

34 プラントボックス及びカーテンボックス

[5.1.6]

・既存再使用する

・新設する

※市販品(アルミニウム製 押出し型材)

使用区分

溝幅×深さ(mm)

・横形プラント

※90×150

・120×150

・

・縦形プラント

※120×80

・150×80

・

・カーテン(又はレース共)

※150×80

・180×80

・

・カーテン+横形プラント

※180×150

・

色彩

・B-1

・B-2

(・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー)

・図示

35 ロールスクリーン

(20.2.13)

操作方法	幅及び高さ	材 種	品質等
・スリット式	・	・ガラス繊維製	
・コード式(チェーン式)	・	・合成・天然繊維製	
・電動式	・	・木製	

巻取りバンプ、ウェイト、操作コード、操作チェーンの材料

※製造所の仕様 ・

36 カーテン及びカーテンレール

[2.3.1][5.1.6]

・既存再利用する(養生方法：)

・新設する

(20.2.14)[表20.2.1]

取付箇所	形 式	開閉操作方式	ひだの種類	きれ地の種別、品質、特殊加工品
・	・シングル	・片引き	・手引き	・フラスヒだ
・	・ダブル	・引分け	・ひも引き	・箱ひだ、つまひだ
・	・	・電動	・フレンヒだ、片ひだ	・

暗幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上 ・

カーテンレール

・既存再使用する

・新設する

[5.1.6]

(20.2.14)

強さによる区分	材 料	仕 上 げ	形 状
※10-90	※アルミニウム製	※ブライト	※角形
・	・ステン製	・	・

37 天井点検口

目地形状

適 用 箇 所

寸法(mm)

・額縁タイプ

下記以外全て

※450×450

・目地タイプ

※図示

・600×600

・天井仕上げ材がDRの範囲

38 床点検口

本体の材質

目地の材質

適用箇所

寸法(mm)

※アルミ製

※アルミ ・ステンレス ・黄銅

下記以外全て

※600×600

・ステン製

・

39 くつふきマット

市販品

材質

・塩化ビニル製(コイル状、ステン製受枠)

・ビニル製(ステン製受枠)

・硬質アルミニウム製(受枠とも)

・ステン製(受枠とも)

41 人研ぎ製造し等

※サンダー掛け目荒らし後、クワ等を用い杉系パテ処理し、エポキシ樹脂系塗床材を厚さ1.0mm塗布し仕上げる。

・再研ぎ出し(図示による)

41 屋内掲示板

内装改修工事

42 しっくい塗り

7 塗装改修工事

改修工法

枠の材質

表面の材質

下地

7 塗装改修工事

※施工箇所

室 名

部 位

7 塗装改修工事

※左業者

新潟県左官業協同組合(平成26年12月31日に解散した新潟県左官同業会を含む。以下、同様。)主催の「漆喰塗り技能者資格講習会」の修了者立ち会いのもとで施工すること。ただし、これによることができない場合は、理由及び施工者を明らかにした書面を提出し、監督員の承諾を受けて施工するものとする。

※材料、下地、調合、塗り厚、工程及び工法

使用する材料については、材料の品質が確認できる品質規格票(証明書)等を監督員へ提出し、承諾を得たものとする。

上記以外については、「既調合しっくい塗り標準仕様書」(新潟県土木部都市局営繕課)による。

7 塗装改修工事

1 塗装業者

2 材料

3 下地調整

4 錆止め塗料塗り

5 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)

6 クリヤック-塗り(CL)

7 アクリル樹脂系非水分散系塗料(NAD)

8 耐候性塗料塗り(DP)

9 つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)

10 合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)

7 塗装改修工事

※(社)日本塗装工業会の会員 ・監督員の承諾する業者

[7.1.3]

7 塗装改修工事

[7.2.1~7.2.7]

種 別	施 工 箇 所
・RA種	・図示による
※RB種	※RA種、RC種以外の全て(内部) ・図示による
・RC種	・図示による

既存モルタル下地面等のひび割れ部の補修 [表7.2.4~表7.2.6]

※行う(補修範囲及び補修方法は監督員の指示による) ・行わない

7 塗装改修工事

[7.3.2][7.3.3][表7.3.1]~[表7.3.4]

下地の種類	錆止め塗料の種別	塗替えの種別	新規塗りの種別
鉄鋼面	※A種 ・B種	・A種 ・B種	※A種 ・B種
		※C種	見掛け部分 ・A種 ・B種
			見隠れ部分 ・A種 ※B種
亜鉛めっき面	※A種 ・B種	・A種 ・B種	新規鋼製建具等※A種 ・B種
	・C種	※C種	その他 ・A種 ※B種

7 塗装改修工事

[7.4.3]~[7.4.5][表7.4.1]~[表7.4.3]

下地の種類	塗替えの種別	新規塗りの種別
木部	・A種 ※B種 ・C種	・A種 ・B種
鉄鋼面	※亜鉛めっき面	※A種 ・B種 ・C種
鋼製建具	・鉄鋼面	・A種 ※B種 ・C種
その他	※亜鉛めっき面	・A種 ※B種 ・C種
	※鉄鋼面	・A種 ・B種 ・C種

7 塗装改修工事

[7.5.2][表7.5.1]

塗替えの種別	・A種 ※B種	
新規塗りの種別	・A種 ※B種	

7 塗装改修工事

[7.7.2][表7.7.1]

下地の種類	工程等	塗替えの種別	新規塗りの種別
コンクリート、モルタル面等	下地調整	・RA種 ※RB種 ・RC種	「塗料その他」の欄による
	塗り種別	・A種 ※B種	・A種 ※B種

7 塗装改修工事

[7.8.2]~[7.8.4][表7.8.1]~[表7.8.3]

下地の種類	塗替えの種別	新規塗りの種別	上塗り
鉄鋼面	・A種 ・B種 ・C種	※A種	・1級 ・2級 ・3級
亜鉛めっき鋼面	・A種 ・B種 ・C種	※A種	・1級 ・2級 ・3級

7 塗装改修工事

[7.9.2]~[7.9.5][表7.9.1]~[表7.9.4]

下地の種類	塗替えの種別	新規塗りの種別
コンクリート面、モルタル面等	・A種 ※B種 ・C種	・A種 ※B種
木部	・A種 ※B種 ・C種	※A種 ・B種 ・C種
鉄鋼面	・A種 ※B種 ・C種	・A種 ※B種
亜鉛めっき面	・A種 ※B種 ・C種	・A種 ※B種

7 塗装改修工事

[7.10.2][表7.10.1]

塗替えの種別	・A種 ※B種 ・C種	
新規塗りの種別	・A種 ※B種	

7 塗装改修工事

8-1 耐震改修範囲以外の躯体改修工事

1 コンクリートの類別及び強度、品質

2 鉄筋の種類

3 鉄筋の継手

4 セメントの種類

5 骨材の品質

6 混和材料の種別

7 鉄筋の継手

8 鉄筋の最小かぶり厚さ

9 鉄骨の工作図

7 塗装改修工事

[8.1.3][表8.1.1]

レディーミクストコンクリートの類別	※I類 ・II類
普通コンクリートの設計基準強度	[8.1.3][8.1.4]
設計基準強度Fc(N/mm ²)	適 用 箇 所
※2.1	・図示
・1.8	・
コンクリートの仕上りの平たんさ	・a種 ・b種 ・c種

7 塗装改修工事

[8.2.1][表8.2.1]

種類の記号	呼 び 名 (mm)
○SD295A	・D16以下
・SD345	・D19以上
・	

7 塗装改修工事

[8.2.4]

あと施工アーク-材料

・金属拡張アーク-

※接着系アーク- カプセルの種類 ※有機系

7 塗装改修工事

[8.2.5][表8.2.3]

※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリセメントA種又はフライアッシュポルトA種

・普通エコセメント

・高炉セメントB種()

普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。

水和熱	7 d	352J/g以下
	2 8 d	402J/g以下

7 塗装改修工事

[8.2.5]

アルカリ反応性による区分

・A

※B (コンクリート中のアルカリ総量Rt=3.0kg/m³)

7 塗装改修工事

[8.2.5]

※混和剤 ・混和材

7 塗装改修工事

[8.3.4][表8.3.3]

※重ね継手 ・

7 塗装改修工事

[8.3.5][表8.3.6]

最小かぶり厚さは、目地底から算定する。

・耐久性上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。

施 工 箇 所	改修仕様表8.3.6の値に加える寸法(mm)
柱・梁、壁及び底などの外気に接する打放し面	※10

7 塗装改修工事

[8.13.2]

高力ボルト及び普通ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等

※建築工事監理指針による ・図示

10
追
加
特
記

1 公共事業労務費
調査への協力

※協力する

2 工事監理方式

共同監理 ・有り ・無し

3 適用基準等

・営繕工事電子納品要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課施設評価室）
※工事運行マニュアル

4 総合図

※作成する

5 工事成績評定

※受注者は、工事成績評定の対象となる工事施工において、自ら立案し実施した創意工夫や工事特性に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了までに所定の様式により提出することができる。
（様式等は、工事運行マニュアルによる。）

6 工事区分表

注）原則○印を適用する。ただし、複数記載してある項目についての区分はその項目を必要とする施工者に適用する。

項 目		建電	空	衛	界	備 考
躯体関係						
1. RC造（梁・壁・床） の貫通孔・開口部	貫通スリフ材及び取付け	○	○	○	○	○
	補強を要する型枠材及び取付け	○				
	補強を要しない型枠材及び取付け	○	○	○	○	○
	貫通孔・開口部の墨出し	○	○	○	○	○
	貫通孔・開口部の補強	○				
2. S・SRC造・はり 貫通口	スリフ・型枠の穴埋め	○	○	○	○	○
	S・SRC造貫通鋼管スリフ・補強	○				
	使用されたスリフの穴埋め	○	○	○	○	○
	予備スリフの穴埋め	○	○	○	○	○
3. 設備機器の基礎	建築設計図に記入のあるもの	○				
	室内の基礎（建築設計図に記入のないもの）	○	○	○		
	屋外・屋上の基礎	○				
	屋上基礎で押さえコンにアカしない軽微なもの		○	○	○	
	機器取付け用フカ・架台		○	○	○	
	屋内受水タンクの基礎	○				
仕 上 げ 関 係						
軽鉄天井・壁下地	補強を用するボ-ドの切り込み及び下地の補強	○				
	補強を要しないボ-ドの切り込み		○	○	○	
	開口部の墨出し		○	○	○	
電 気 関 係						
電気配管配線	機器付属の制御盤以降の配管配線（接地線共）		○	○	○	二次側
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線		○			一次側
	機器付属操作スイッチの取付及び渡り配管配線			○	○	
その他（工事区分を特に間違えやすい項目）						
天井材	取外し再取付（各種配管配線作業用）	○	△	△	△	△
床はつり補修	各種配管配線作業用	○	△	△	△	△
流し台、ガス台		○				
便所手洗いカウンター		○				
洗面化粧台					○	
ガス漏れ警報器					○	
24H換気扇	機器納入				○	取付は電気設備
連動スイッチ	取付		○			機器納入は衛生設備
湯沸器	機器納入				○	取付は電気設備
連動スイッチ	取付		○			機器納入は衛生設備

7 発生材の処理等

1 再生資材の利用

下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

再 生 資 材 名	規 格	使 用 箇 所	再資源化施設名・所在地	備 考
再生クラッシュラン	C-40		桜井石材/魚沼市下倉	

2 建設発生土の利用

盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。

発 注 機 関	工 事 名	発 生 場 所	施工会社名・連絡先	備 考

3 建設発生土の搬出

工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に搬出すること。

受入工事名／施設名称
工事場所／施設所在地
連 絡 先
仮 置 場 所 の 有 無
備 考

10
追
加
特
記

④ 建設廃棄物の搬出

工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に搬出するものとし積算している。

搬出する廃棄物名	金属くず	コンクリートがら	シーリング・木くず	廃プラ・廃ボード類 ガラス陶磁器
処 理 施 設 名 称	（有）渡邊銅鉄店	（株）桜井石材	魚沼環境（株）	魚沼環境（株）
施 設 所 在 地	魚沼市四日町381-1	魚沼市中島1434	魚沼市青島761-1	魚沼市青島761-1
連 絡 先	025-792-6140	025-792-0353	025-792-1895	025-792-1895
備 考				

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

5 建築リサイクル法の対象建設工事は工事の規模に関係なくすべてを対象とする。
発注者への説明、書面の交付、届出の提出等を行う
建設リサイクル法の対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、同法第18条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。
自ら産業廃棄物を運搬・処分する以外は、委託契約書の写しを提出すること。

6 再生資源利用計画書の必要の有無（有）実施書は完了時にF Dで提出すること
再生資源利用促進計画書の必要の有無（有）実施書は完了時にF Dで提出すること

7 協議について
建設工事発注後に明らかにになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに監督員に報告し、協議すること。

8 化学物質の
濃度測定

1)測定時期

[1.6.9]
測定時期は家具設置等の別途工事が行われる前とする。ただし、内装又は塗装等の施工が終了し、その後十分な換気が行われていること、及び中央式空気調和設備のように換気を行いながら空気調和を行う設備がある場合は、設備の試運転が終了していることとする。
測定時期は工事完了時とする。なお、内部工事期間等が特記されている場合は、内部工事完了時とする。
※ 測定時期の決定は、測定結果が指針値を超えた場合に、6) の措置を講じる時間を見込むこと。

2)測定対象物質

※ホルムアルデヒド（指定値0.08ppm以下）
※トルエン（指定値0.07ppm以下）
※キシレン（指定値0.05ppm以下）
※エチルベンゼン（指定値0.88ppm以下）
※スチレン（指定値0.05ppm以下）
・パラジクロロベンゼン（指定値0.04ppm以下）

3)測定室

・ 室（測定箇所 箇所）
・ 室（測定箇所 箇所）
・ 室（測定箇所 箇所）
・ 室（測定箇所 箇所）

4)測定方法

測定機器

※バッシブ型採取機器 ・監督員の承諾する機器

測定要領（バッシブ型測定法の場合）

※ 測定前の措置

測定を開始する前に、測定対象室のすべての窓及び扉（造りつけ家具、押入等の収納部分の扉を含む。）を開放し、30分間換気する。その後、測定対象室のすべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造りつけ家具、押入等の収納部分の扉は開放したままとする。
※ 測定は次のイ～ハによる。
イ 上記測定前の措置の状態のままで測定する。
ロ 測定時間は、原則として24時間とする。ただし、工程等の都合により、24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時～3時が測定時間帯の中央となるよう10時30分から18時30分までの時間帯で測定する。
ハ 測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。
※ その他
上記測定前の措置及び測定においては、換気設備又は空気調和設備は稼働させたまとする。ただし、局所的な換気扇等で常時稼働させないものは停止させたままとする。
※ 測定結果の分析
測定対象化学物質を採取したバッシブ型採取機器を分析機関に送付し濃度を測定する。

5)測定結果が指針値を超えた場合の措置

※測定結果が厚生労働省の指針値を超えていた場合は、発散源を特定し、換気等の措置を講じた後、再度4)、5)により、測定を行う。

6)報告書の提出

※完了検査日までに報告書を提出する。なお、内部工事期間等が特記されている場合は、内部工事完了までに測定結果速報を監督員に提出する。

9 有価物について

当該工事における、有価物については下記の通り取り扱う。
（1）有価物は原則として工事費（積算）に含めない
（2）鉄くず等金属類及び電線等は有価物として有価物引取り業者に持ち込むこと
（3）有価物引取り業者は計量伝票を建設工事受注業者に発行する
（4）建設工事受注業者は軽量伝票を根拠に有価物売り払い金清算を完了する
（5）有価物売り払い金清算完了後、計量伝票を発注担当部署へ一括引き渡す
（6）発注担当部署は納入通知書を建設工事受注業者に発行し納めていただく

10
追
加
特
記

現況建物

石綿含有 有無

無し

参考メーカー
及び商品名

屋上防水

合成高分子ルーフィング防水t=2.0 絶縁応報
合成高分子ルーフィング防水t=2.0 密着工法

アーキヤマデ（株）
アーキヤマデ（株）

同等品
同等品

笠木

アルミ製 アルウィトラ RDA・MAG

（株）エービーシー商会

同等品

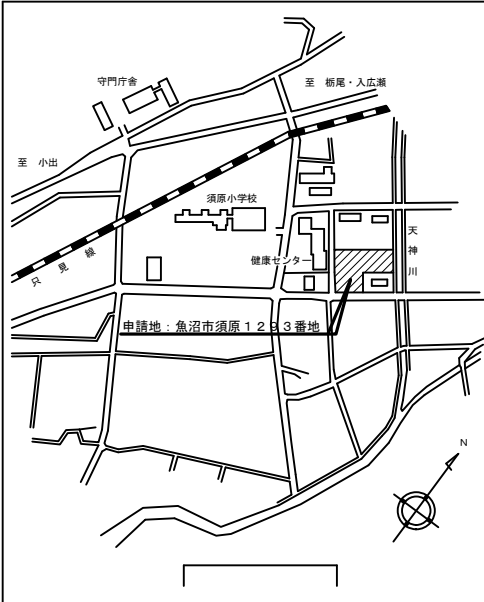
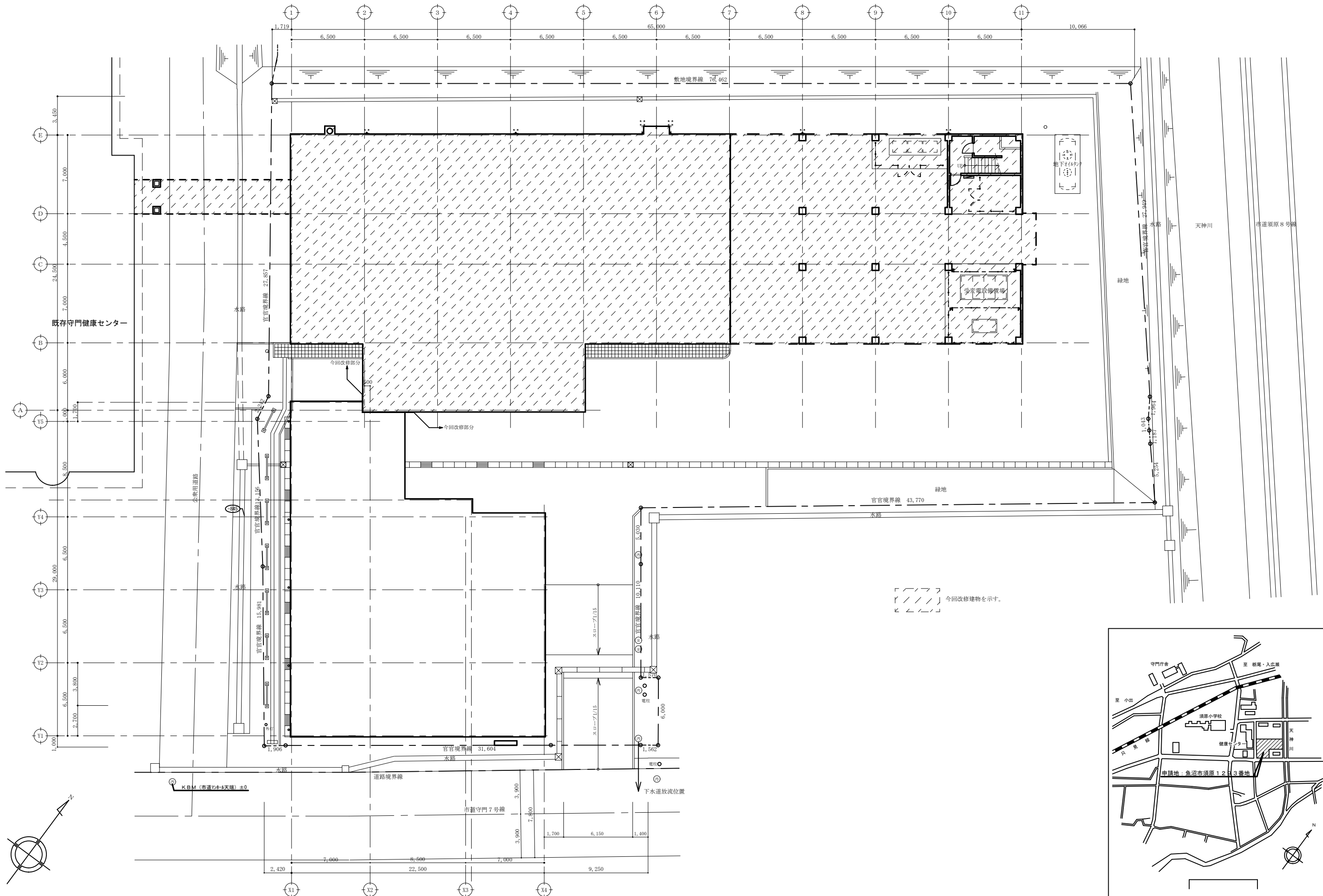
外壁仕上げ塗材

主剤 可とう形改修塗材 R E 平たん状 ローラー塗り エスケー化研㈱
上塗剤 超耐候形水性ハイブリッドシリコン樹脂塗料

エスケー化研㈱

同等品
同等品

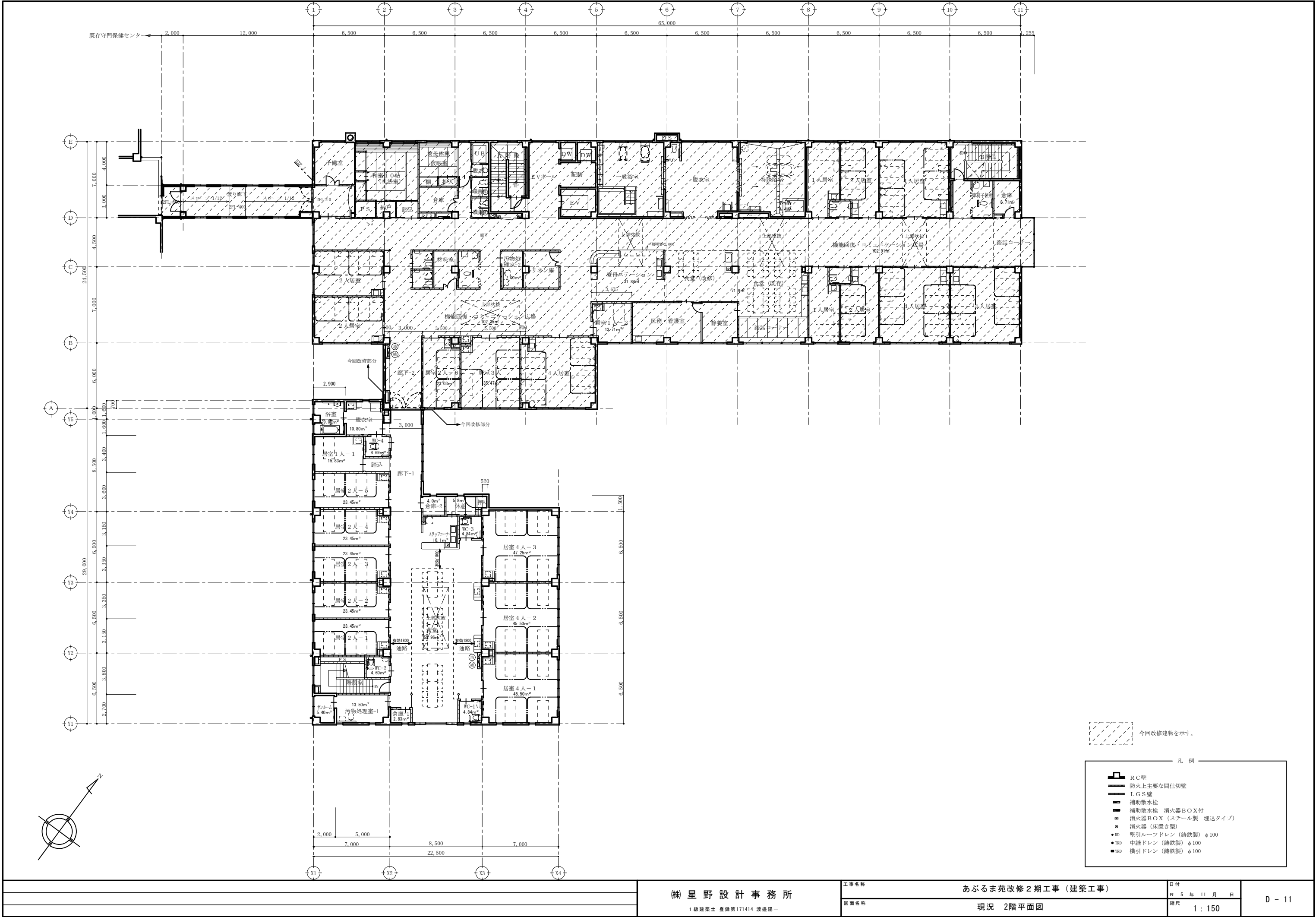
	工事名称	あぶるま苑改修2期工事（建築工事）	日付	D - 7
	図面名称	仕様書（そのVI）	R 5 年 11 月 日	
			縮尺	



	<div> <div>(株) 星野設計事務所</div> <div>1級建築士 登録第171414 渡邊 晴一</div> </div>	<div> <div>工事名称</div> <div>あぶるま苑改修2期工事（建築工事）</div> </div>	<div> <div>日付</div> <div>R 5 年 11 月 日</div> </div>	<div> <div>D - 8</div> </div>
		<div> <div>図面名称</div> <div>配置図・案内図</div> </div>	<div> <div>縮尺</div> <div>1 : 150</div> </div>	

設計概要			工事概要		
工事名称	あぶるま苑改修 2 期工事		外部改修	屋上防水工事	屋上・既存防水全て改修　屋根融雪設備撤去　パラベット天端アルミ笠木取り替え（耐雪用取付）
工事場所	魚沼市須原1293番地		屋上、雪庇防止柵の新規取付　（渡り廊下雪庇防止柵はなし）		
工事種別	改修工事		外壁工事	外壁仕上材の改修　コンクリート打放し壁面のクラック及び欠損部改修	
建物用途	特別養護老人ホーム		コンクリート打放し面打継目地・化粧目地・窓廻りシーリング材全て打ち替え　（タイル仕上面外壁部分は除く）		
構造・規模他	RC造	地上2階・塔屋 1 階 本体（改修建物）2,133.10㎡ 渡り廊下 42.00㎡	内部改修	浴室改修・各室、廊下等の天井の部分改修	

外部仕上表		
屋上防水	改修前	平部　コンクリート打（増打t=30）金コテ押えの上合成高分子ルーフィング防水　t=2.0　接着工法　　　立上り　打放し補修の上合成高分子ルーフィング防水　t=2.0　密着工法　　　融雪ヒーター用押えコンクリート　W1,200　H=110
	改修後	平部　既存防水層-高圧水洗浄・新規合成高分子ルーフィング防水　t=2.0　絶縁工法　　　　　　　　　　　立上り　既存防水層及び防水押え金物撤去、高圧水洗浄、下地補修、新規合成高分子ルーフィング防水t=2.0　密着工法、防水押えアルミ金物取付　　　融雪ヒーター用押えコンクリート全て撤去　W1,200　H=110 防水平部・立ち上がり入隅取り合い部塩ビ被覆鋼板　55×55取付　　　既存冷却塔基礎一部防水改修有り
屋上笠木	改修前	屋上　笠木コンクリート打放し天端金コテ押さえ　防水層巻　アルミ既製品笠木取付
	改修後	屋上　笠木・防水層撤去・高圧水洗浄　下地処理・新規合成高分子ルーフィング防水巻・新規アルミ笠木（耐雪仕様）取付
外装	改修前	コンクリート打放し補修・複層仕上塗材E吹付　　　縦目地・打継横目地シーリング・開口部廻りシーリング材充填　柱、壁取り合い入隅部シーリング材充填 コンクリート打放し補修下地50ニ丁磁器質タイル張り　　　縦目地・打継横目地シーリング・開口部廻りシーリング材充填
	改修後	既存打放し面高圧水洗浄　クラック補修及び欠損部補修　可とう形改修塗材RE　各シーリング材全て打ち替え 既存タイル仕上面高圧水洗浄　各シーリング材改修なし
軒裏	改修前	LGS　フレキシブルボード　t=5.0　900×900目透かし張り　VP塗り　　下端水切アルミ既製品取付
	改修後	改修なし
縦樋	改修前	ステンレス製　100φステンレス支持金物＠1,200以内　　　渡り廊下　VP　75φ　VP塗り養生管　SGP管　125φ　FE売り
	改修後	既存縦樋改修なし
ルーフドレン	改修前	屋上　横引型鋳物製ルーフドレン100φ　打込型　　　渡り廊下　屋上　横引型鋳物製ルーフドレン75φ　打込型
	改修後	屋上-ドレンヒーター撤去・電源ボックスプレート塞ぎ・取合いシーリング 屋上　改修用ルーフドレン100φ　　　　　　　　　　　渡り廊下　屋上　改修用ルーフドレン75φ
雪庇防止柵	改修前	
	改修後	各屋上面新規取付　　　上端、立上り共ウレタン塗膜防水・支柱脚廻りシーリング 渡り廊下屋上は雪庇防止柵なし
ピロティ	改修前	コンクリート打放し補修・ウレタン樹脂カラークリヤー塗布 LGS　フレキシブルボード　t=5.0　900×900　VP塗り
	改修後	改修なし
車寄	改修前	コンクリート打放し補修・ウレタン樹脂カラークリヤー塗布 LGS　アルミスバンドレル　t=1.3　面巾150　焼付塗装
	改修後	改修なし



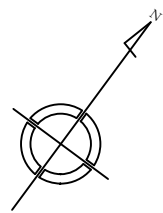
今回改修建物を示す。

凡 例

RC壁

防火上主要な間仕切壁

		(株) 星 野 設 計 事 務 所 1 級 建 築 士 登 録 第 171414 渡 邊 陽 一	工事名称	あぶるま苑改修 2 期 工 事（建築工事）	日付	D - 11
			図面名称	現 況 2 階 平 面 図	R 5 年 11 月 日	
					縮 尺 1 : 150	

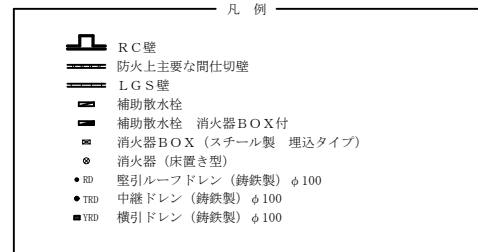
12 現況 塔屋・屋根平面図

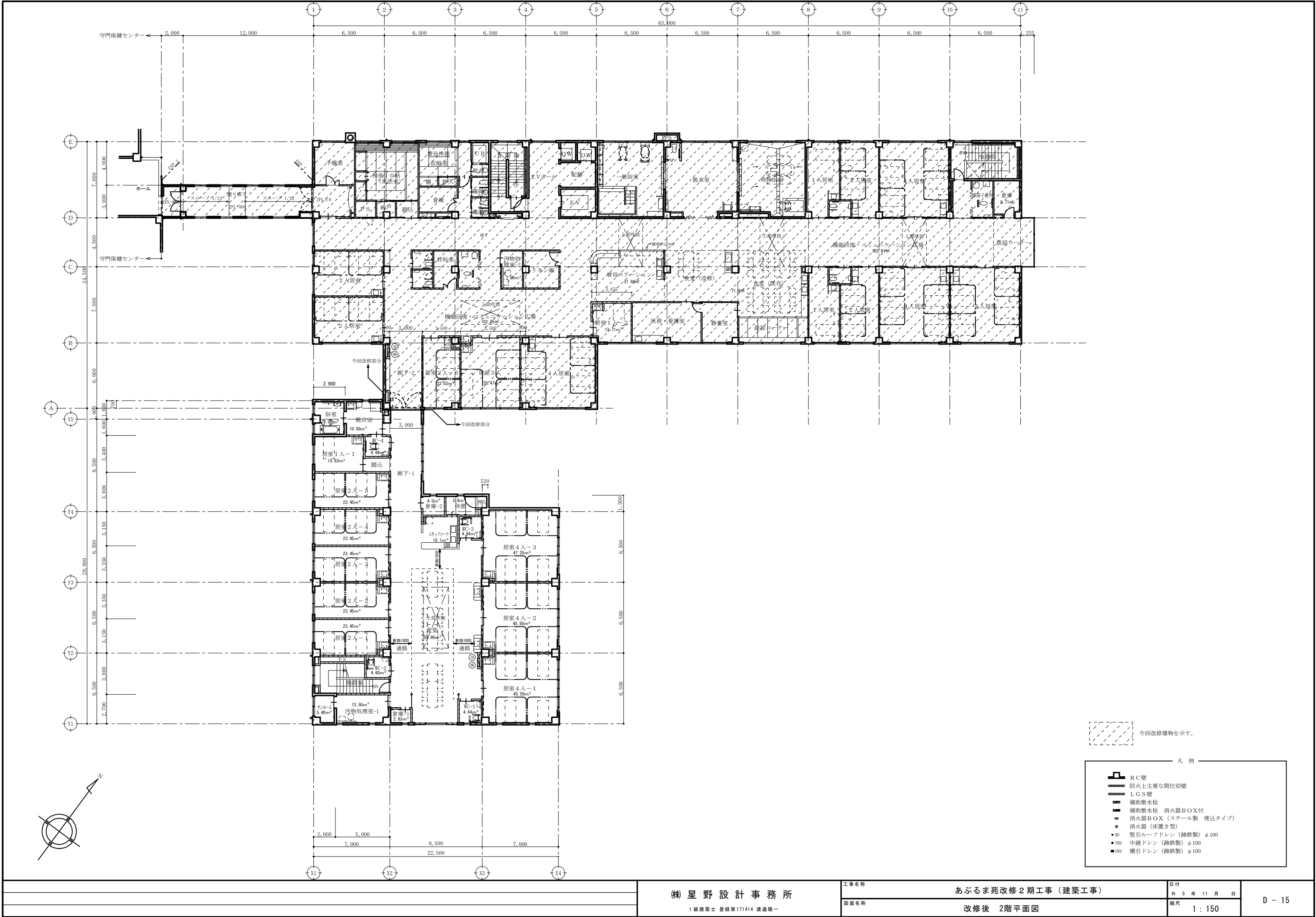


（株）星野設計事務所
1級建築士 登録第171414 渡邊 陽一

工事名称	あぶるま苑改修2期工事（建築工事）
図面名称	現況 屋根平面図

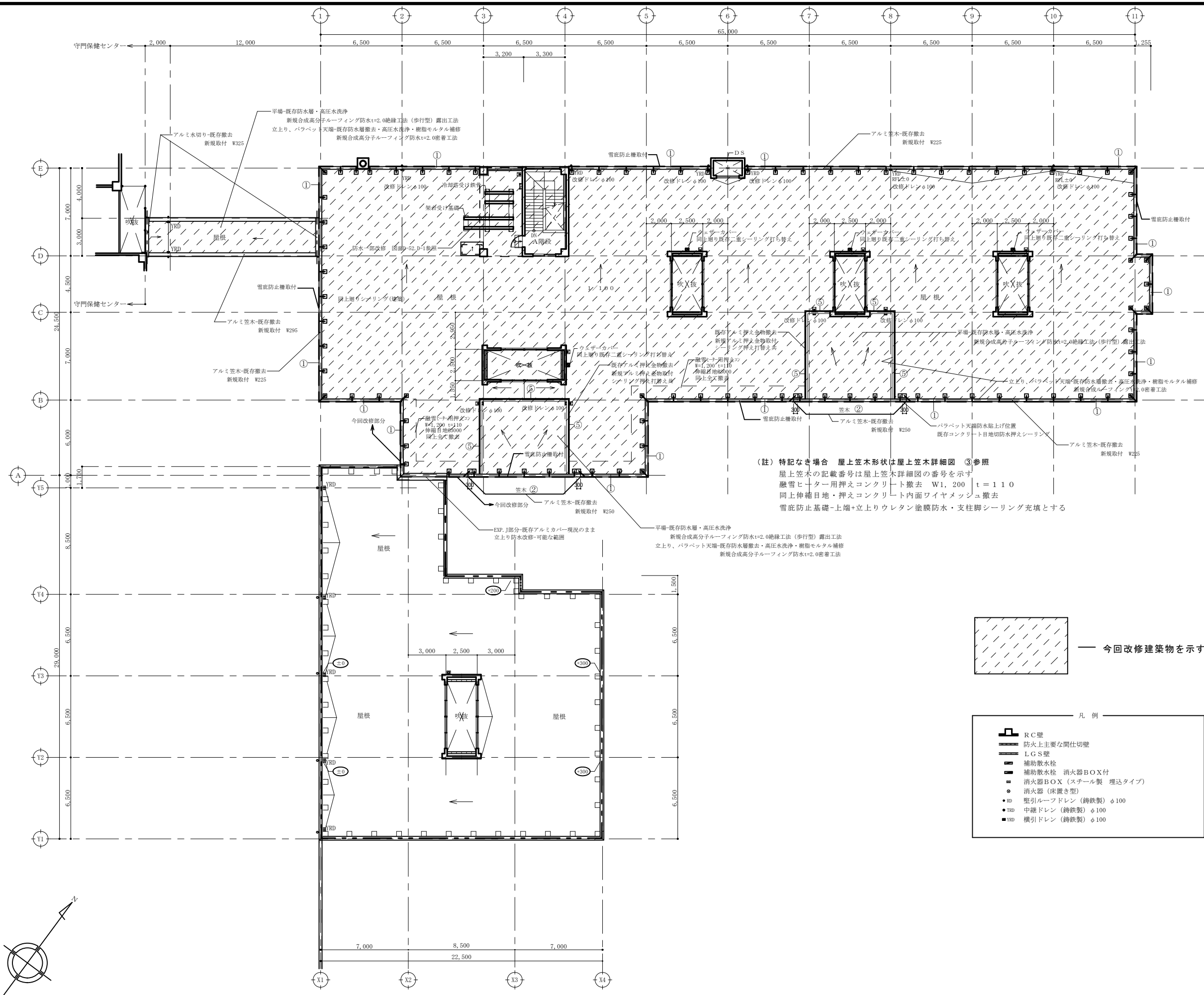
日付	R 5 年 11 月 日
縮尺	1 : 150

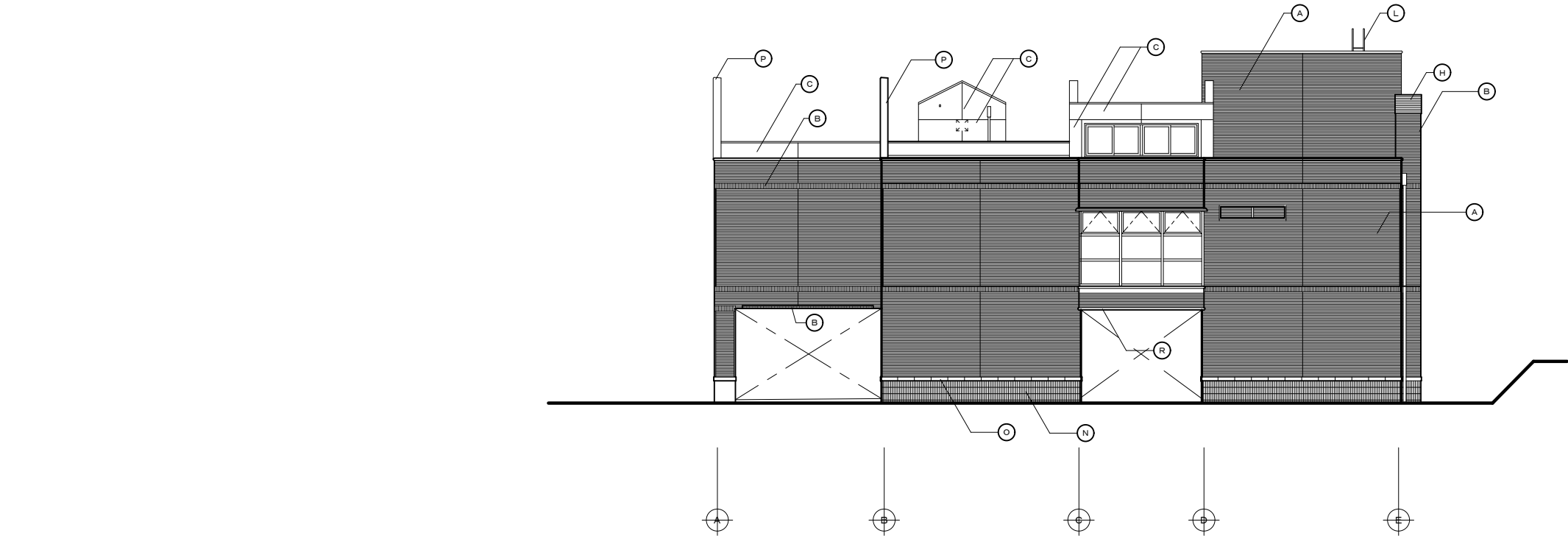




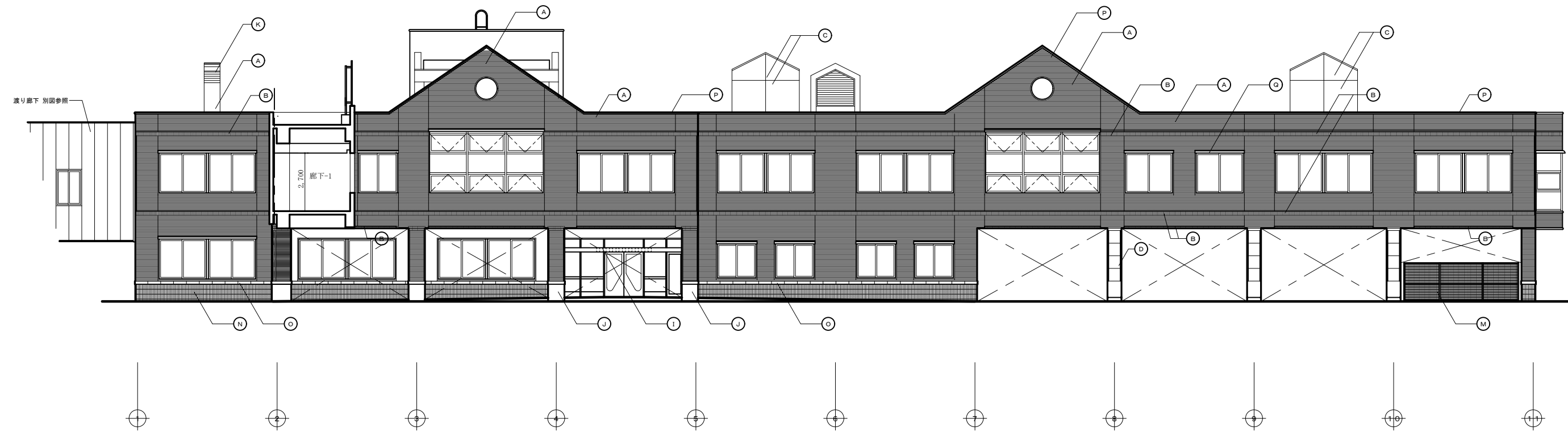
凡 例

- RC壁
- 防火上主要な間仕切壁
- LGS壁
- 補助散水栓
- 補助散水栓 消火器BOX付
- 消火器BOX (スチール製 埋込タイプ)
- 消火器 (床置き型)
- RD 堅引ルーフドレン (鋳鉄製) φ100
- TRD 中継ドレン (鋳鉄製) φ100
- TRD 横引ドレン (鋳鉄製) φ100





東側立面図 1:100



南側立面図 1:100

凡 例

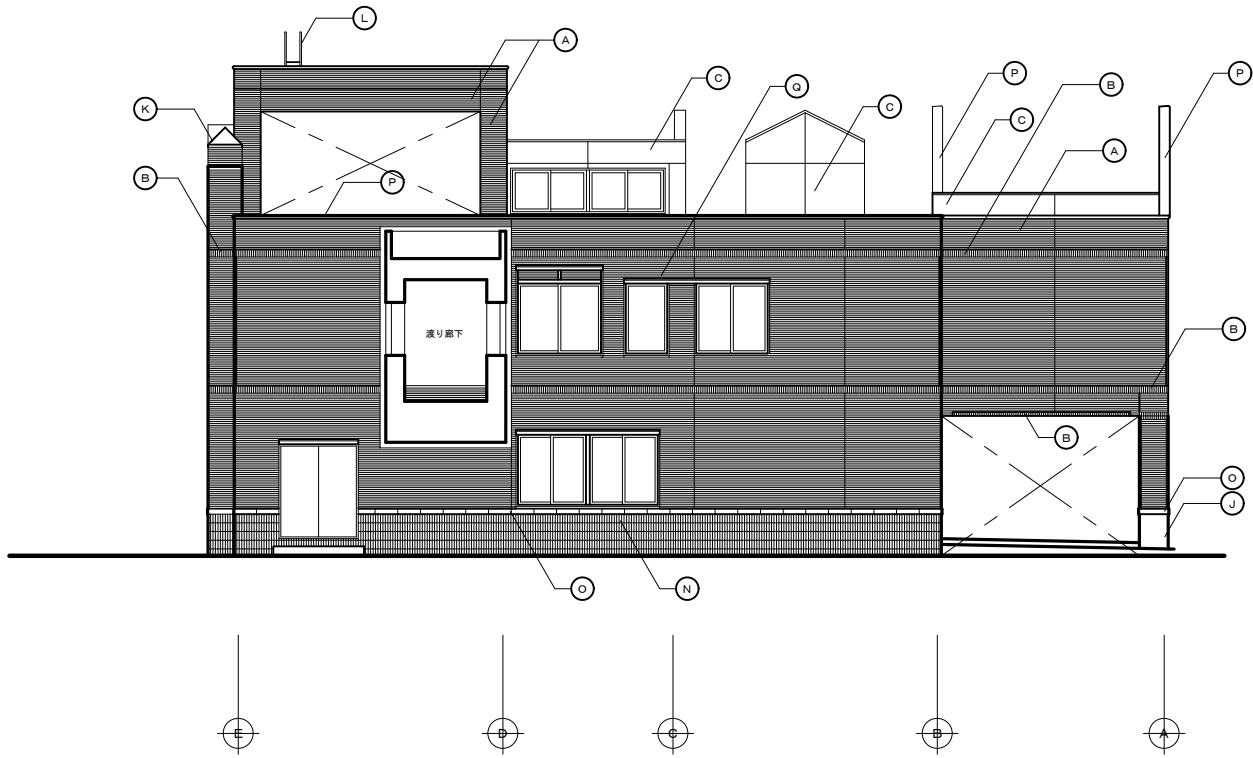
A 外壁 コーテジ打放し補修下地 50ニ丁磁器質タイル貼	E ステンレス縦樋φ100、飾り餅付	I ステンレス箱文字 150角	M フェンス 既製樹脂コート製フェンスH=1800 積雪地用	Q 開口部庇 アルミパネル加工t=2.0ウレタン樹脂焼付塗装H=135周面シーリング
B 外壁 コーテジ打放し補修下地 50ニ丁磁器質タイル貼 (堅張り)		J 柱脚 御影石本磨きt=25加工	N 腰壁 モルタル塗タイル下地 ニ丁掛磁器質タイル貼 (堅張り)	R 下縁見切 アルミ製既製品ウレタン樹脂焼付塗装
C 外壁 コーテジ打放し補修下地 複層塗材E	G ルーバー アルミ製目隠しパネル (既製品)	K 煙突降笠、ステンレス加工	O 床見切 御影石本磨き125x30加工	
D 外壁・柱型 コーテジ打放し補修下地 外観樹脂防カビ塗布	H 屋根 カラーアルミt=0.5段葺	L ステンレスタラップ	P 笠木 アルミ製既製品#225 R見切付属品	

株式会社 星野設計事務所

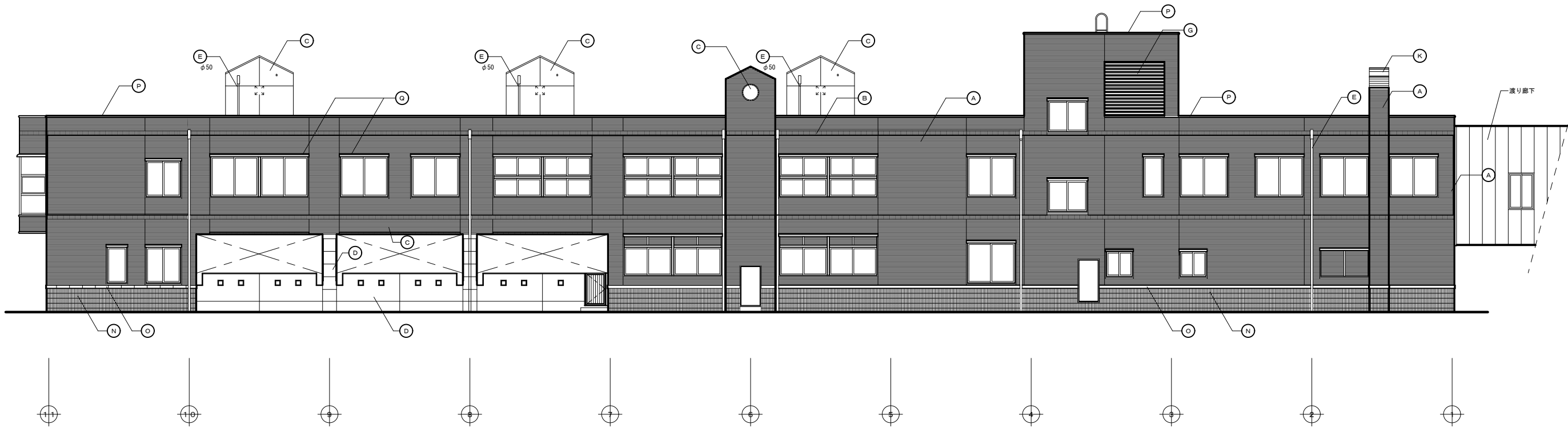
1級建築士 登録第171414 渡邊 陽一

工事名称	あぶるま苑改修2期工事（建築工事）
図面名称	現況 立面図 1

日付	R 5 年 11 月 日
縮尺	1:100



西側立面図 1:100



北側立面図 1:100

凡 例

A 外壁 コンクリート打放し補修下地 50ニ丁磁器質タイル貼	E ステンレス堅種φ100、飾り樹付	I ステンレス箱文字 150角	M フェンス 既製樹脂コート製フェンスH=1800 積雪地用	Q 開口部庇 アルミパネル加工t=2.0ウレタン樹脂焼付塗装H=135周囲ｼｰｼﾝｸﾞ
B 外壁 コンクリート打放し補修下地 50ニ丁磁器質タイル貼 (壁張り)	J 柱脚 御影石本磨きt=25加工	N 腰壁 モルタル塗タイル下地 ニ丁掛磁器質タイル貼 (壁張り)	O 腰見切 御影石本磨き125x30加工	K 換気扇 ウェザーカバー (設備工事)
C 外壁 コンクリート打放し補修下地 複層塗材E	G ルーバー アルミ製目隠しパネル (既製品)	K 煙突降笠、ステンレス加工	P 笠木 アルミ製既製品W=225 R見切付属品	
D 外壁・柱型 コンクリート打放し補修下地 外気機器廻り付野隠蔽布	H 屋根 カラーアルミt=0.5段葺	L ステンレスタラップ		

(株) 星野設計事務所

1級建築士 登録第171414 渡邊 陽一

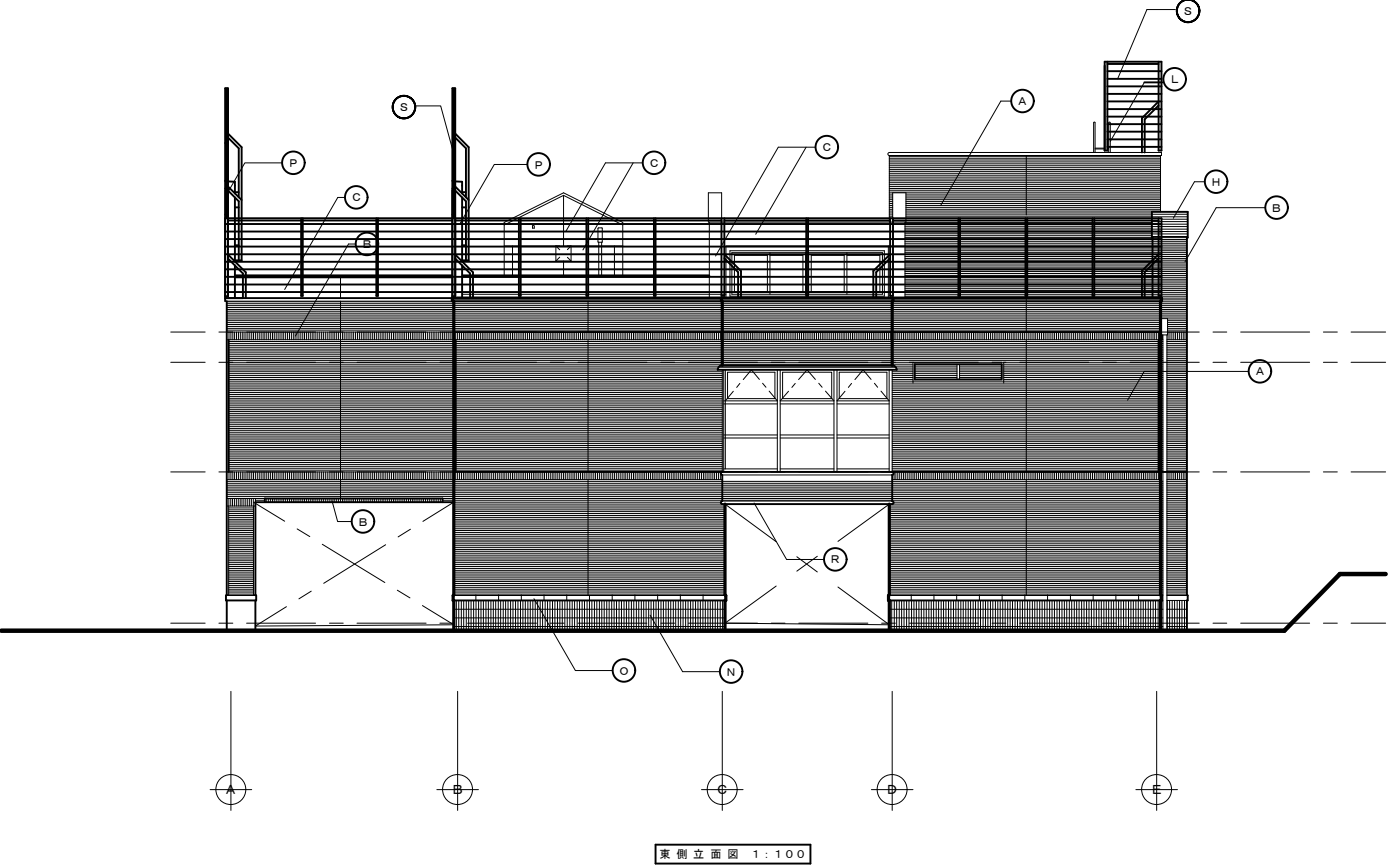
工事名称 あぶるま苑改修2期工事 (建築工事)

図面名称 現況 立面図 2

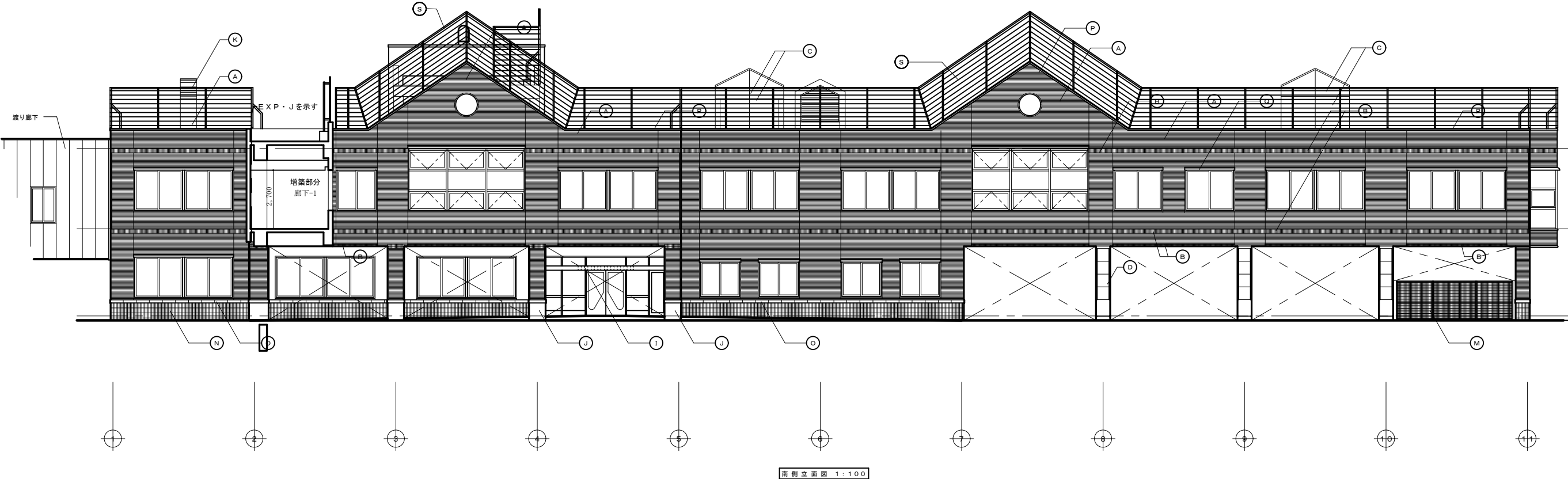
日付 R 5 年 11 月 日

縮尺 1:100

D - 19



東側立面図 1:100

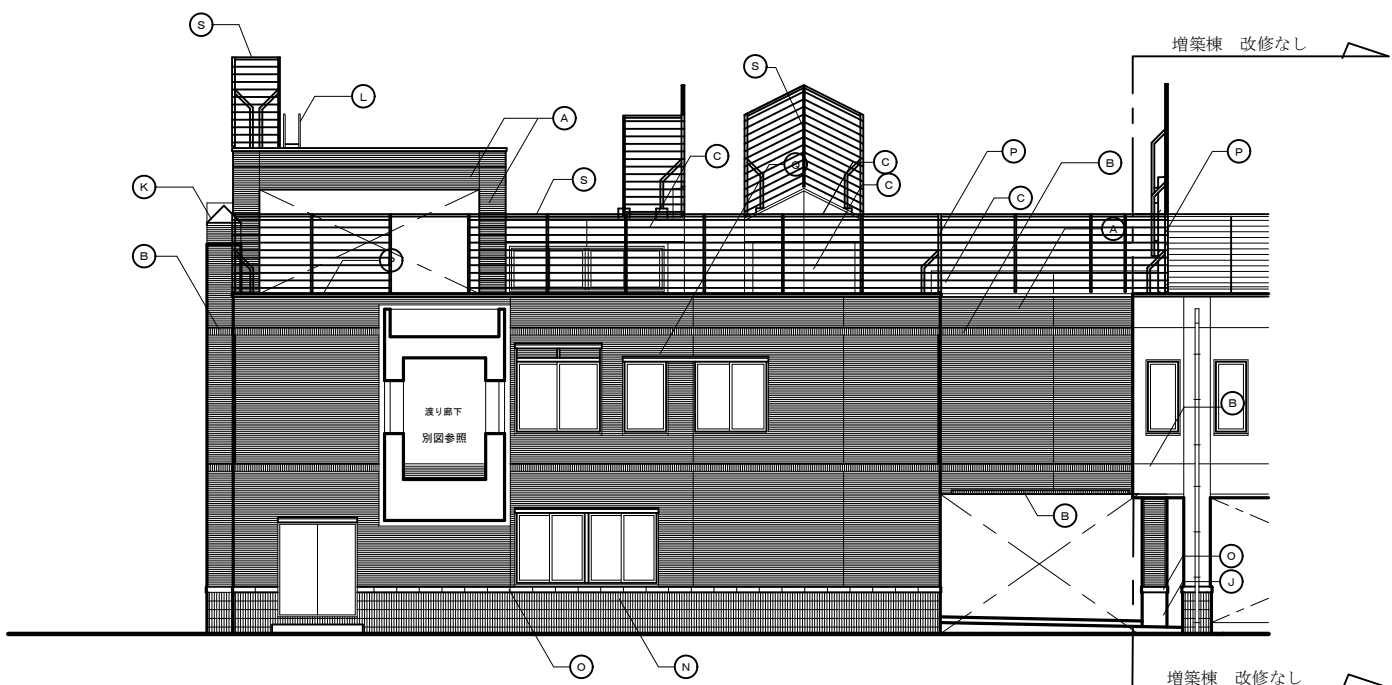


南側立面図 1:100

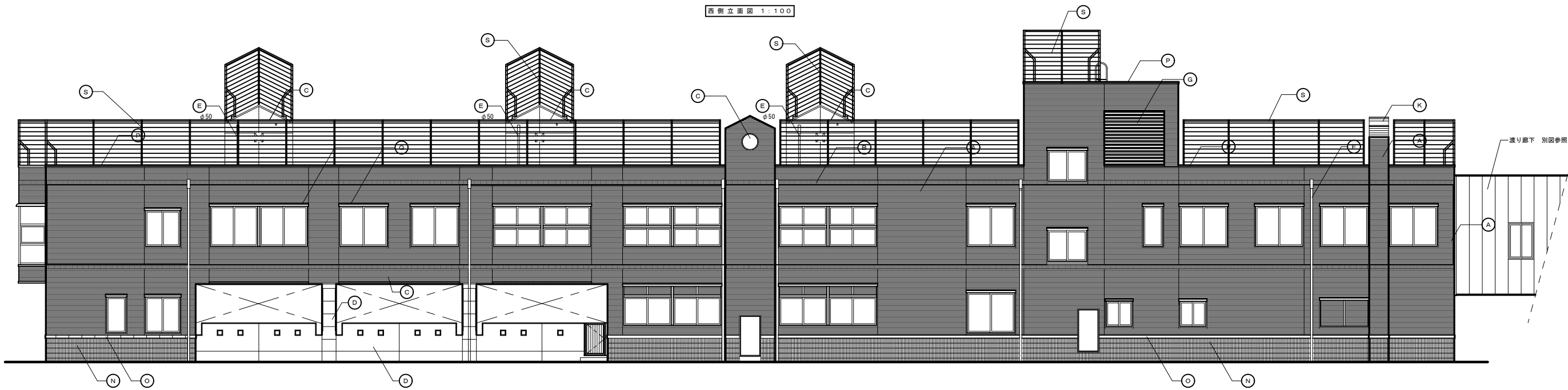
凡 例

A 外壁 50ニ丁磁器質タイル貼面 高圧水洗浄	E ステンレス縦樋φ100、飾り軒付 高圧水洗浄	I ステンレス箱文字 150角 高圧水洗浄	M フェンス 既製樹脂コート製フェンスH=1800 積雪地用 改修なし	G 気温開口部庇 高圧水洗浄 アルミパネル加工t=2.0ウレタン樹脂焼付塗装	
B 外壁 50ニ丁磁器質タイル貼 (壁張り) 高圧水洗浄		J 柱脚 御影石本磨きt=25加工 高圧水洗浄	N 腰壁 ニ丁掛磁器質タイル貼 (壁張り) 面 高圧水洗浄	H=135周囲シーリング 改修なし	
C 外壁 コンクリート打放し面高圧水洗浄・下地補修 新規可とう形改修塗材RE	G 1ルーバー アルミ製目隠しパネル (既製品) 高圧水洗浄	K 樫突障壁、ステンレス加工 高圧水洗浄	O 腰見切 御影石本磨き125x30加工 高圧水洗浄	R 既存下地見切 高圧水洗浄 アルミ製既製品ウレタン樹脂焼付塗装 改修なし	
D 外壁・柱型 コンクリート打放し面高圧水洗浄 下地補修 新規ウレタン樹脂タイル・塗布	H 屋根 カラーアルミt=0.5段葺 高圧水洗浄	L ステンレスタラップ 高圧水洗浄	P 立木 既存アルミ製既製品撤去・新規アルミ製取付 W225	S 新規雪庇防止構 鋼材は全て溶融亜鉛メッキ仕上	

			(株) 星 野 設 計 事 務 所 1級建築士 登録第171414 渡邊陽一	工事名称	あぶるま苑改修2期工事（建築工事）	日付	R 5 年 11 月 日 D - 20
				図面名称	改修後 立面図 1	縮尺	



西側立面図 1:100

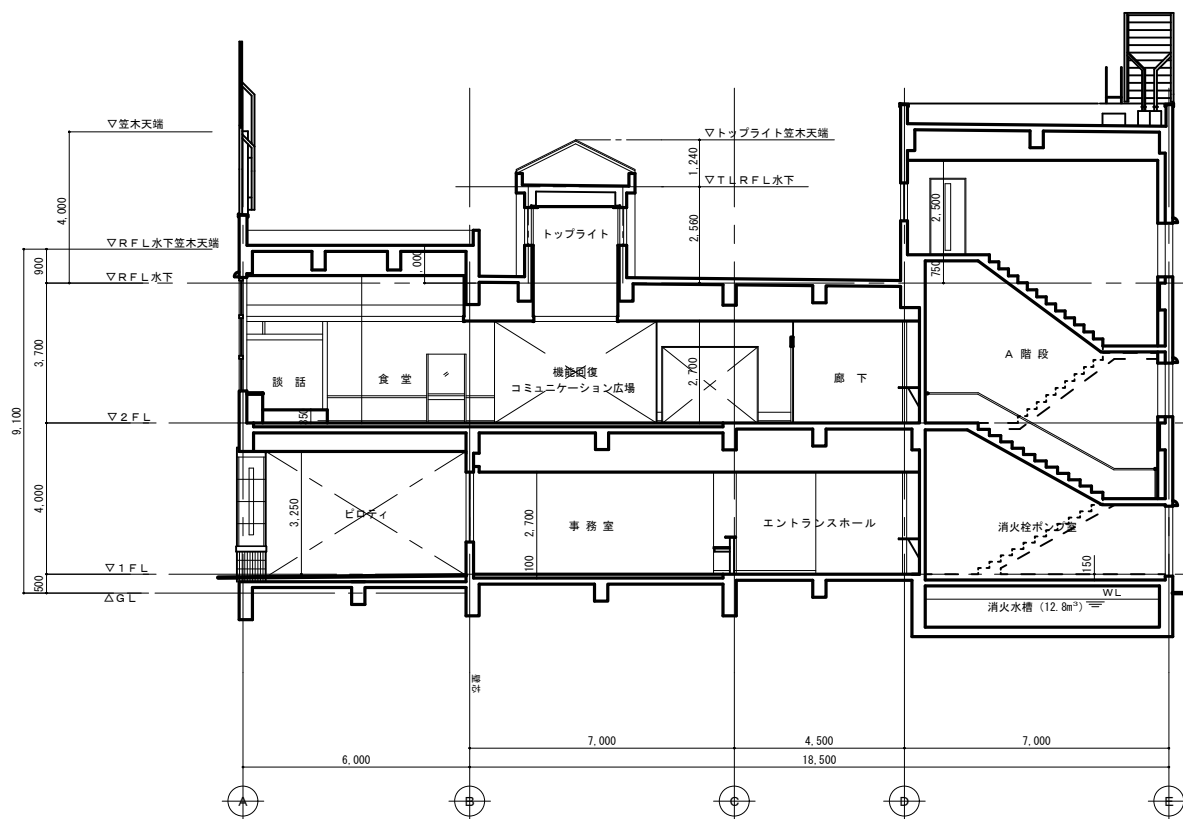


北側立面図 1:100

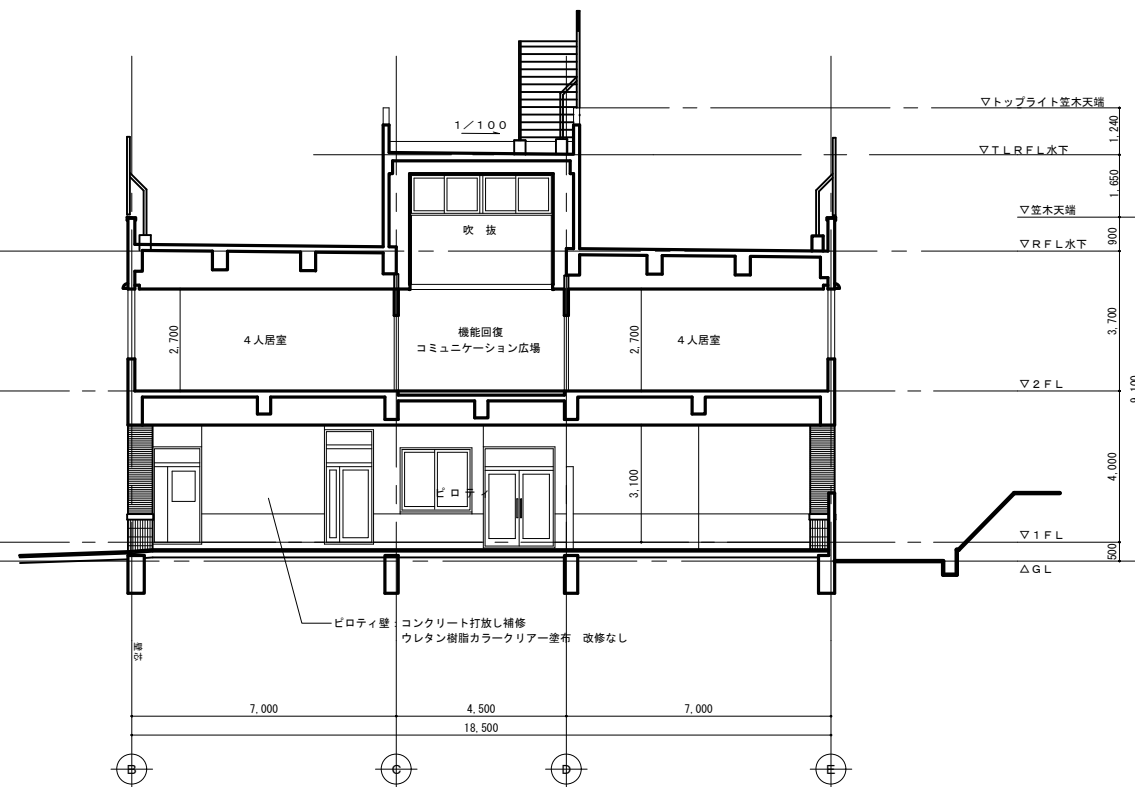
凡 例

A	外壁 50ニ丁磁器質タタ貼面 高圧水洗浄	E	ステンレス壁樋φ100、飾り樹付 高圧水洗浄	I	ステンレス箱文字 150角 高圧水洗浄	M	フェンス 既製樹脂コート製フェンスH=1800 積雪地用 改修なし	G	既存開口部庇 高圧水洗浄 アルミパネル加工t=2.0ウレタン樹脂焼付塗装
B	外壁 50ニ丁磁器質タタ貼 (壁張り) 高圧水洗浄			J	柱脚 御影石本磨きt=25加工 高圧水洗浄	N	腰壁 ニ丁掛磁器質タタ貼 (壁張り) 面 高圧水洗浄		H=135周面「ツグ」 改修なし
C	外壁 コンクリート打放し面高圧水洗浄・下地補修 新規可とう形改修建材FE	G	ルーバー アルミ製目隠しパネル (既製品) 高圧水洗浄	K	煙突降笠、ステンレス加工 高圧水洗浄	O	隠見切 御影石本磨き125x30加工 高圧水洗浄	S	断根雪庇防止柵 鋼材はすべて溶融亜鉛メッキ仕上
D	外壁・柱型 コンクリート打放し面高圧水洗浄 下地補修 新規タタ樹脂タタ付7-塗布	H	屋根 カラーアルミt=0.5段葺 高圧水洗浄	L	ステンレスタラップ 高圧水洗浄	P	笠木 既存アルミ製既製品撤去・新規アルミ製取付 W225	K	換気扇 ウェザーカバー (設備工事) 改修なし

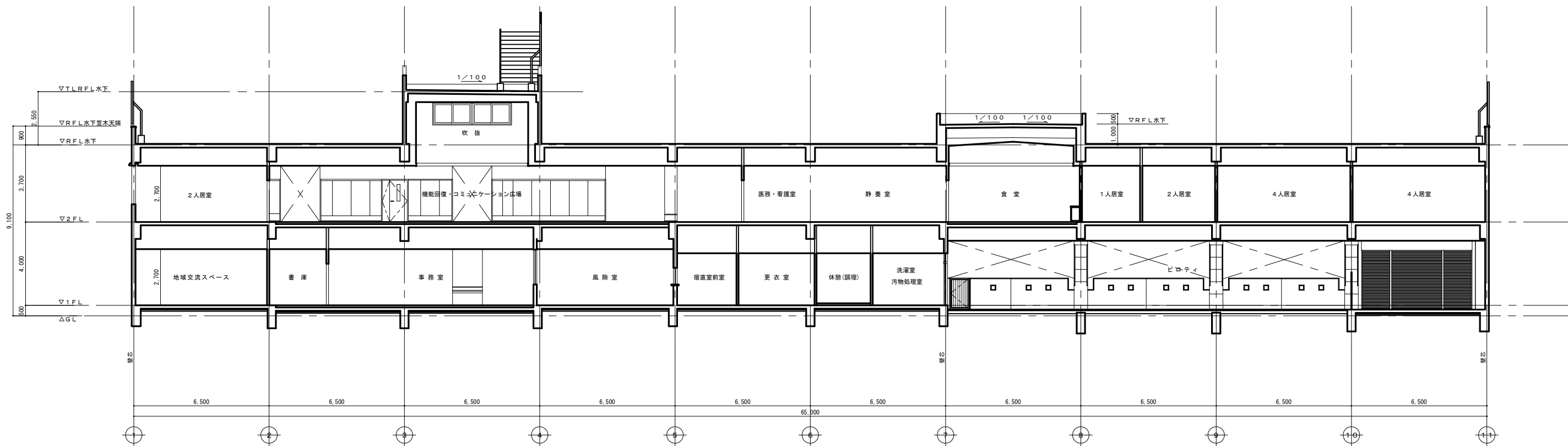
				工事名称		日付	D - 21
				図面名称		縮尺	
(株) 星野設計事務所				あぶるま苑改修2期工事 (建築工事)		R 5 年 11 月 日	1 : 100
1級建築士 登録第171414 渡邊陽一				改修後 立面図 2			



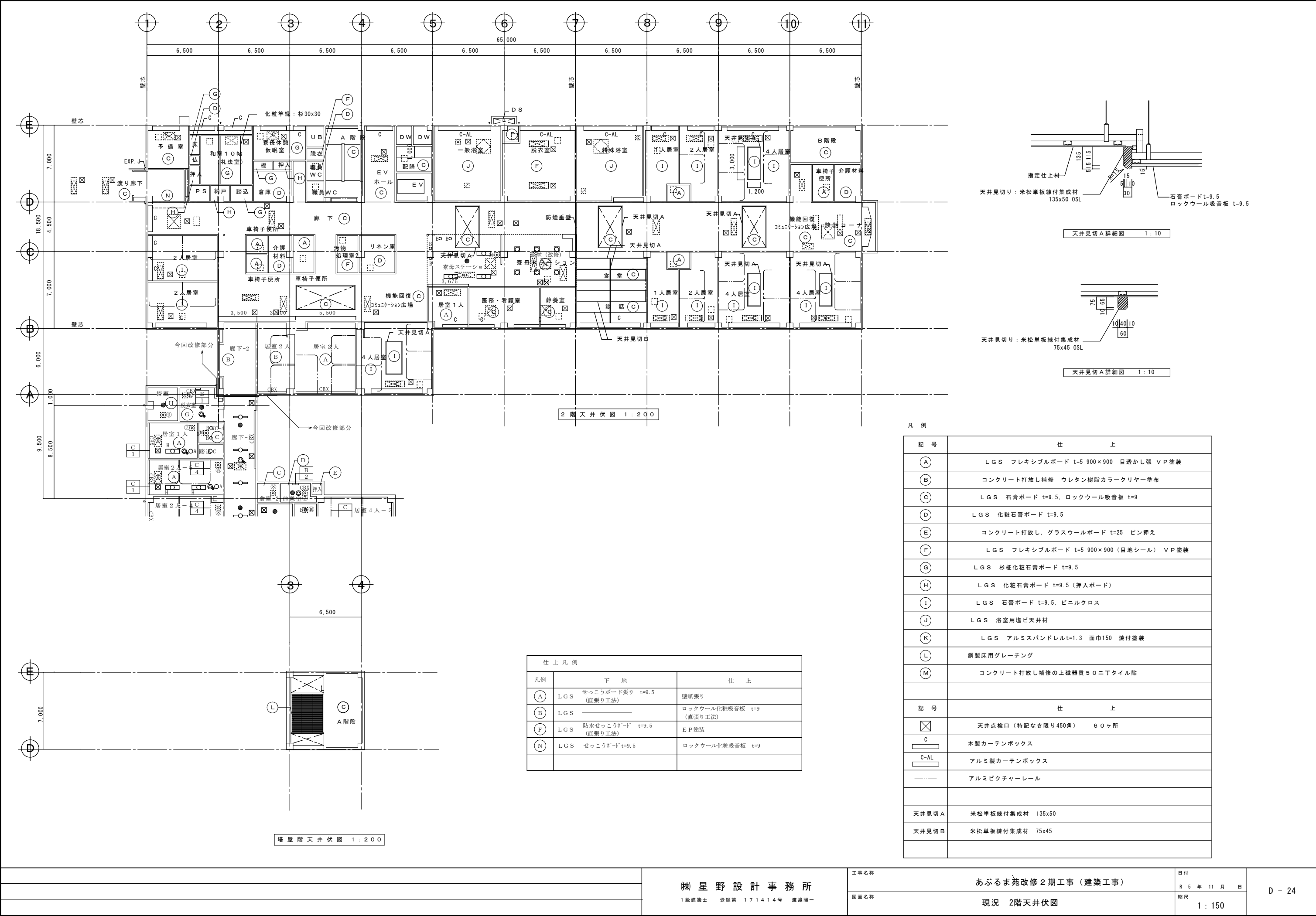
▽笠木天端
▽PHRFL水下
▽PHFL
▽RFL水下
▽2FL
▽1FL
ΔGL



▽笠木天端
▽TLRFL水下
▽笠木天端
▽RFL水下
▽2FL
▽1FL
ΔGL

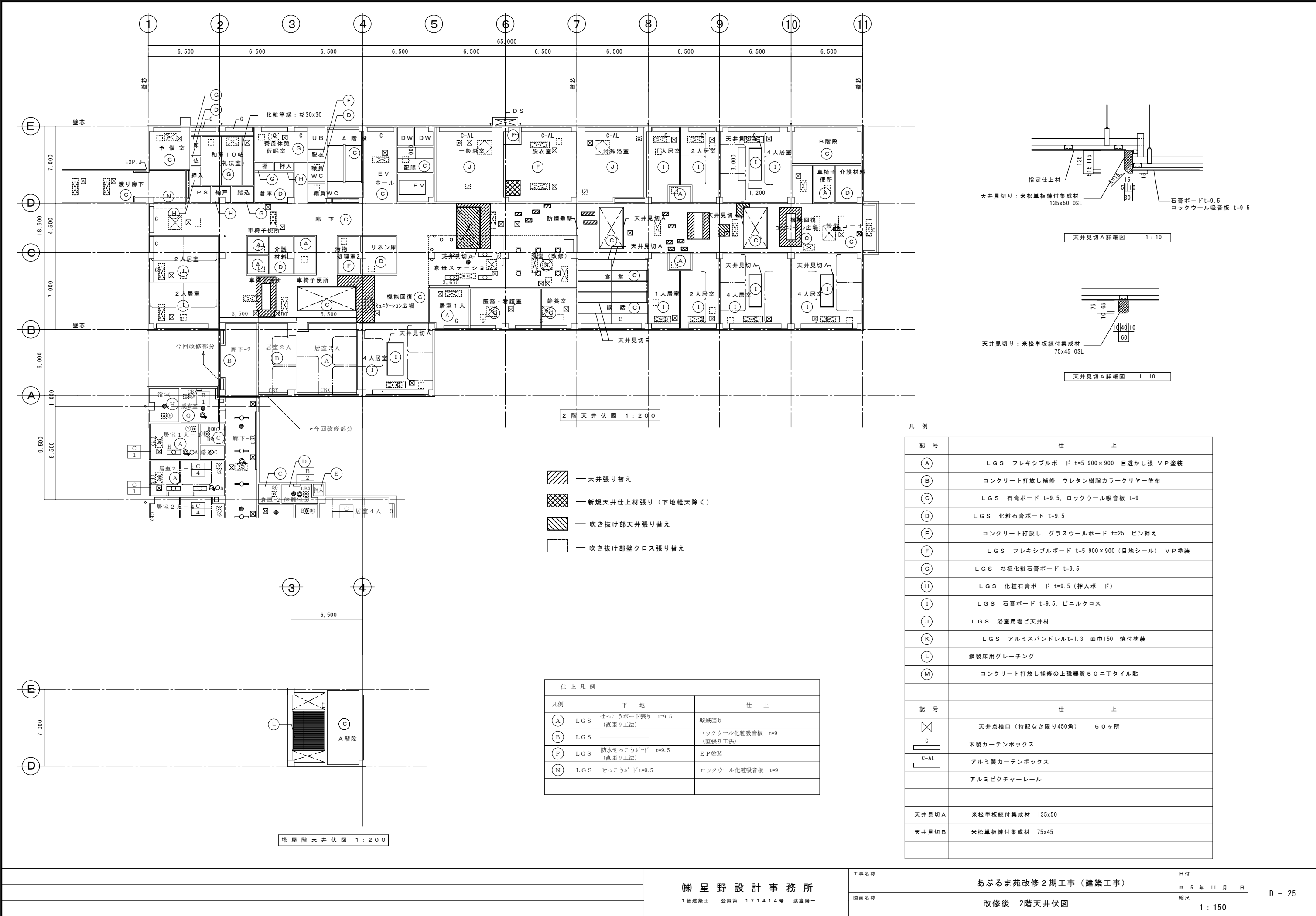


▽RFL水下
1,000 500



仕上凡例		
凡例	下地	仕上
(A)	LGS せつこうボード張り t=9.5 (直張り工法)	壁紙張り
(B)	LGS	ロックウール化粧吸音板 t=9 (直張り工法)
(F)	LGS 防水せつこうボード t=9.5 (直張り工法)	EP塗装
(N)	LGS せつこうボード t=9.5	ロックウール化粧吸音板 t=9

凡例	
記号	仕上
(A)	LGS フレキシブルボード t=5 900×900 目透かし張 VP塗装
(B)	コンクリート打放し補修 ウレタン樹脂カラークリアー塗布
(C)	LGS 石膏ボード t=9.5、ロックウール吸音板 t=9
(D)	LGS 化粧石膏ボード t=9.5
(E)	コンクリート打放し、グラスウールボード t=25 ピン押え
(F)	LGS フレキシブルボード t=5 900×900 (目地シール) VP塗装
(G)	LGS 杉桎化粧石膏ボード t=9.5
(H)	LGS 化粧石膏ボード t=9.5 (押入ボード)
(I)	LGS 石膏ボード t=9.5、ビニルクロス
(J)	LGS 浴室用塩ビ天井材
(K)	LGS アルミスバンドレールt=1.3 面巾150 焼付塗装
(L)	鋼製床用グレーチング
(M)	コンクリート打放し補修の上磁器質50ニ丁タイル貼
記号	仕上
⊗	天井点検口 (特記なき限り450角) 60ヶ所
C	木製カーテンボックス
C-AL	アルミ製カーテンボックス
—	アルミビクチャーレール
天井見切A	米松単板縁付集成材 135x50
天井見切B	米松単板縁付集成材 75x45



- 天井張り替え
- 新規天井仕上材張り (下地軽天除く)
- 吹き抜け部天井張り替え
- 吹き抜け部壁クロス張り替え

仕上凡例		
凡例	下地	仕上
(A)	LGS せっこうボード張り t=9.5 (直張り工法)	壁紙張り
(B)	LGS	ロックウール化粧吸音板 t=9 (直張り工法)
(F)	LGS 防水せっこうボード t=9.5 (直張り工法)	EP塗装
(N)	LGS せっこうボード t=9.5	ロックウール化粧吸音板 t=9

凡例	
記号	仕上
(A)	LGS フレキシブルボード t=5 900×900 目透かし張 VP塗装
(B)	コンクリート打放し補修 ウレタン樹脂カラーリヤー塗布
(C)	LGS 石膏ボード t=9.5, ロックウール吸音板 t=9
(D)	LGS 化粧石膏ボード t=9.5
(E)	コンクリート打放し, グラスウールボード t=25 ピン押え
(F)	LGS フレキシブルボード t=5 900×900 (目地シール) VP塗装
(G)	LGS 杉桎化粧石膏ボード t=9.5
(H)	LGS 化粧石膏ボード t=9.5 (押入ボード)
(I)	LGS 石膏ボード t=9.5, ビニルクロス
(J)	LGS 浴室用塩ビ天井材
(K)	LGS アルミスバンドレル t=1.3 面巾150 焼付塗装
(L)	鋼製床用グレーチング
(M)	コンクリート打放し補修の上磁器質50ニトタイル貼
天井見切A	
記号	仕上
⊗	天井点検口 (特記なき限り450角) 60ヶ所
C	木製カーテンボックス
C-AL	アルミ製カーテンボックス
—	アルミビクチャーレール
天井見切A	米松単板縁付集成材 135x50
天井見切B	米松単板縁付集成材 75x45

[illegible]

改修前 浴室平面図

	<div>(株) 星 野 設 計 事 務 所</div> <div>1 級 建 築 士 登 録 第 1 7 1 4 1 4 号 渡 邊 陽 一</div>	工事名称	あぶるま苑改修2期工事（建築工事）	日付	D - 26
				R 5 年 1 1 月 日	
		図面名称	浴室 改修前・改修後平面図	縮尺	

改修前 洗面台・浴槽廻り

浴室用塩ビ天井板張り

鏡 400×500 4か所

ステンレス手摺φ42.7HL

化粧棚 御影石t=25本磨きr面取り W=140

立上り 御影石t=20本磨き

洗面台 御影石t=50本磨きr面取り W=300

防水立上り部
メタルラス張り

床排水・ステンレスパンチングフタ (ノンスリップ)
J200 t=30HL 溝内部 防水モルタル金t手

洗い場廻り断面図 1:20

浴室用塩ビ天井板張り

鏡 400×500 4か所

ステンレス手摺φ42.7HL

化粧棚 御影石t=25本磨きr面取り W=140

立上り 御影石t=20本磨き

洗面台 御影石t=50本磨きr面取り W=300

磁器質モザイクタイル50角張り
モルタル木コテ下地

磁器質50二丁掛けタイル貼り

アスファルト防止立ち上げ H=900
防水立上り部メタルラス張り

側板 御影石t=25本磨き

浴槽内: 磁器質モザイクタイル50×50
モルタル木コテ
押えコンクリートt=80 ワイヤーマッシュφ6 #100φ2x
硬質フォームポリスチレン板t=25敷込み
アスファルト防水
均しモルタルt=20

ステンレス手摺φ42.7HL

笠木 御影石t=25本磨きr面取り W=280

押えコンクリートt=80 ワイヤーマッシュφ6 #100φ2x

硬質フォームポリスチレン板t=25敷込み

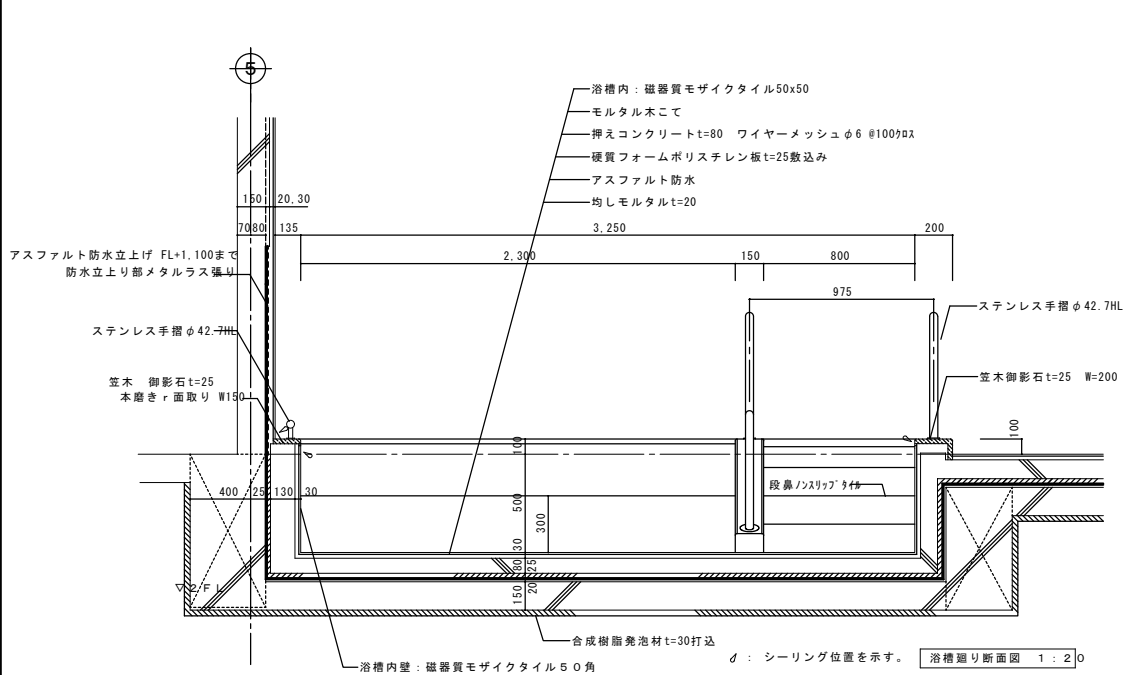
アスファルト防水

均しモルタルt=20

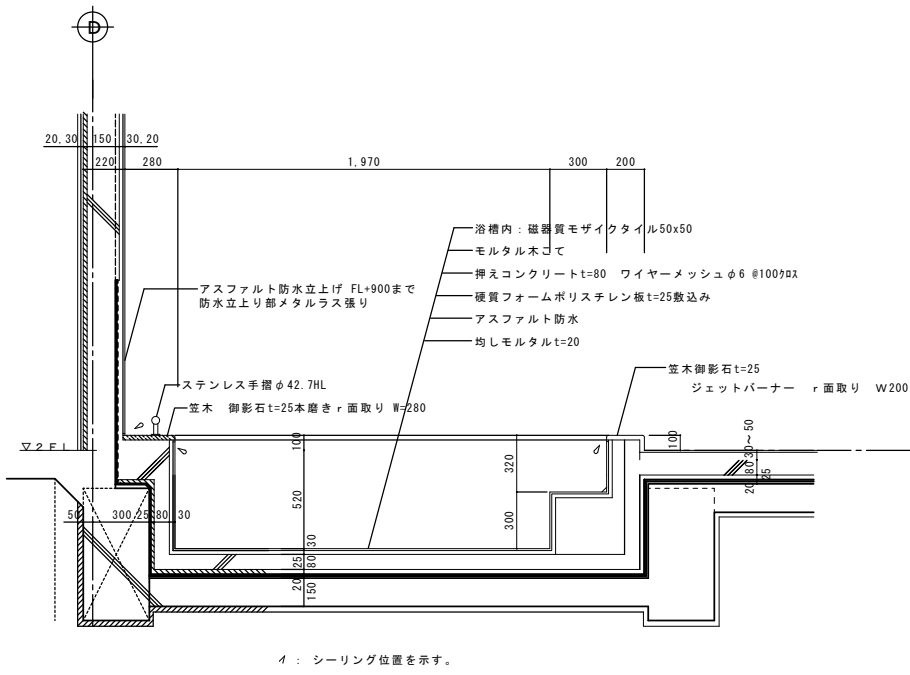
合成樹脂発泡材 t=30打込

[illegible]

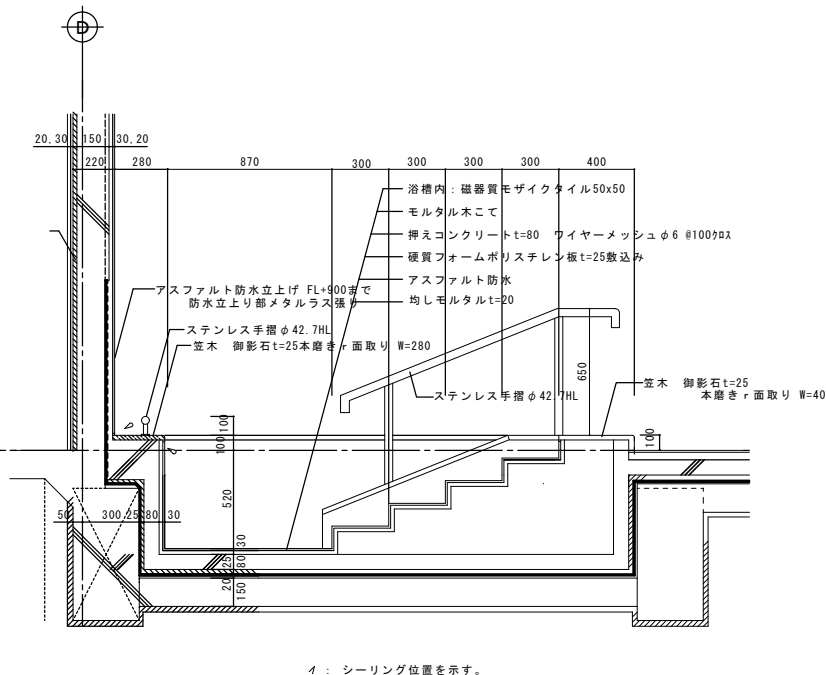
現況 浴槽断面図



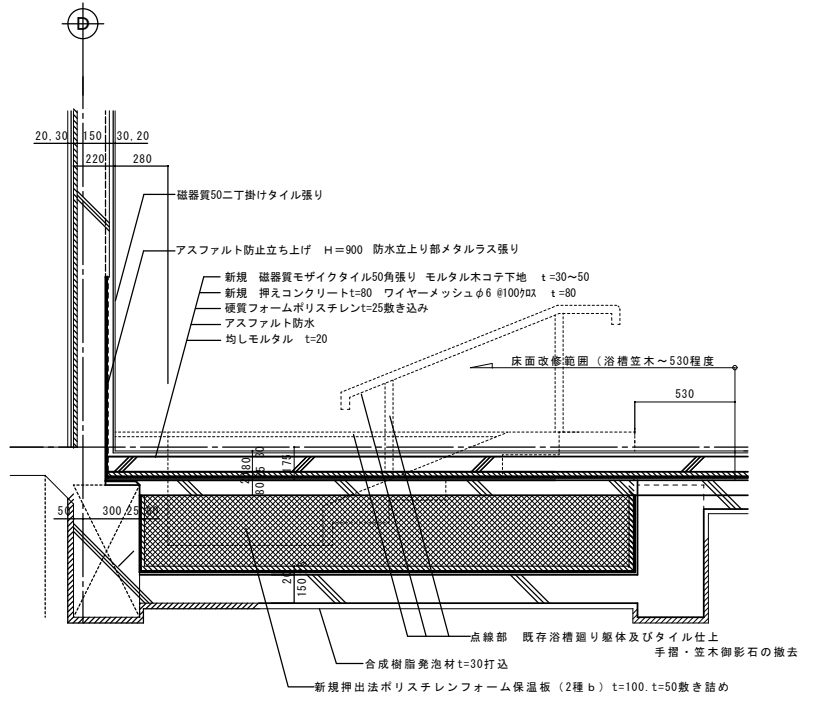
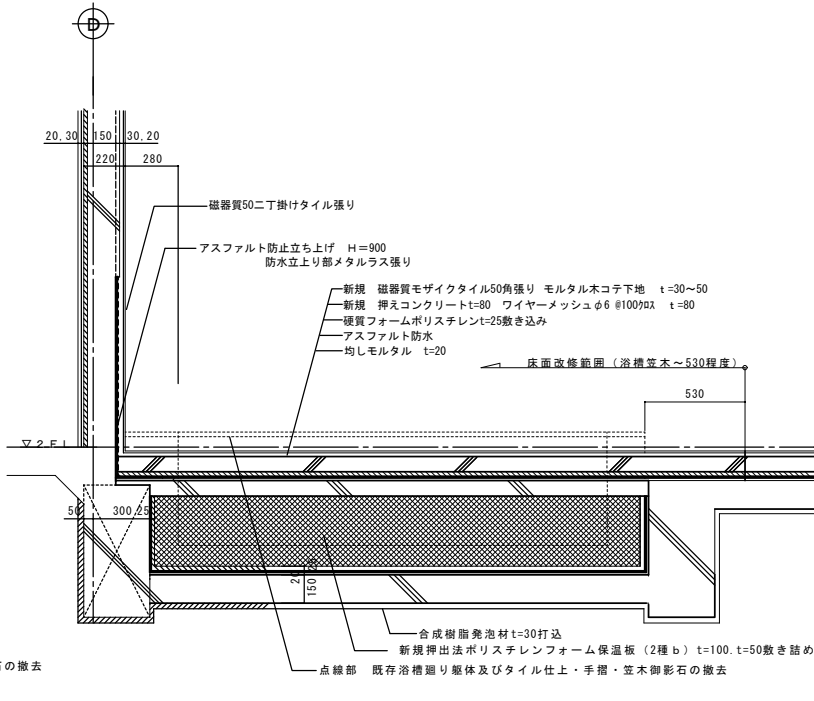
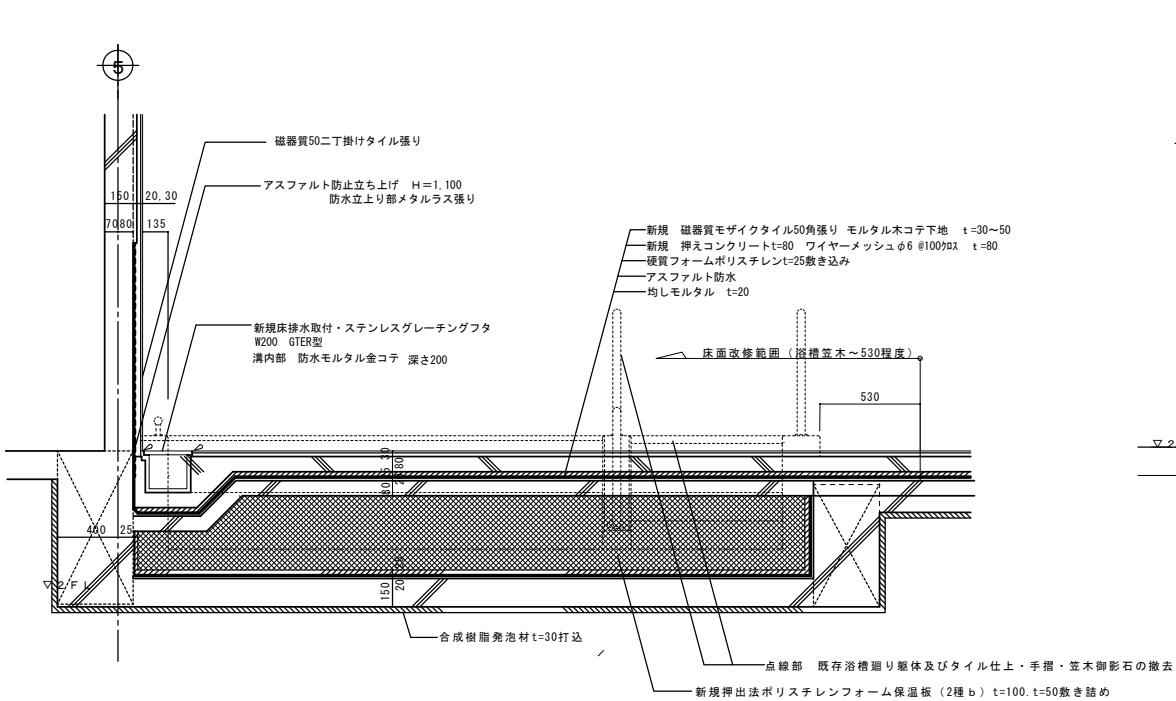
現況 浴槽断面図



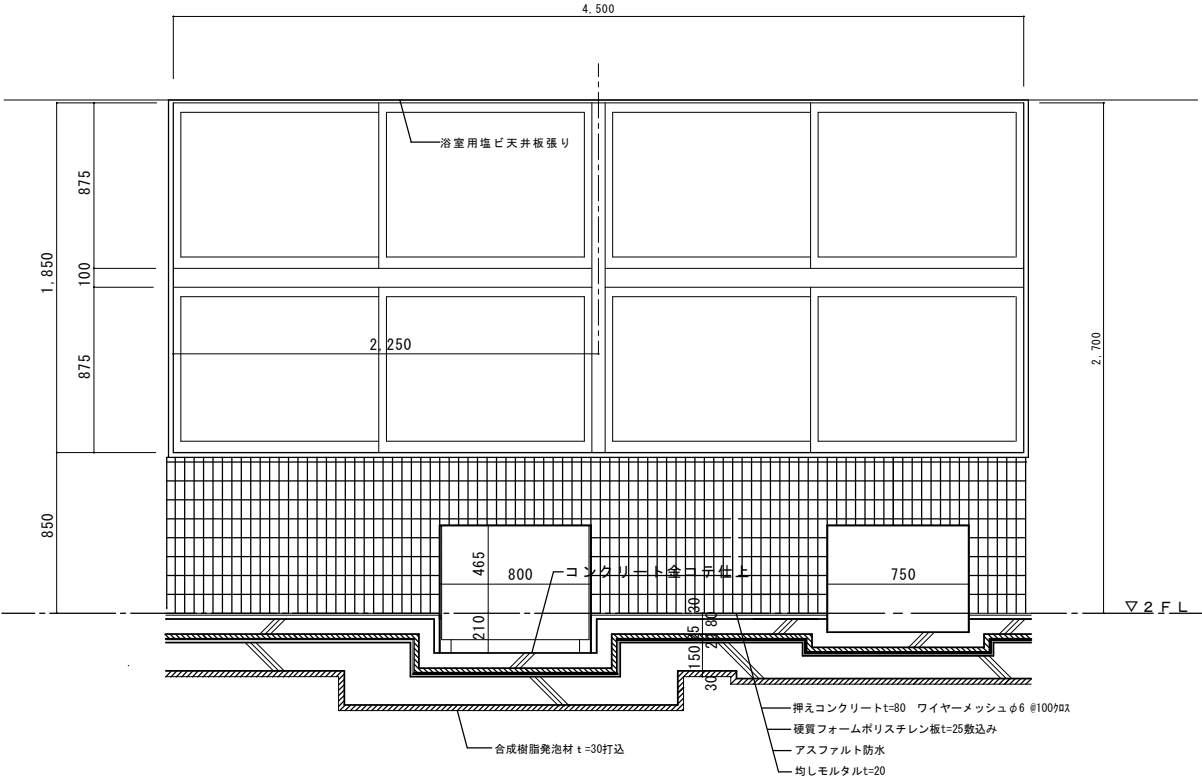
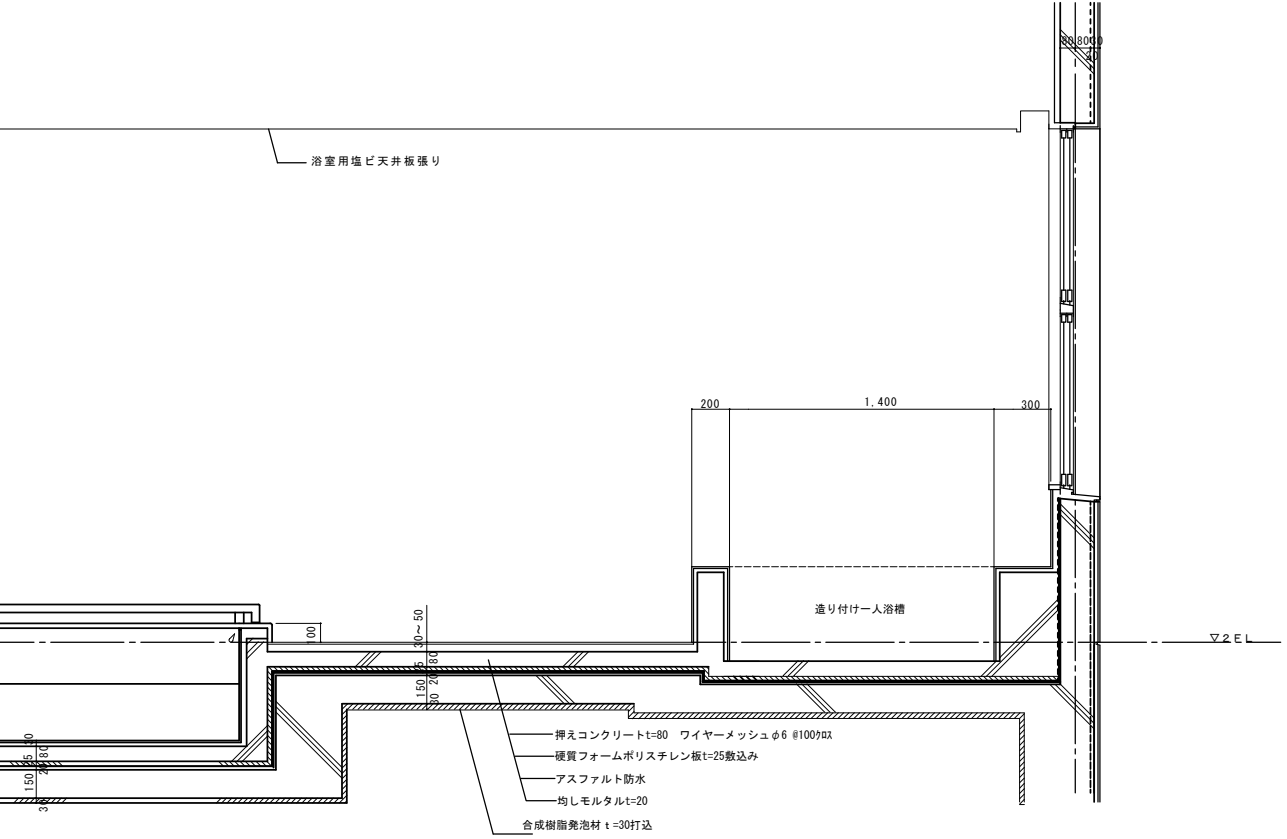
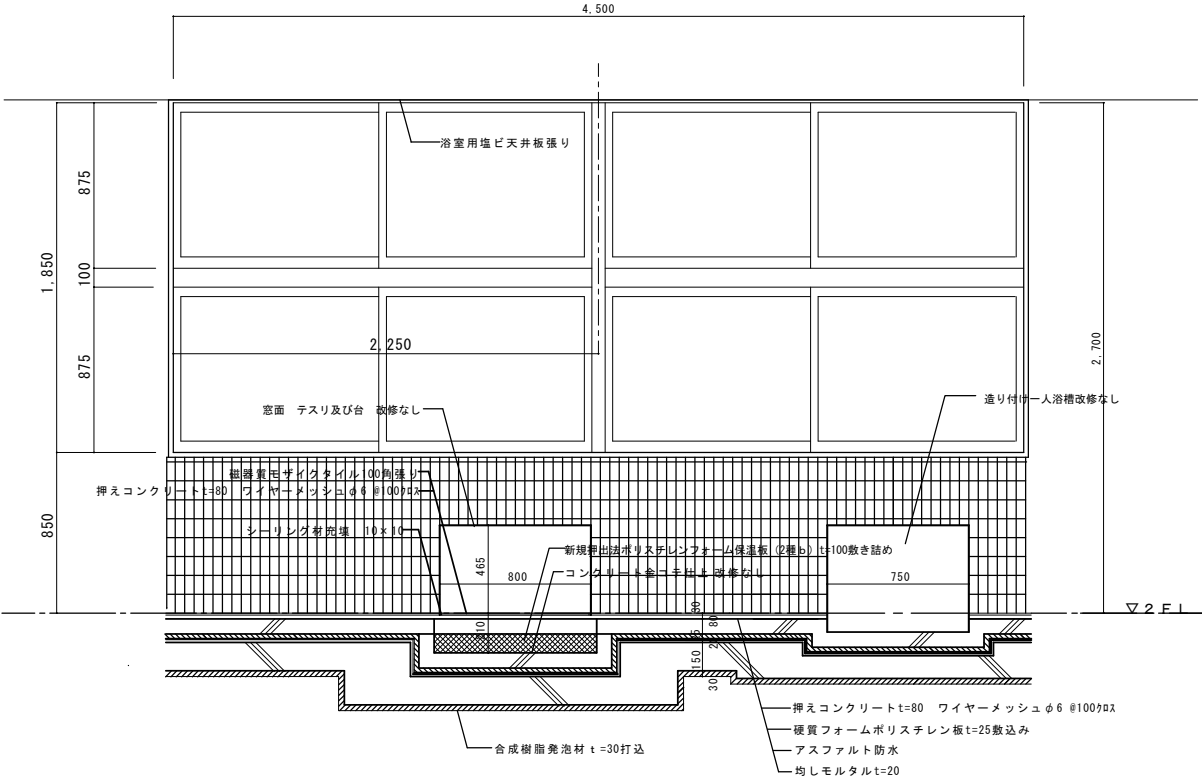
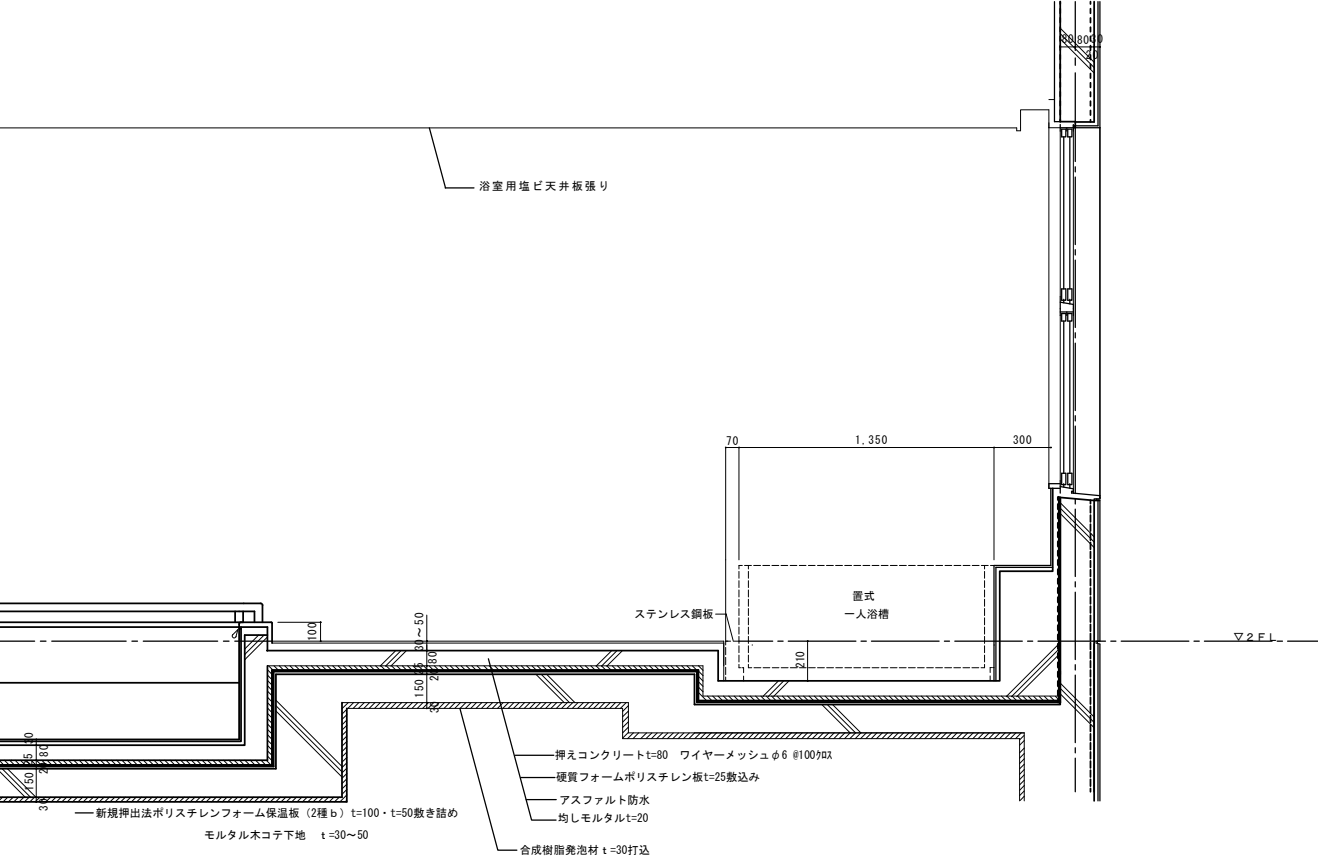
計画断面詳細図

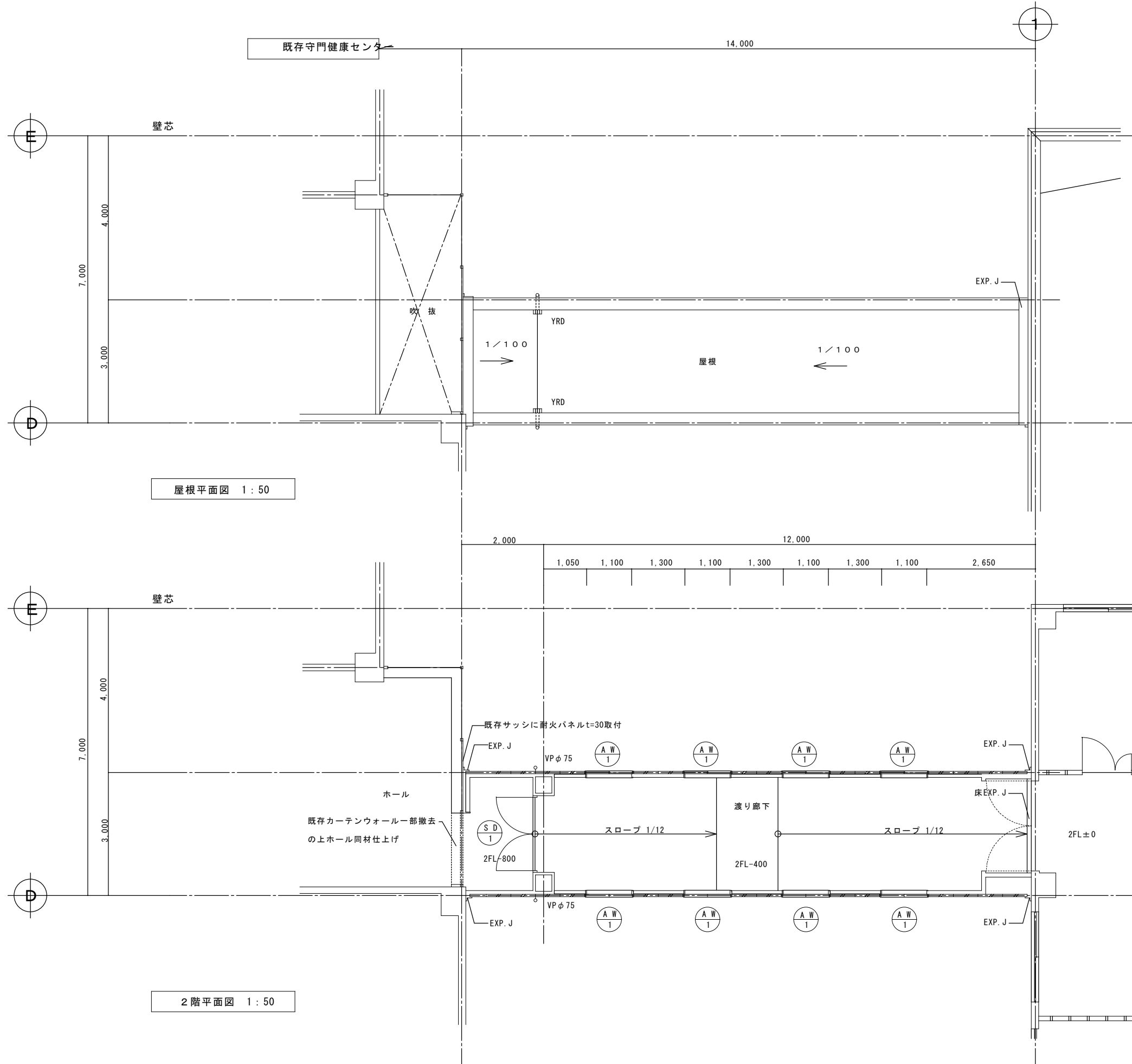


改修後 浴槽断面図

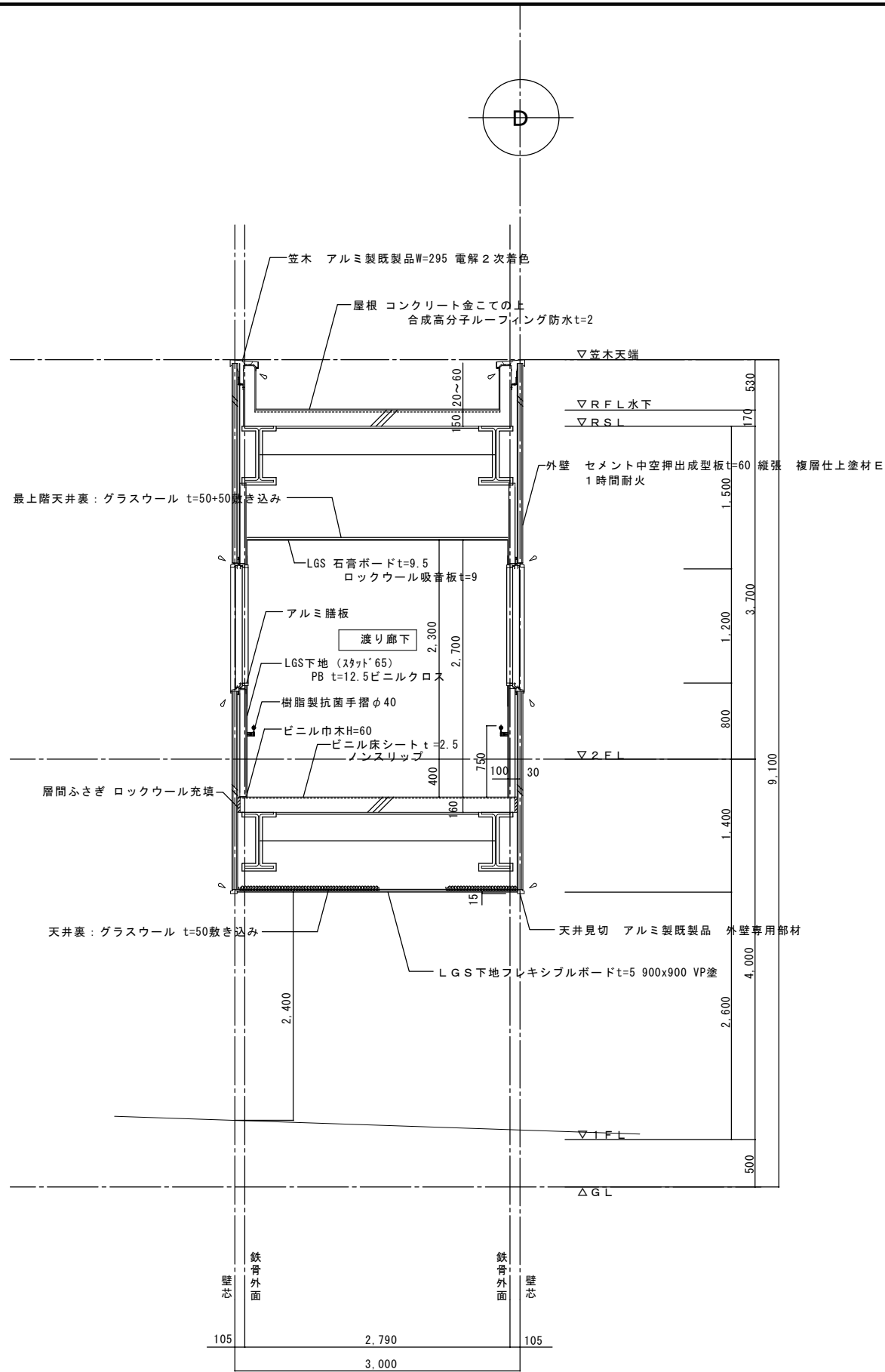


(註) 浴槽廻り壁仕上タイルFL+500マテ撤去・新規磁器質50二丁掛け壁タイル張り
新規アスファルト防水はタフネスファイン防水（昭石加工株式会社同等品）接続部分 W100から200以上
新規押出法ポリスチレンフォーム保温板押えコンクリート t=80
防水工事完了後水張り試験を行う

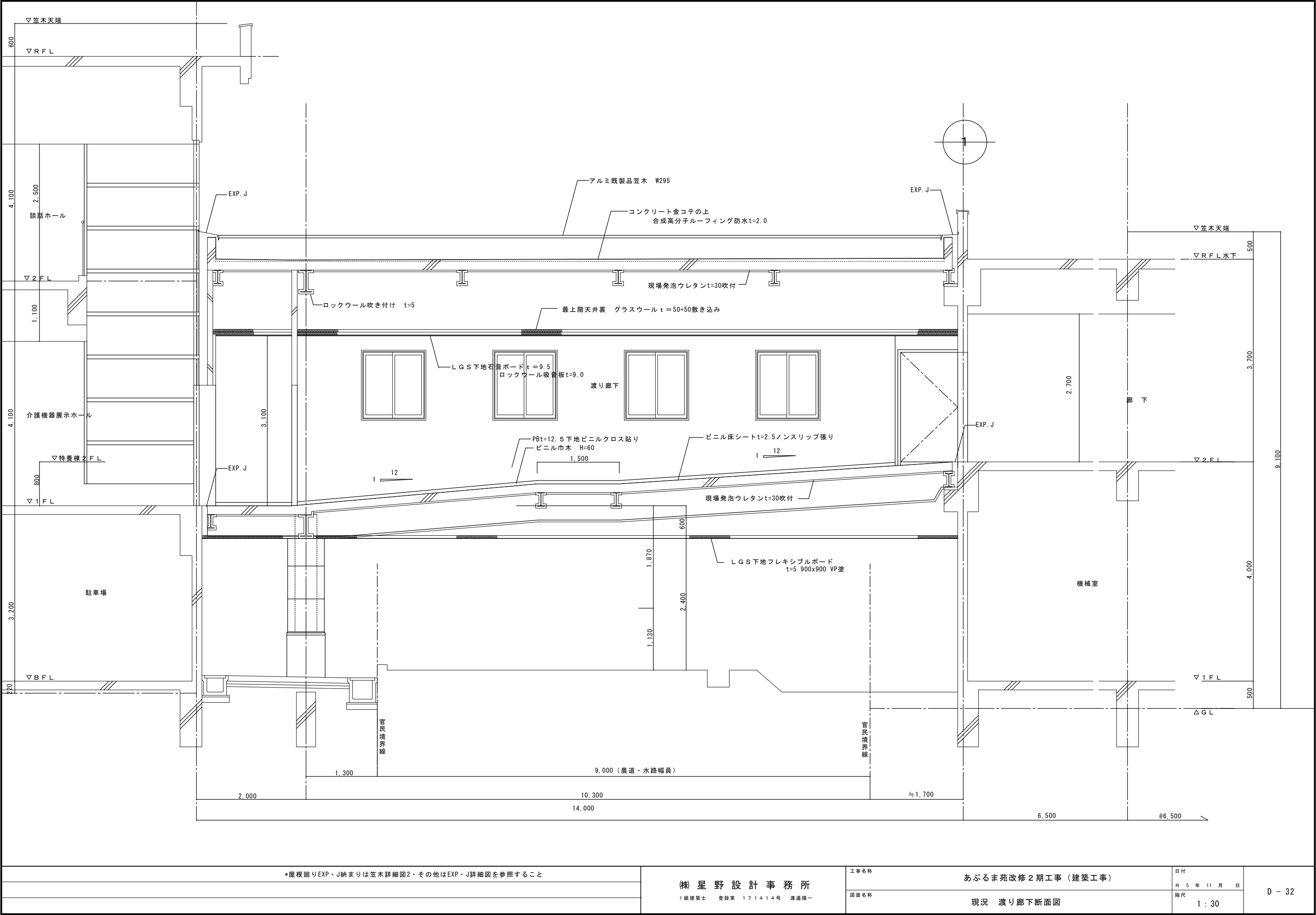
<div>改修前 一人浴槽</div> 	<div>改修前 一人浴槽</div> 
<div>改修後 一人浴槽</div> 	<div>改修前 一人浴槽</div> 
<div></div>	<div>(株) 星 野 設 計 事 務 所</div> <div>1 級 建 築 士 登 録 第 171414 渡 邊 陽 一</div> <div>工事名称</div> <div>あぶるま苑改修2期工事（建築工事）</div> <div>日付</div> <div>R 5 年 11 月 日</div> <div>図面名称</div> <div>浴室 一人浴槽詳細図</div> <div>縮尺</div> <div>1 : 20</div> <div>D - 29</div>



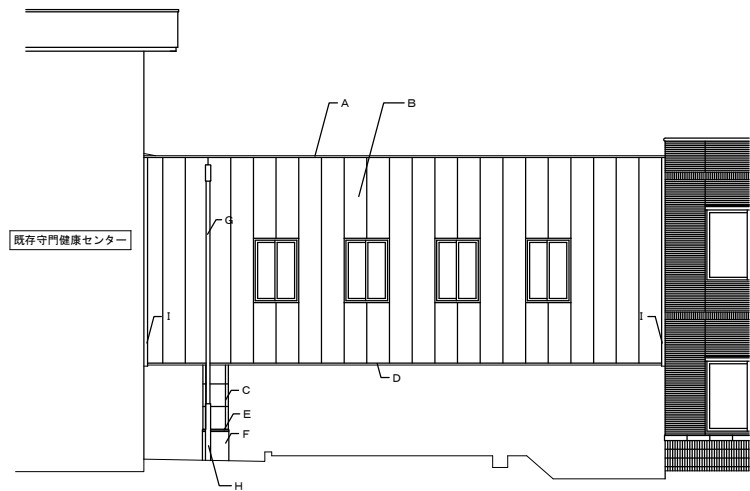
		(株) 星 野 設 計 事 務 所 1級建築士 登録第 171414号 渡邊陽一	工事名称 あぶるま苑改修2期工事（建築工事） 図面名称 現況 渡り廊下2階平面図・屋根平面図	日付 R 5 年 11 月 日 縮尺 1:50	D - 30



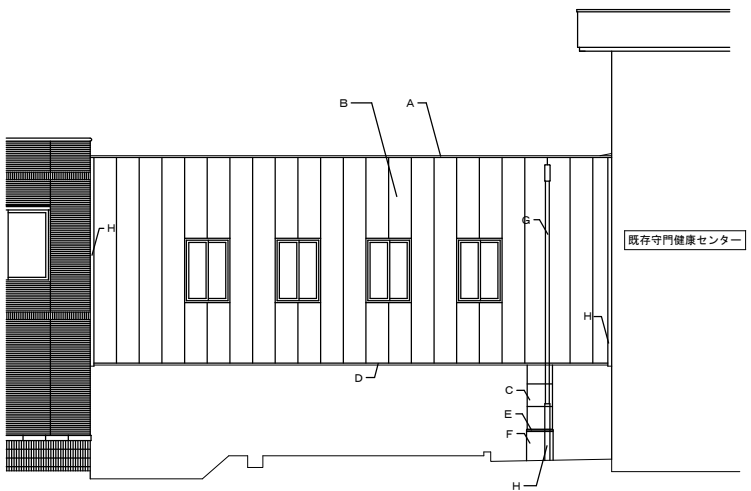
* 渡り廊下の鉄骨柱・梁はロックウール吹付けt=35 乾式 1時間耐火とする。 * 渡り廊下の内部外壁面は現場発泡ウレタンt=20吹付けとする。 * 渡り廊下のスラブ下は現場発泡ウレタンt=30吹付けとする。	(株) 星 野 設 計 事 務 所 1級建築士 登録第 171414号 渡邊陽一	工事名称	あぶるま苑改修2期工事（建築工事）	日付	D - 31
		図面名称	現況 渡り廊下断面図 1	R 5 年 11 月 日	
				縮尺 1 : 30	



*屋根廻りEXP・J納まりは笠木詳細図2・その他はEXP・J詳細図を参照すること		株式会社 星野設計事務所 1級建築士 登録第 171414号 渡邊陽一	工事名称 あぶるま苑改修2期工事（建築工事）		日付 R 5 年 11 月 日	D - 32
			図面名称 現況 渡り廊下断面図		縮尺 1 : 30	



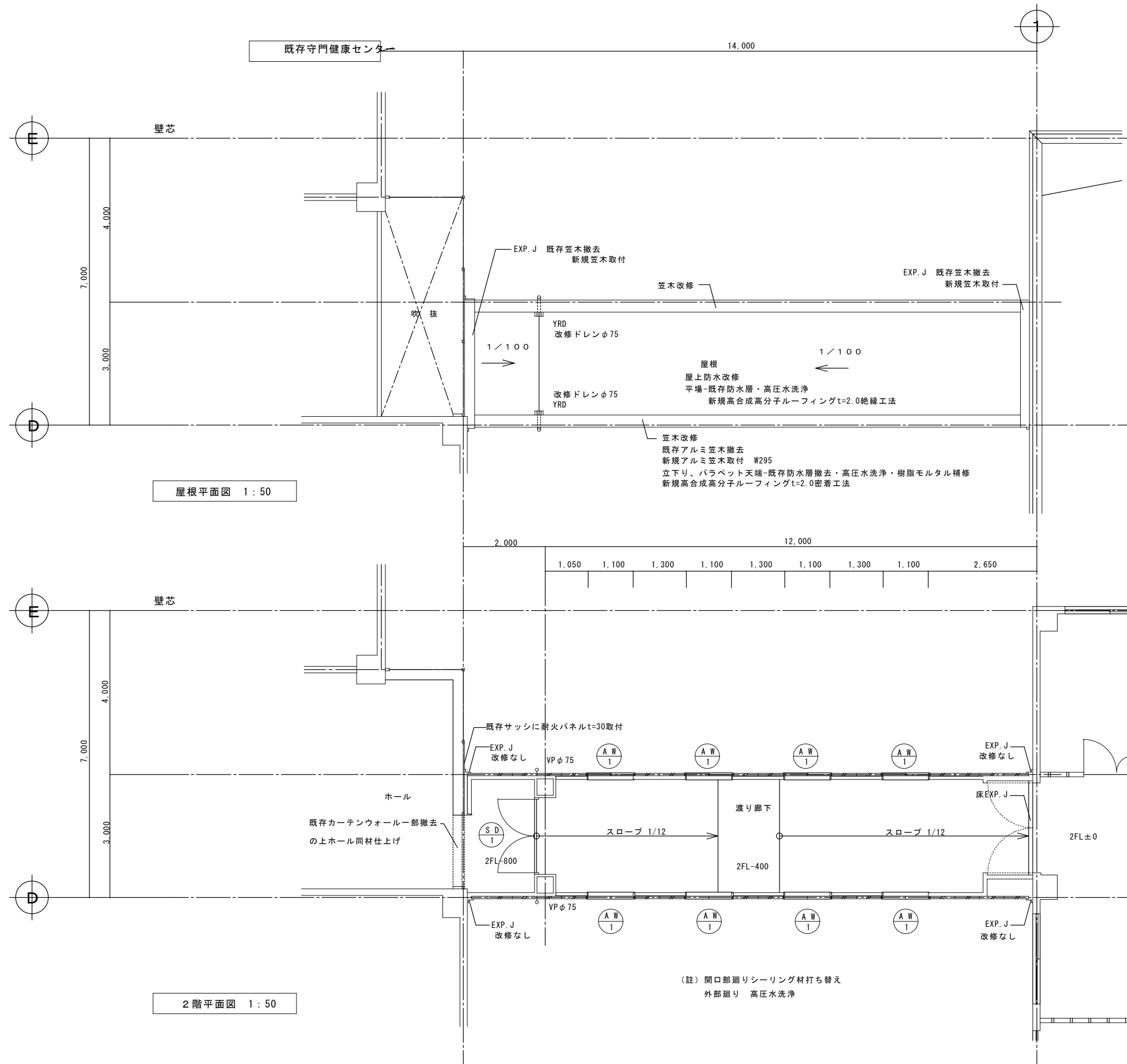
南側立面図 S = 1 : 1 0 0



北側立面図 S = 1 : 1 0 0

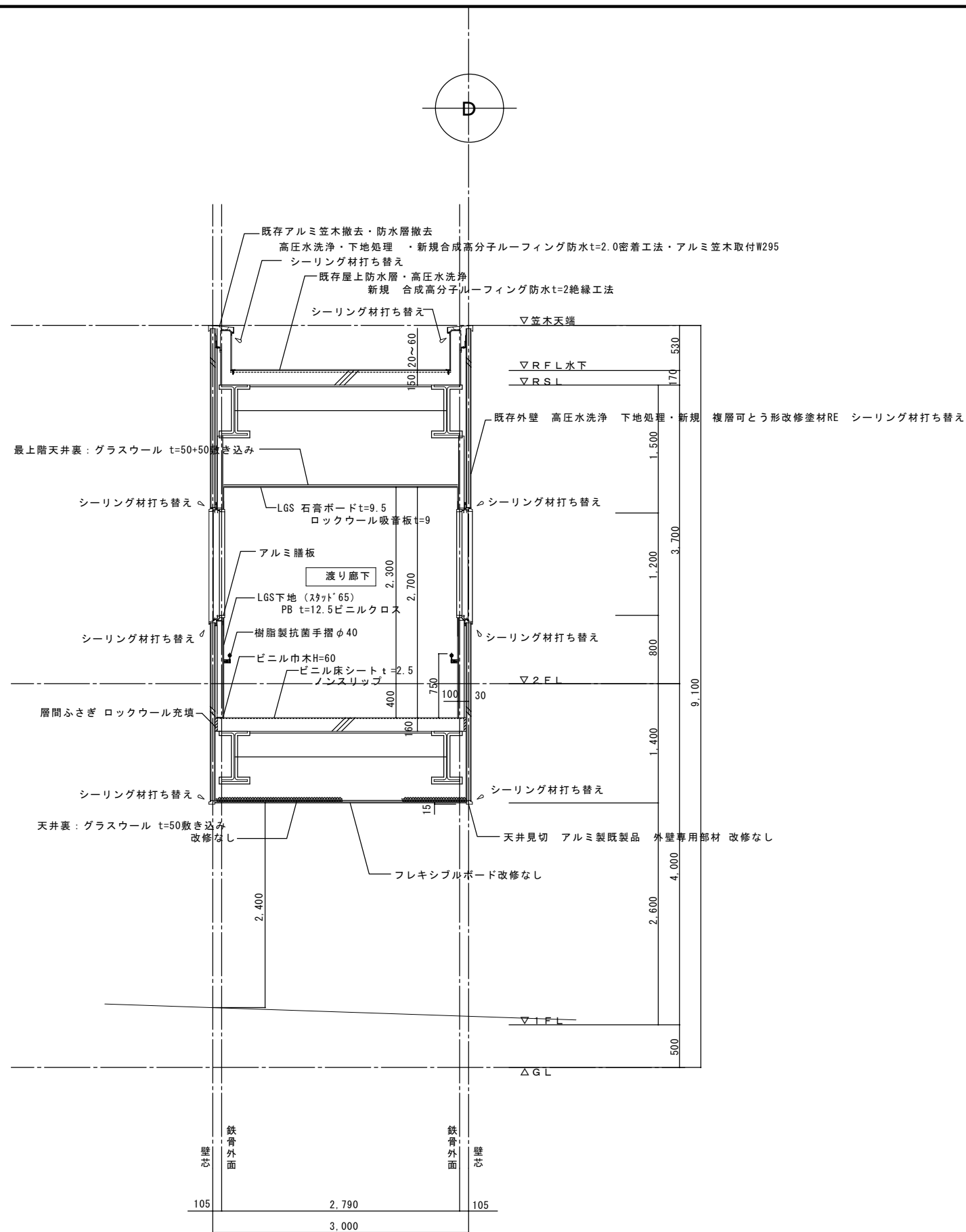
- A 笠木 アルミ製笠木 既製品W=295 電解2次着色
B 外壁 セメント中空押出成型板t=60 縦張 複層仕上塗材E
C 柱型 セメント中空押出成型板t=60 横張 複層仕上塗材E
D 天井見切 アルミ製既製品 外壁専用部材
E 腰水切 アルミ製既製品
F 柱脚部 コンクリート打放し補修
G 堅樋 V P管φ75 V P塗 飾り樹付
H 養生管 S G P管 φ125 F E塗装
I エキスパンションジョイント アルミ製既製品クリアランス100用

建 具 表 1 : 1 0 0							
① 6ヶ所							
型 式	アルミ製引き違い窓						
金 物	クレセント、水切、内部4方外部3方隠板						
仕 上	アルマイト						
ガ ラ ス	網入り磨き板ガラス t=6.8						
備 考	半外付けサッシ						
② 1ヶ所							
型 式	スチール製片開きドア						
金 物	オートセンシ、レバーハンドル、SUS音響 電気錠						
仕 上	S O P						
ガ ラ ス							
備 考	感知機連動随時開錠式甲種防火戸						

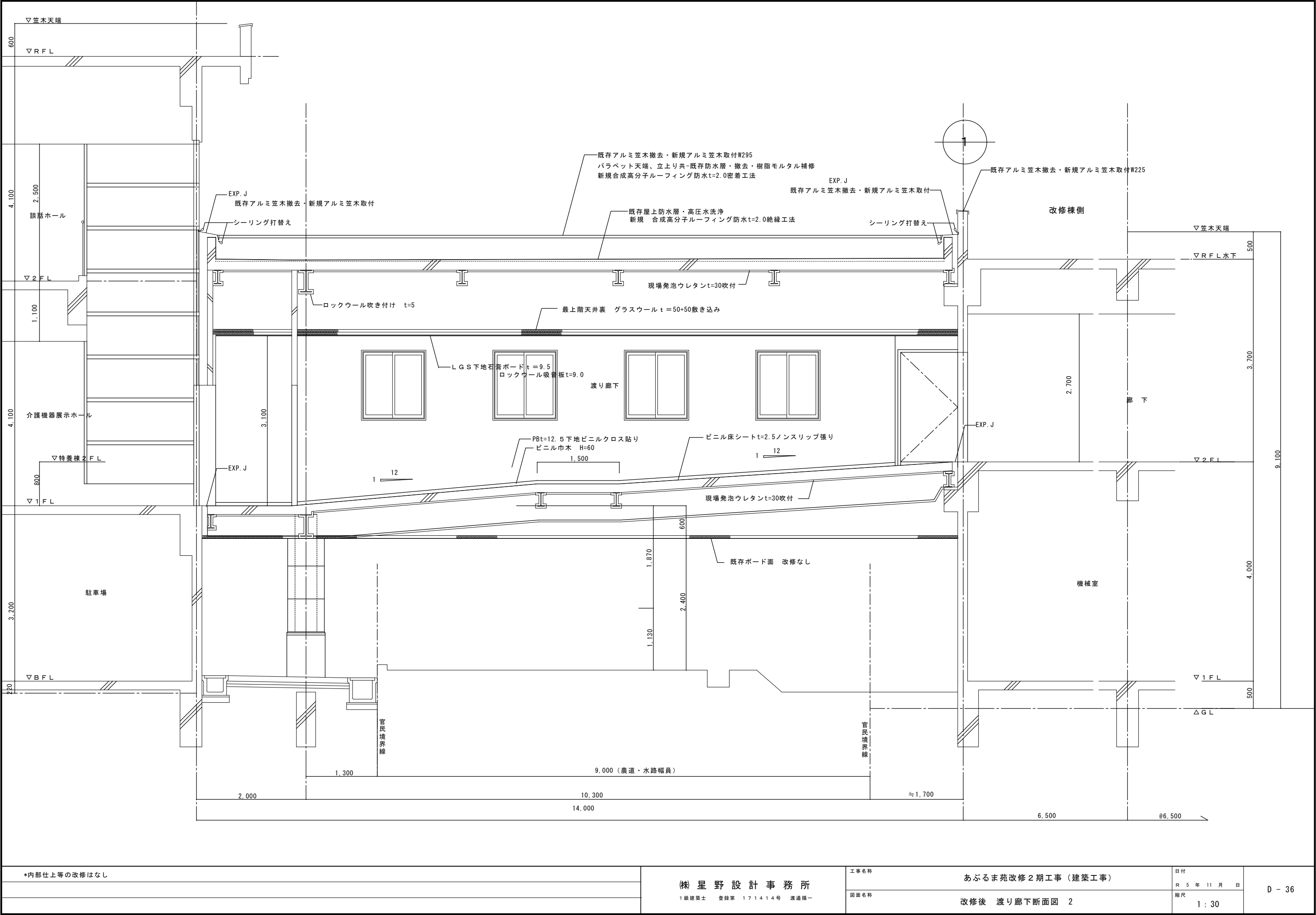


屋根平面図 1 : 50

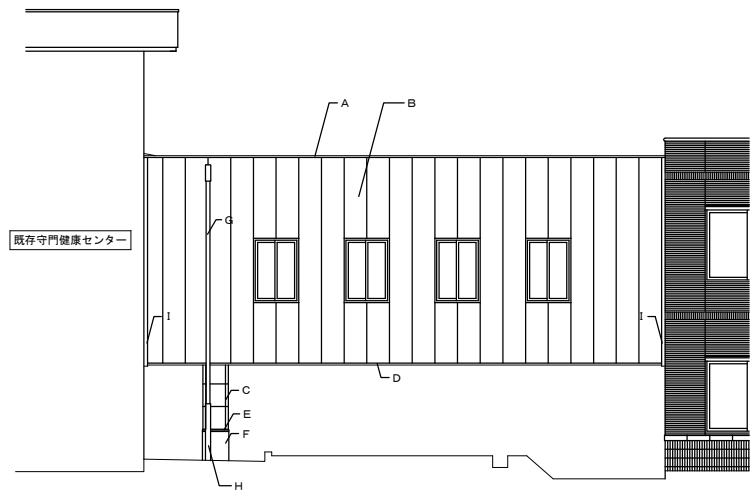
2階平面図 1 : 50



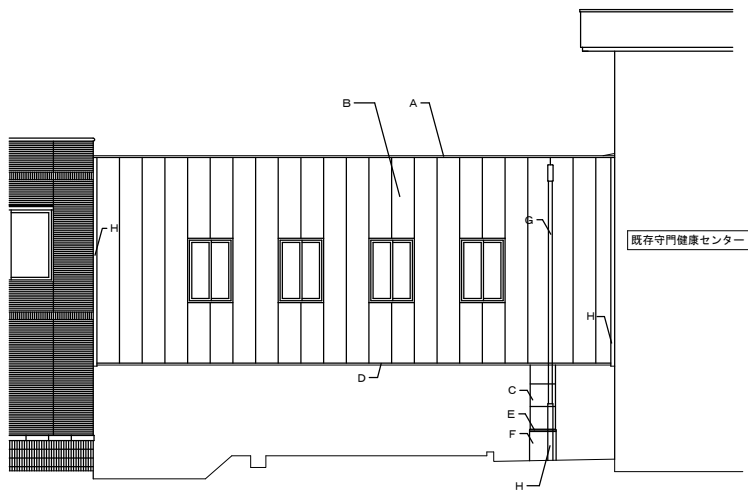
*内部仕上等の改修はなし	(株) 星 野 設 計 事 務 所 1級建築士 登録第 171414号 渡邊陽一	工事名称	あぶるま苑改修2期工事（建築工事）	日付	D - 35
				R 5 年 11 月 日	
			図面名称	改修後 渡り廊下断面図 1	



*内部仕上等の改修はなし	(株) 星 野 設 計 事 務 所 1 級 建 築 士 登 録 第 1 7 1 4 1 4 号 渡 邊 陽 一	工事名称	あぶるま苑改修 2 期工事（建築工事）	日付	D - 36
		図面名称	改修後 渡り廊下断面図 2	R 5 年 1 1 月 日	
				縮尺	



南側立面図 S = 1 : 1 0 0

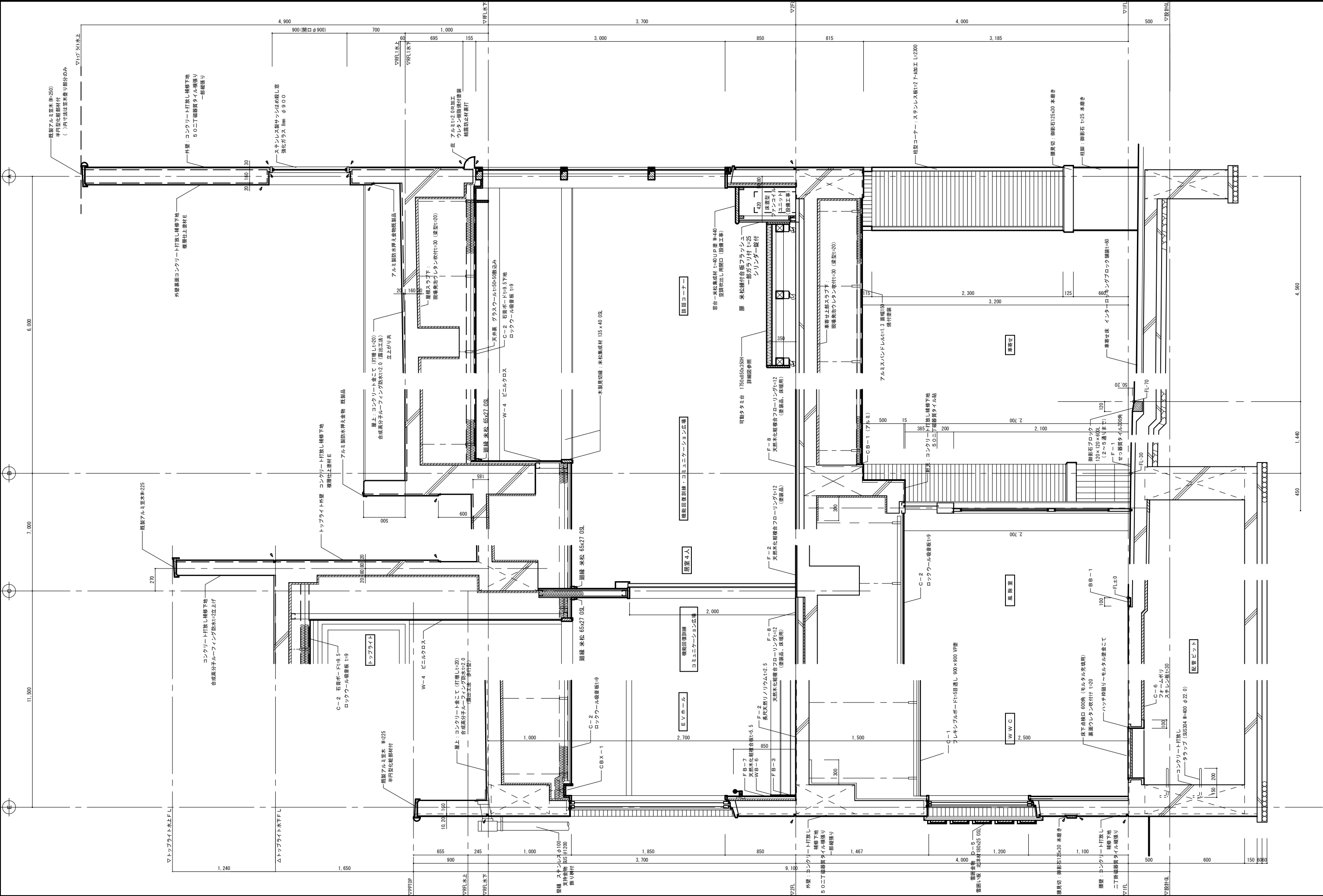


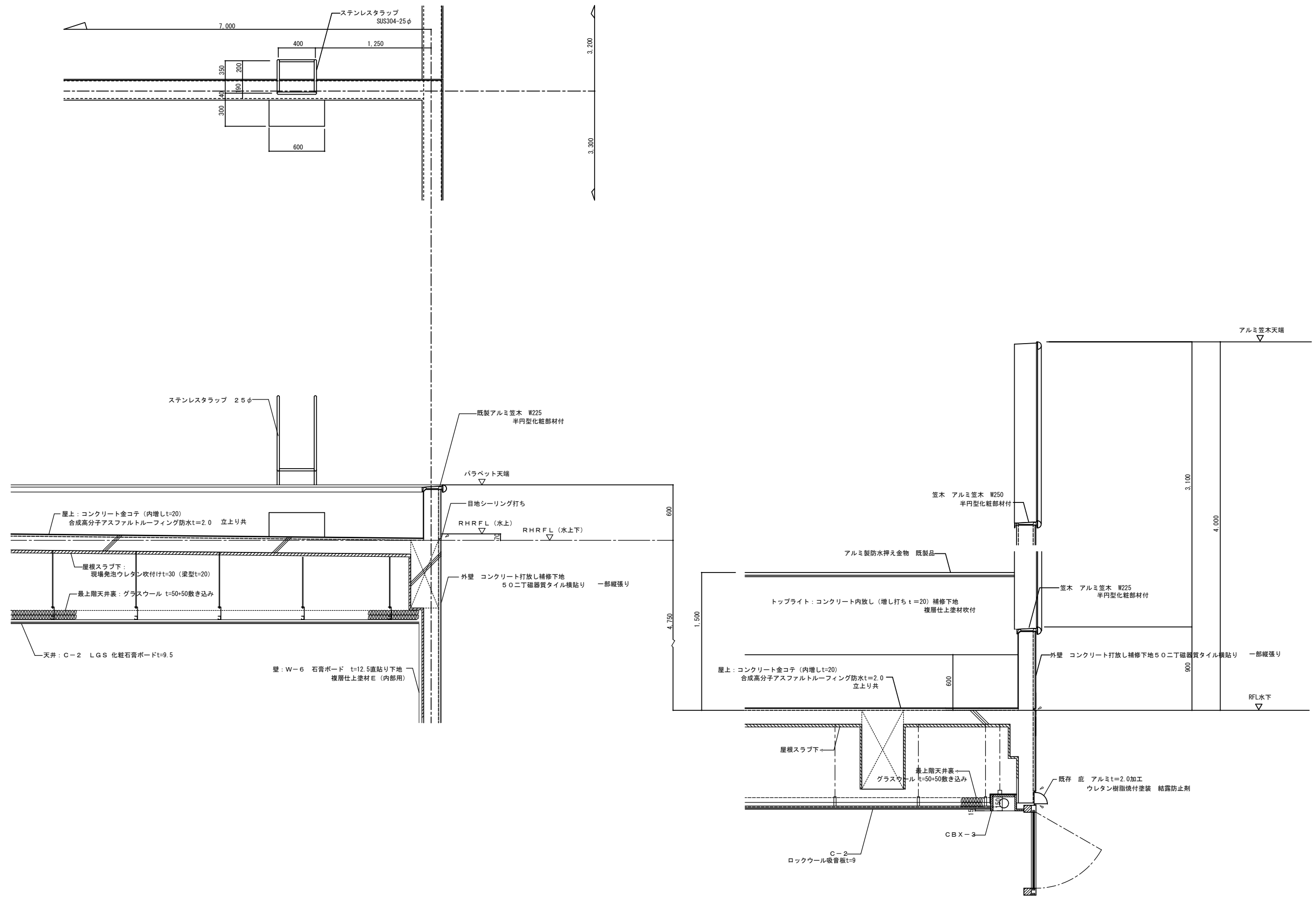
北側立面図 S = 1 : 1 0 0

A	既存 笠木	アルミ製撤去・防水層撤去・高圧水洗浄・下地処理・新規防水層および新規アルミ笠木取付
B	既存外壁	セメント中空押出成型板面高圧水洗浄・下地処理・新規可とう形改修塗材RE シーリング材打ち替え
C	既存柱型	セメント中空押出成型板面高圧水洗浄・下地処理・新規可とう形改修塗材RE シーリング材打ち替え
D	既存天井見切	改修なし
E	既存腰水切	改修なし
F	既存 柱脚部	改修なし
G	既存壁樋	V P 管改修なし
H	既存養生管	S G P 管改修なし
I	既存エキスパンションジョイント面	高圧水洗浄・屋上取り合い笠木取り替えその他改修なし

建 具 表 1 : 1 0 0							
A 1 6ヶ所							
型 式	アルミ製引き違い窓						
金 物	クレセント、水切、内部4方外部3方隠板						
仕 上	アルマイト						
ガ ラ ス	網入り磨き板ガラス t=6.8						
備 考	半外付けサッシ						
B 1 1ヶ所							
型 式	スチール製片開きドア						
金 物	オートセンシ、レバーハンドル、SUS音響 電気錠						
仕 上	S O P						
ガ ラ ス							
備 考	感知機連動随時開錠式甲種防火戸						

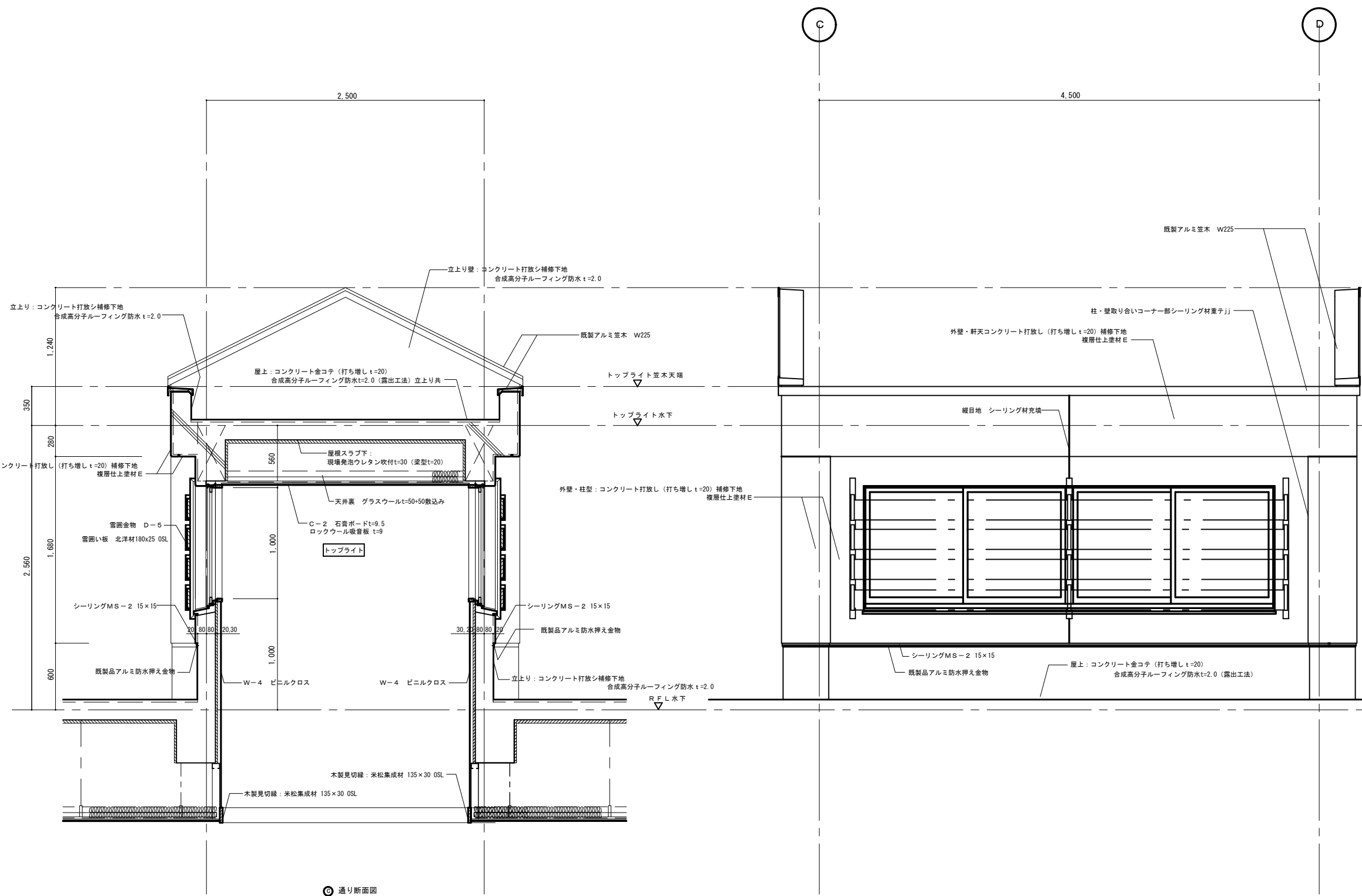
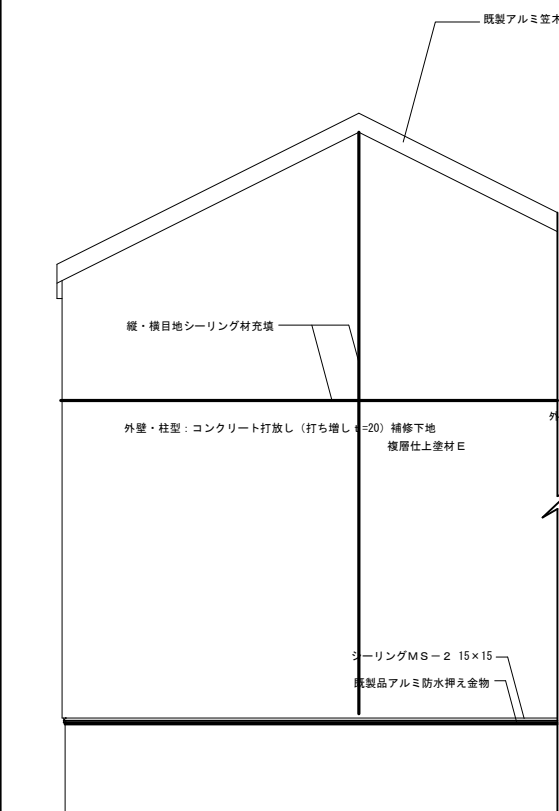
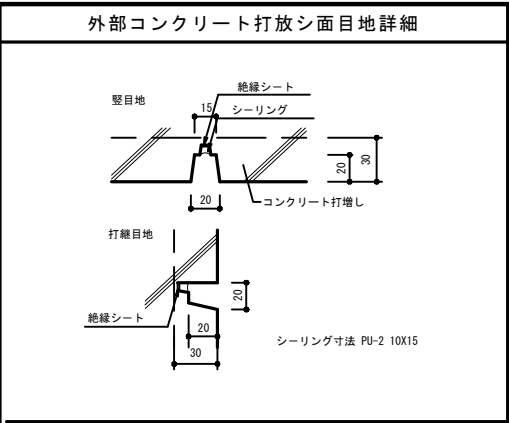


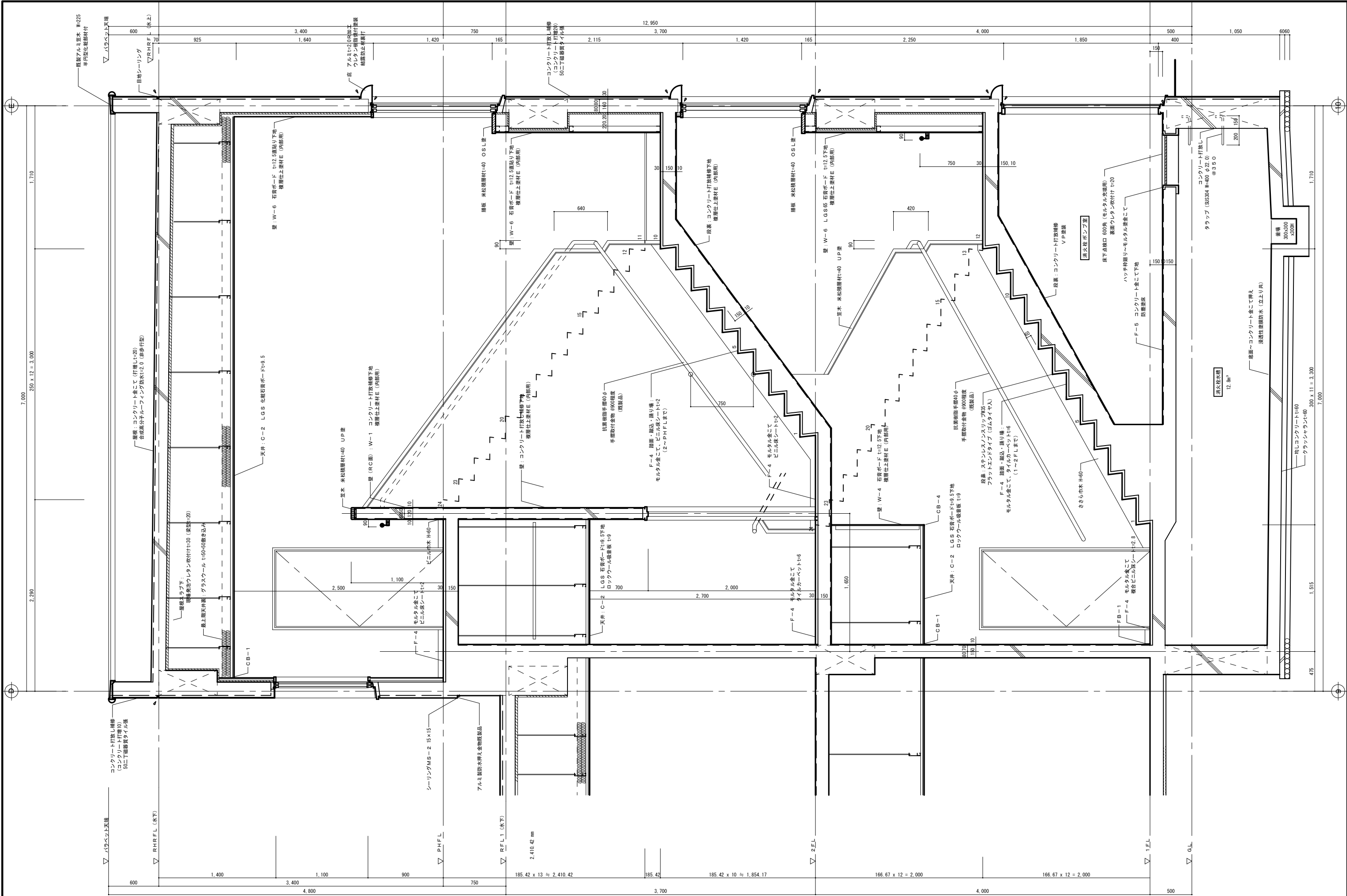


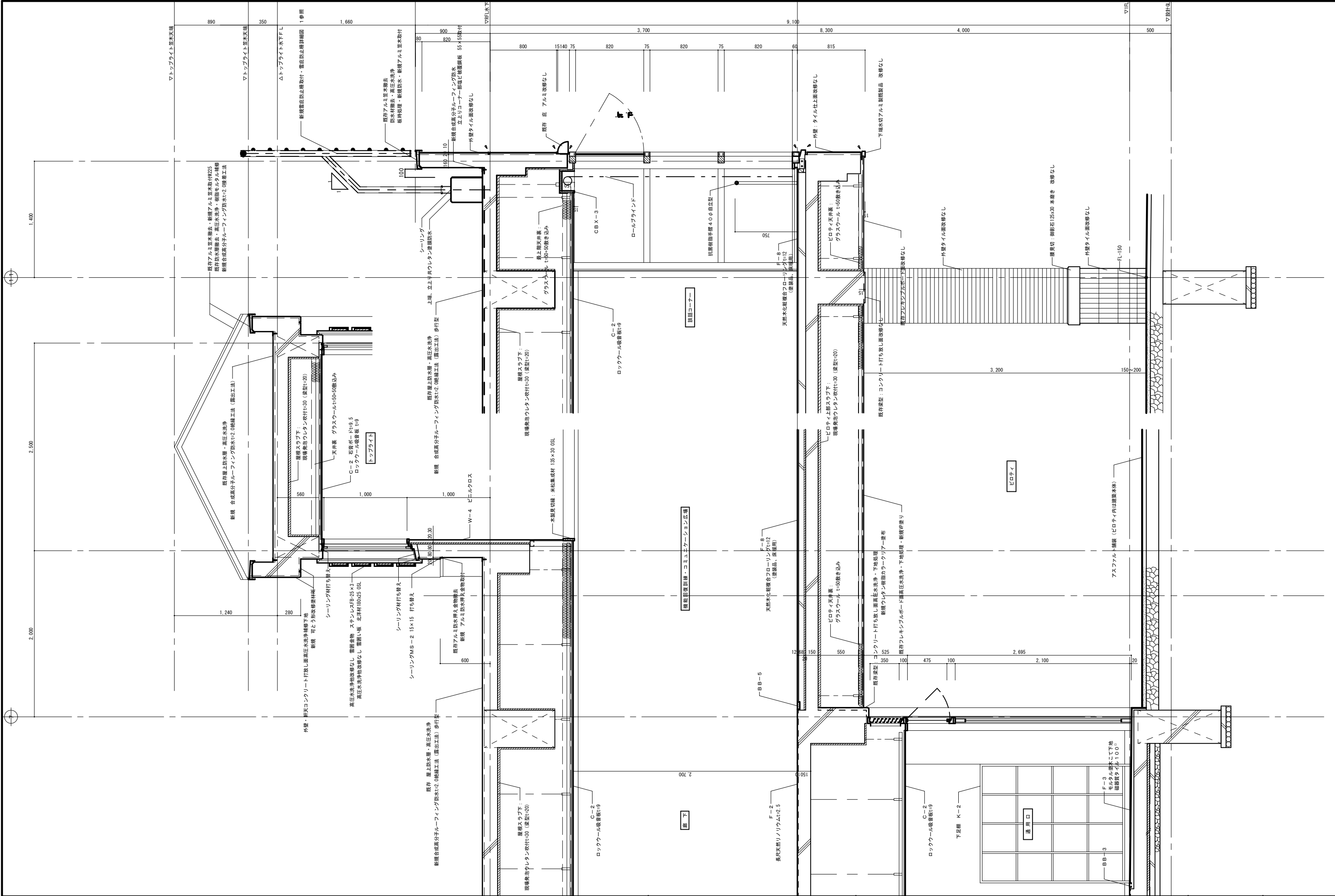


	(株) 星 野 設 計 事 務 所 1級建築士 登録第 171414号 渡邊陽一	工事名称	あぶるま苑改修2期工事（建築工事）	日付	R 5 年 11 月 日	D - 40
		図面名称	現況 矩計図 3	縮尺		
				1 : 20		

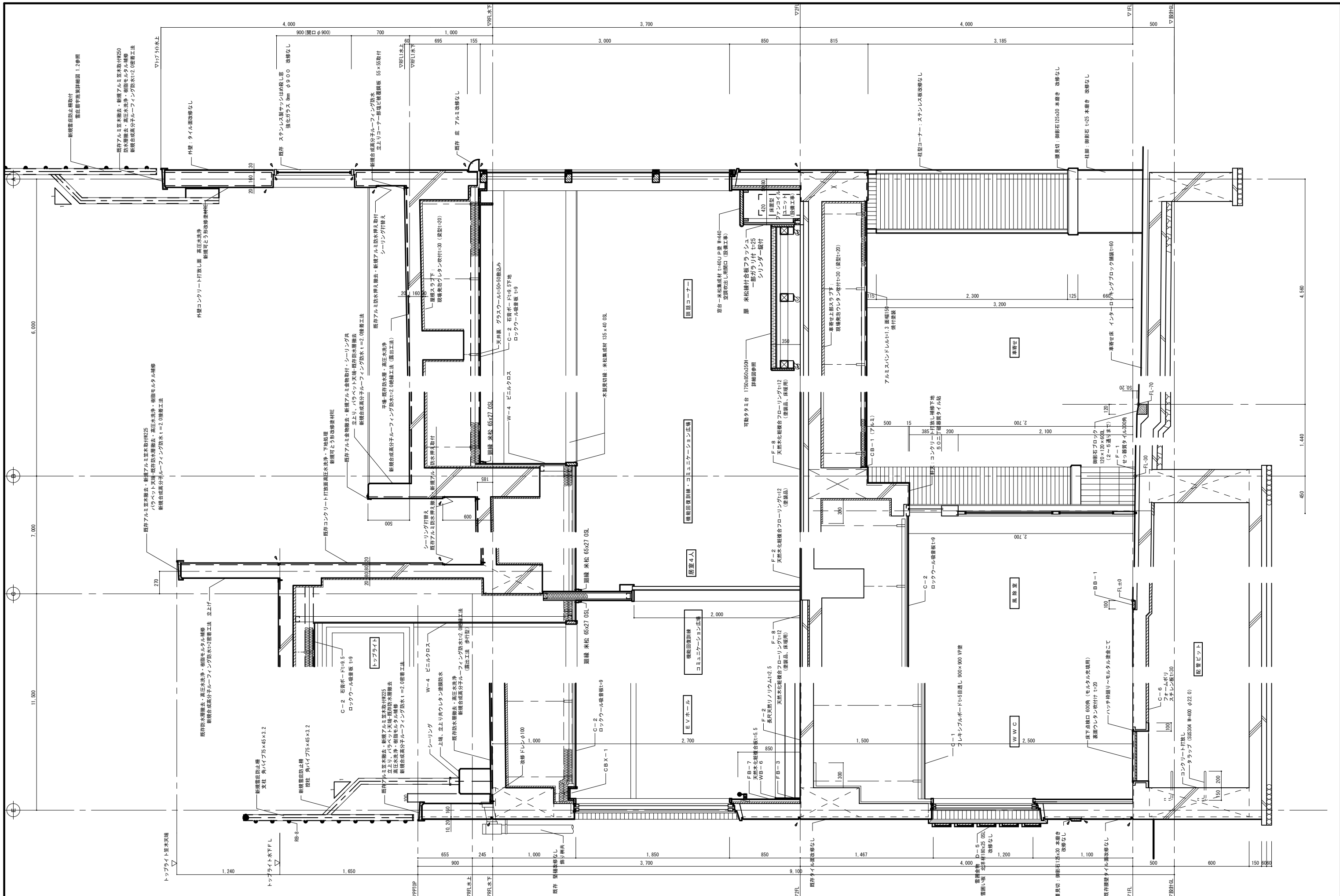
外部コンクリート打放し面目地詳細







(註) トップライト屋上の雪庇防止柵は雪庇防止柵詳細図 3参照			工務名称 あぶるま苑改修2期工事（建築工事） 図面名称 改修後 矩計図 1	日付 R 5 年 11 月 日	D - 43
❶ シーリング材充填位置を示す タイル仕上廻りの目地、開口部等のシーリング材は改修なし その他外壁タイル仕上以外のシーリングは全て打ち替えとする				縮尺 1 : 20	
特記なき場合の内部改修はなし 各国共通-合成高分子ルーフィング防水立上りコーナ一部は塩ビ被覆鋼板 55×55取付					



(註) 正面雪庇防止柵は雪庇防止柵詳細図 2 参照

① シーリング材充填位置を示す 外壁タイル仕上廻りの目地、開口部等のシーリング材は改修なし 其他外壁タイル仕上以外のシーリングは全て打ち替えとする

特記なき場合の内部改修はなし 各図共通-合成高分子ルーフィング防水立上りコーナ一部は塩ビ被覆銅板 55×55取付

(株) 星野設計事務所

1級建築士 登録第171414 渡邊陽一

工事名称

あぶるま苑改修 2 期工事（建築工事）

图面名称	
------	--

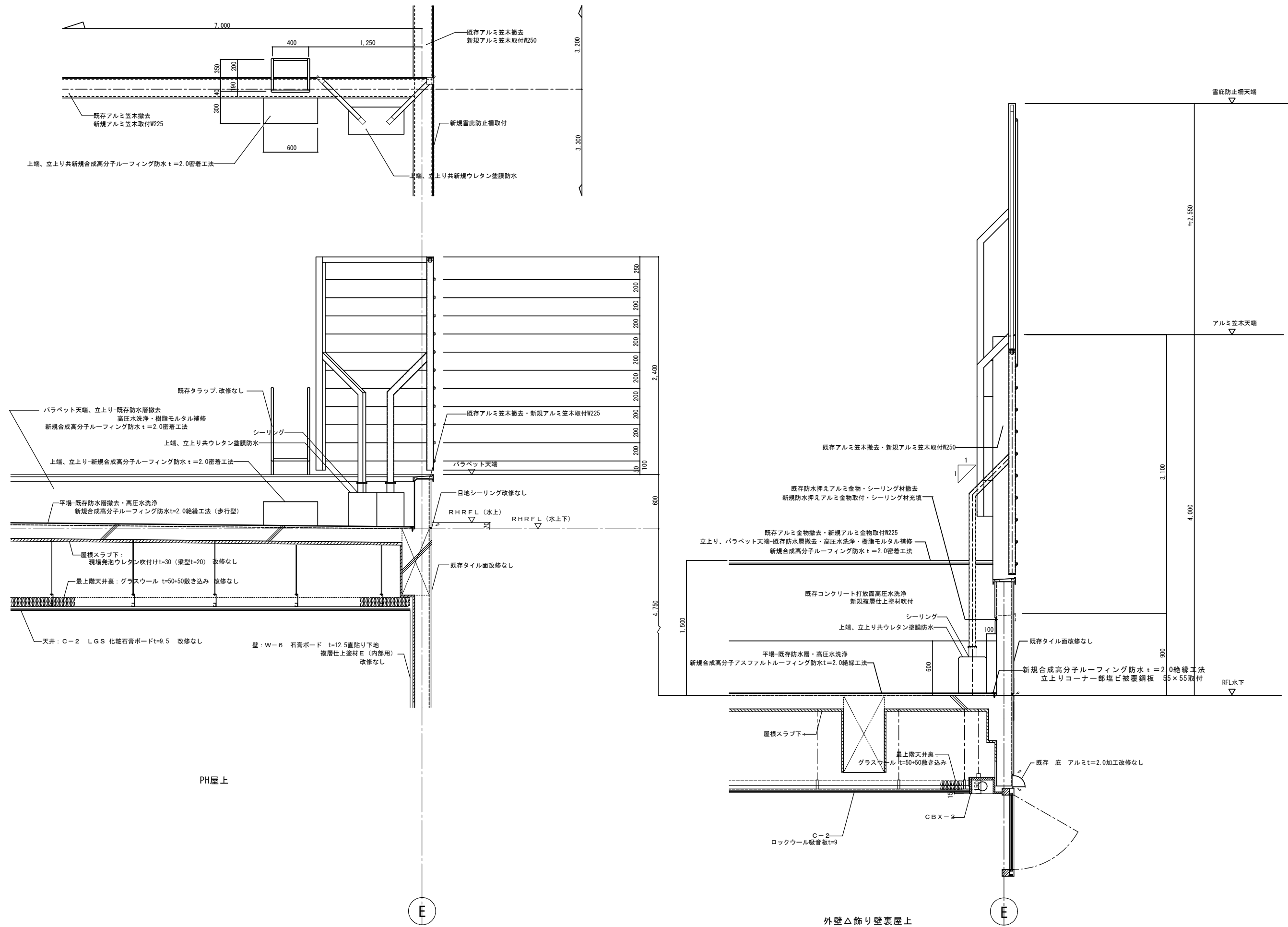
改修後 矩計図 2

日付

日付

R 5 年 11
縮尺 1 : 20

D - 44



(註) 特記なき場合・各図共通・合成高分子ルーフィング防水立上りコーナー部は塩ビ被覆鋼板 55×55取付	(株) 星 野 設 計 事 務 所 1 級 建 築 士 登 録 第 1 7 1 4 1 4 号 渡 邊 陽 一	工事名称	あぶるま苑改修 2 期工事（建築工事）	日付	D - 45
				R 5 年 1 1 月 日	
		図面名称	改修後 矩計図 3	縮尺	

外部コンクリート打放し面目地詳細

絶縁シート

シーリング

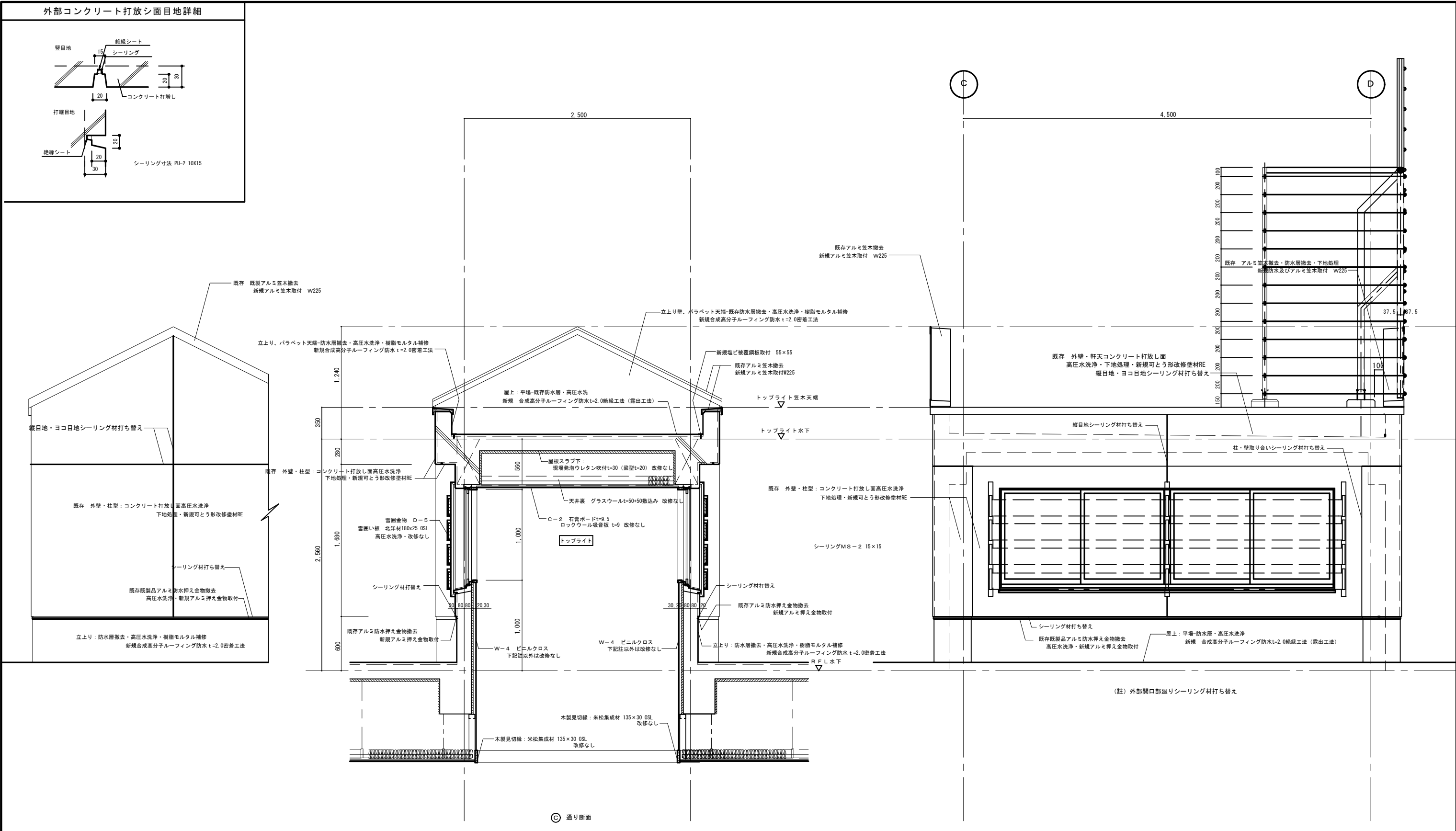
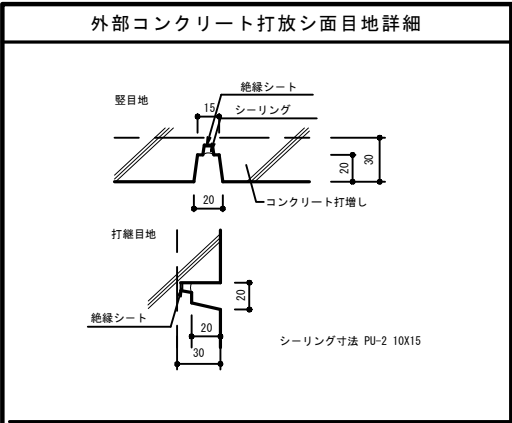
コンクリート打増し

豎目地

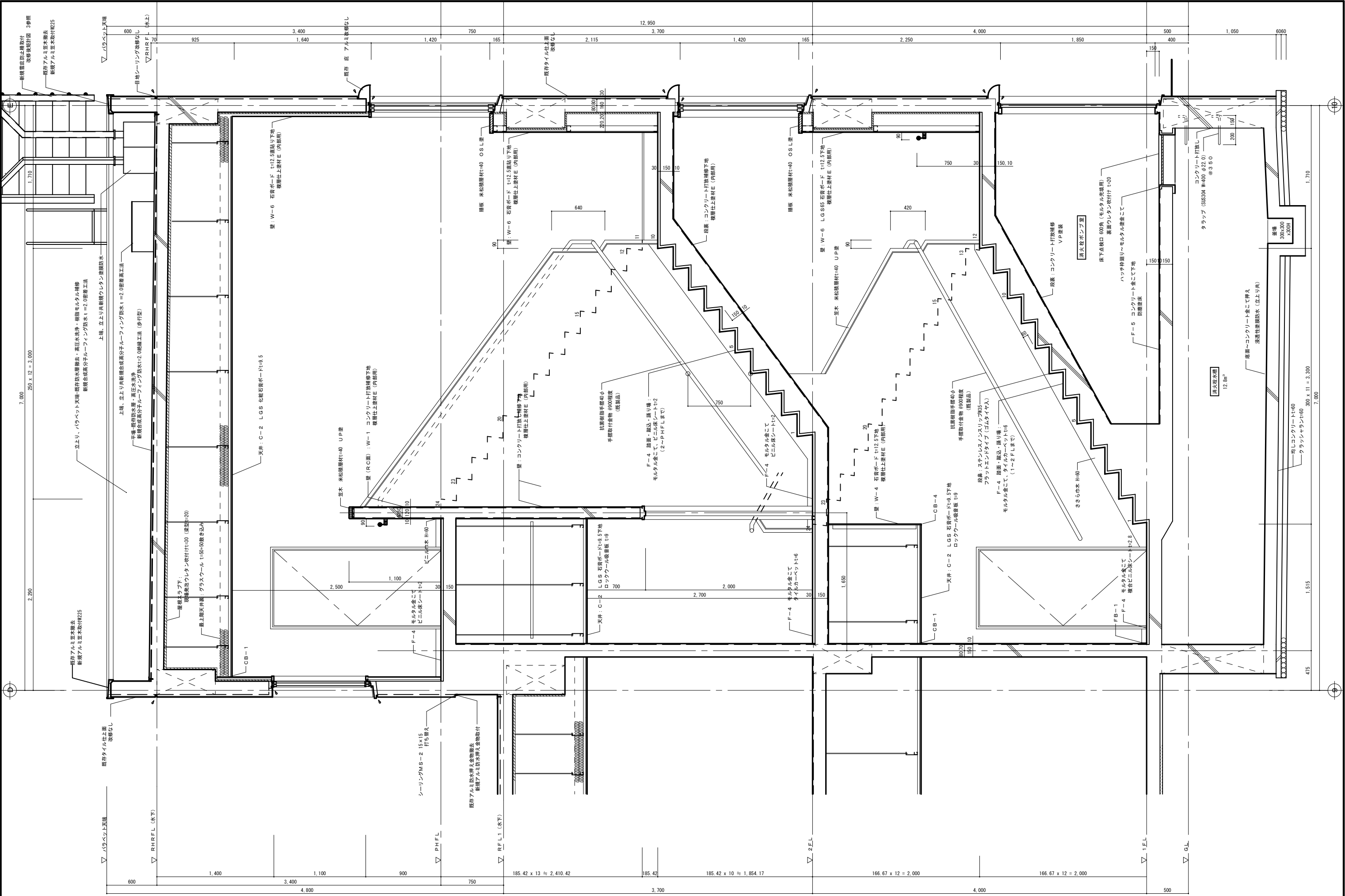
打蔵目地

絶縁シート

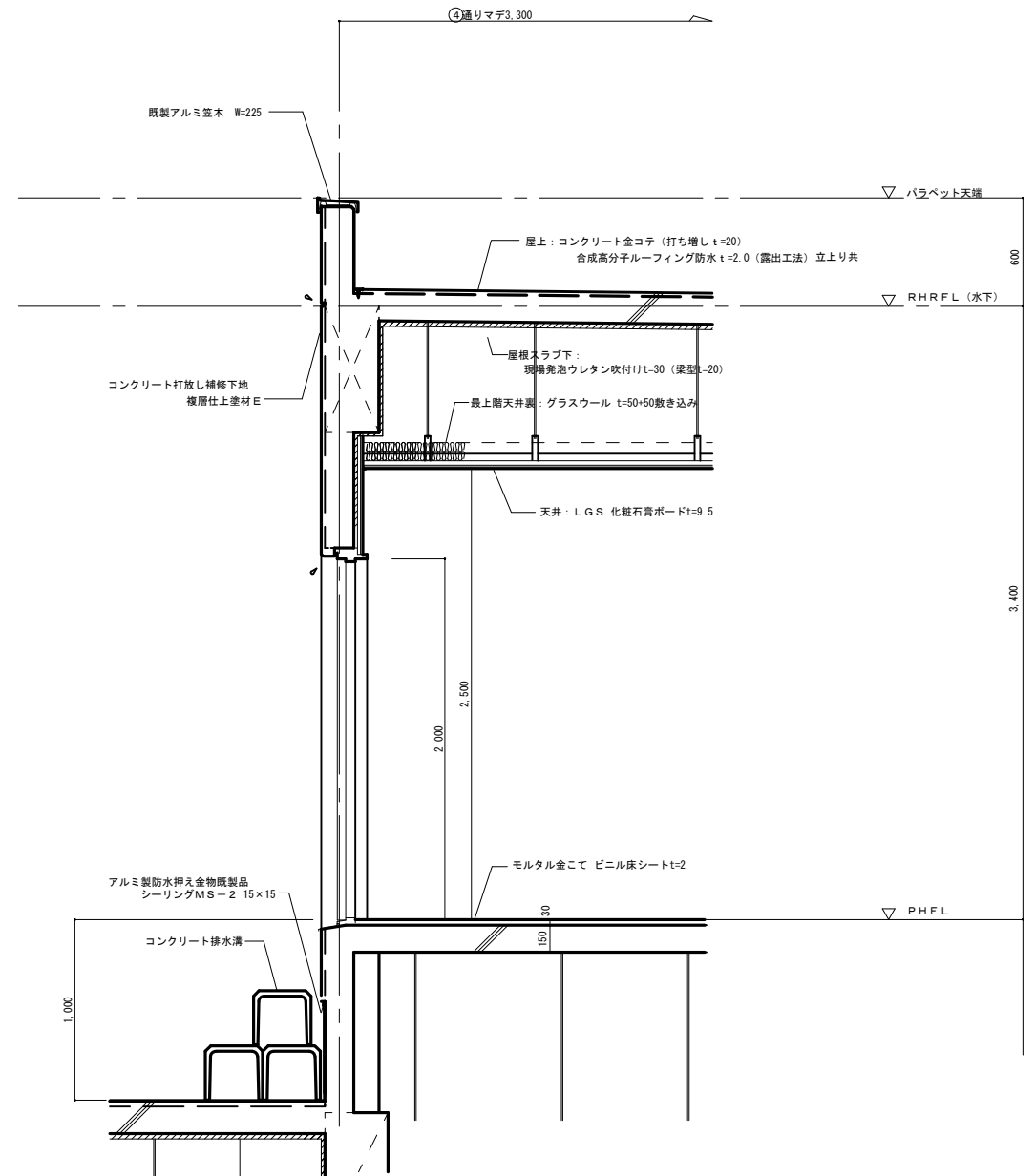
シーリング寸法 PU-2 10X15



(註) トップライト立上り壁ビニルクロス貼り替え有り
上記位置は改修後2階天井伏図参照 ④通り⑥⑦間・⑤⑥通り⑧⑨間 →部分

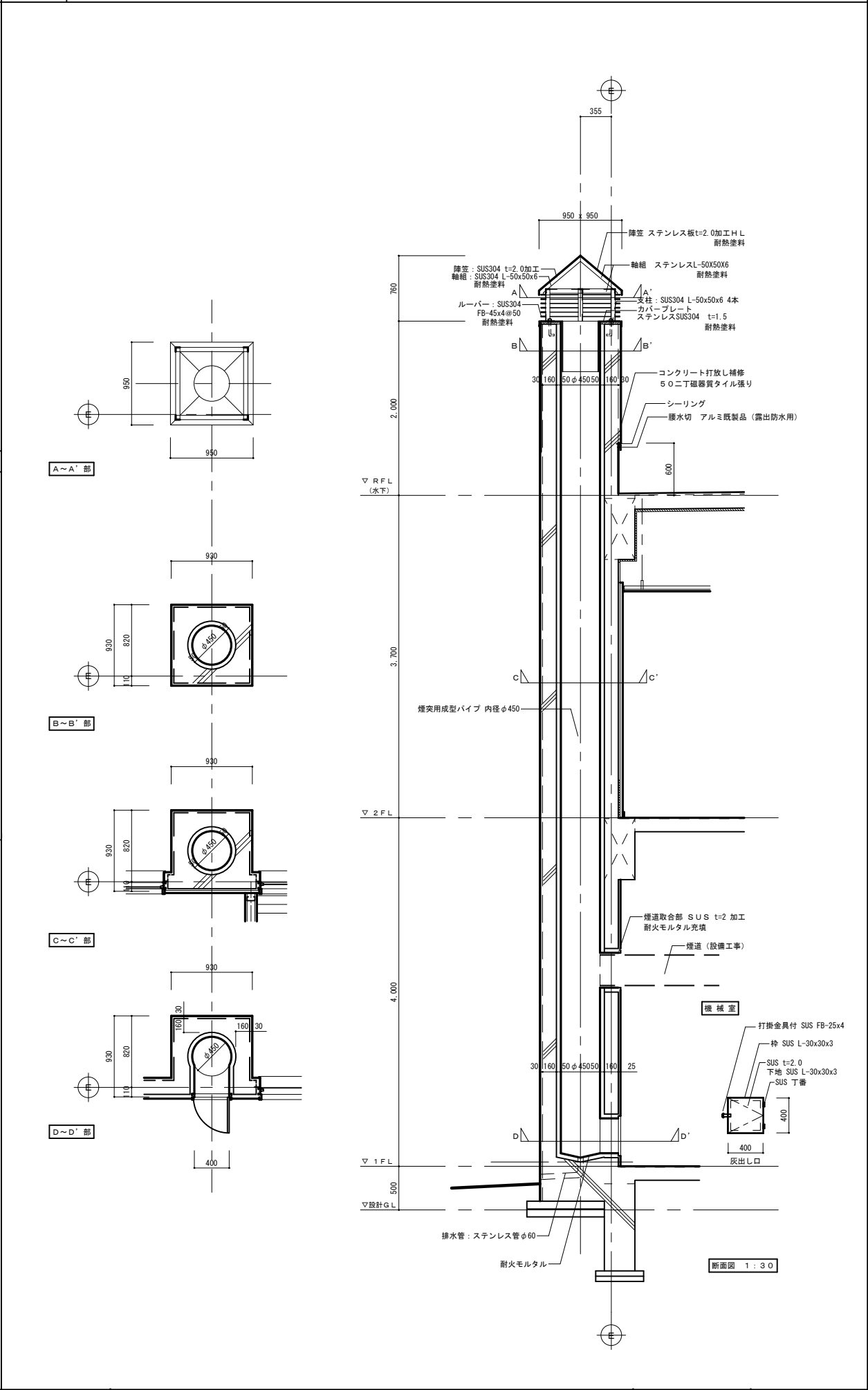
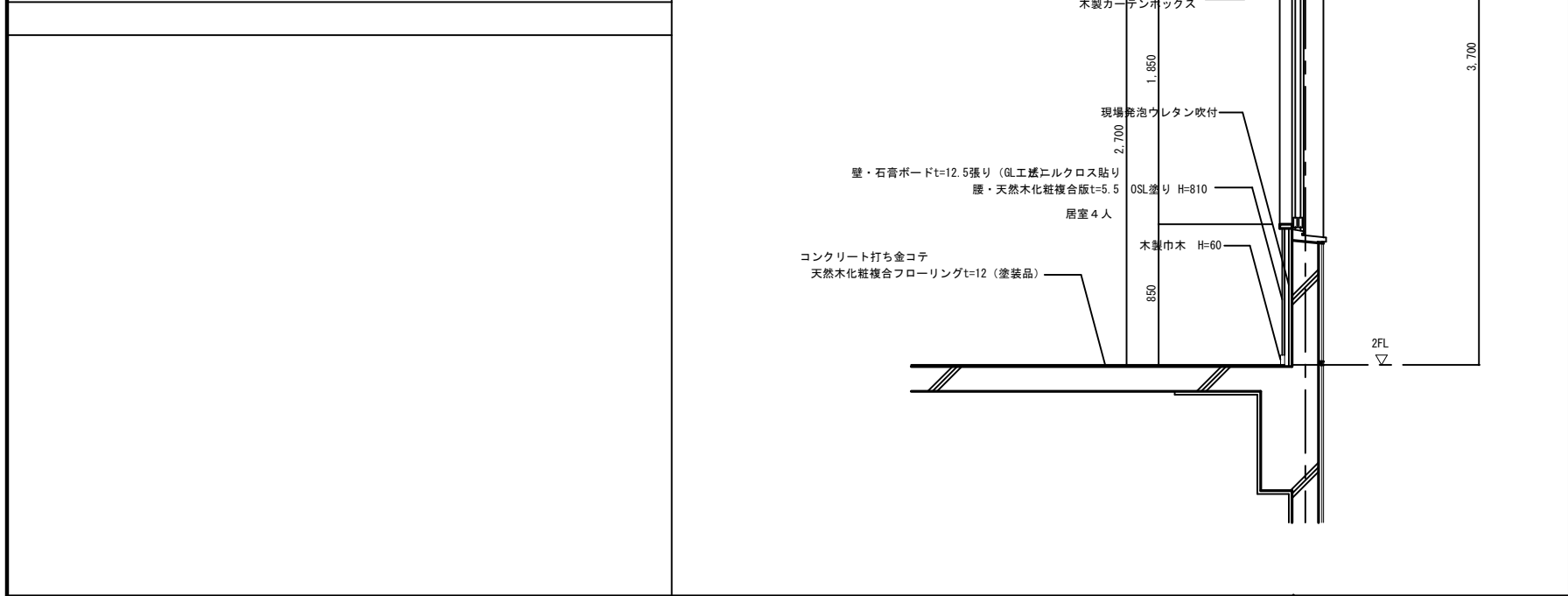
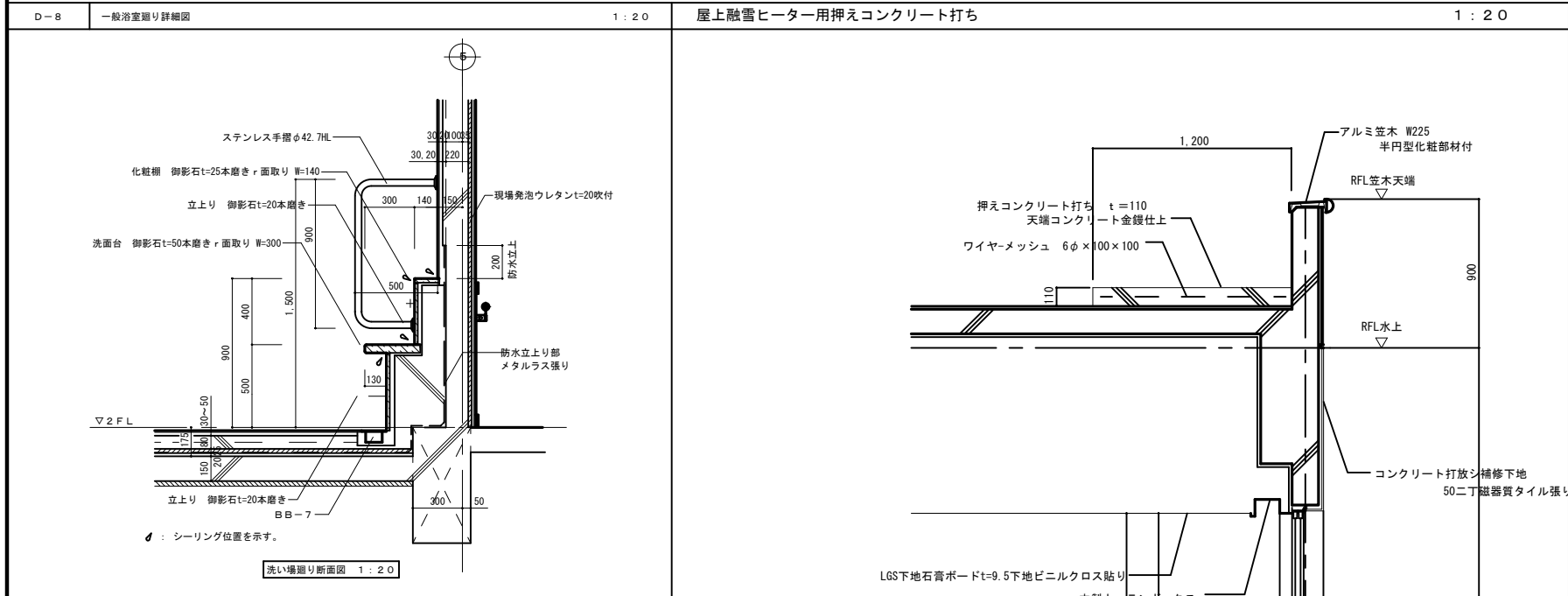
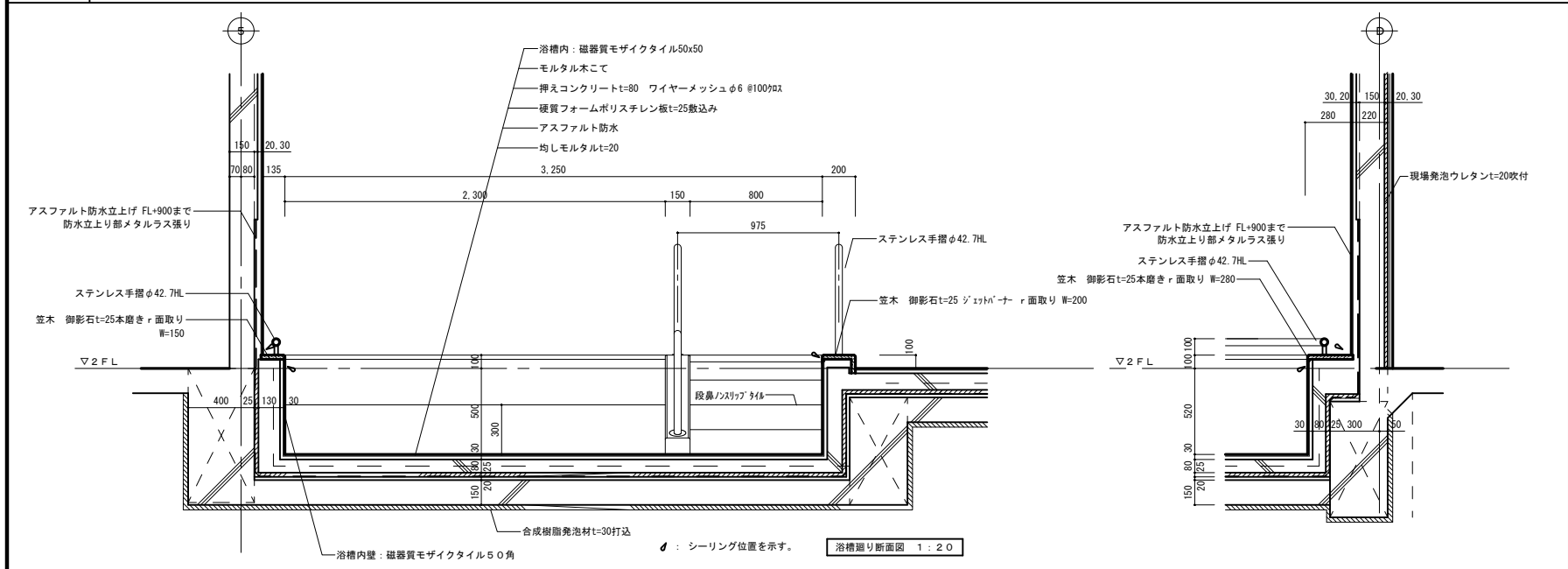


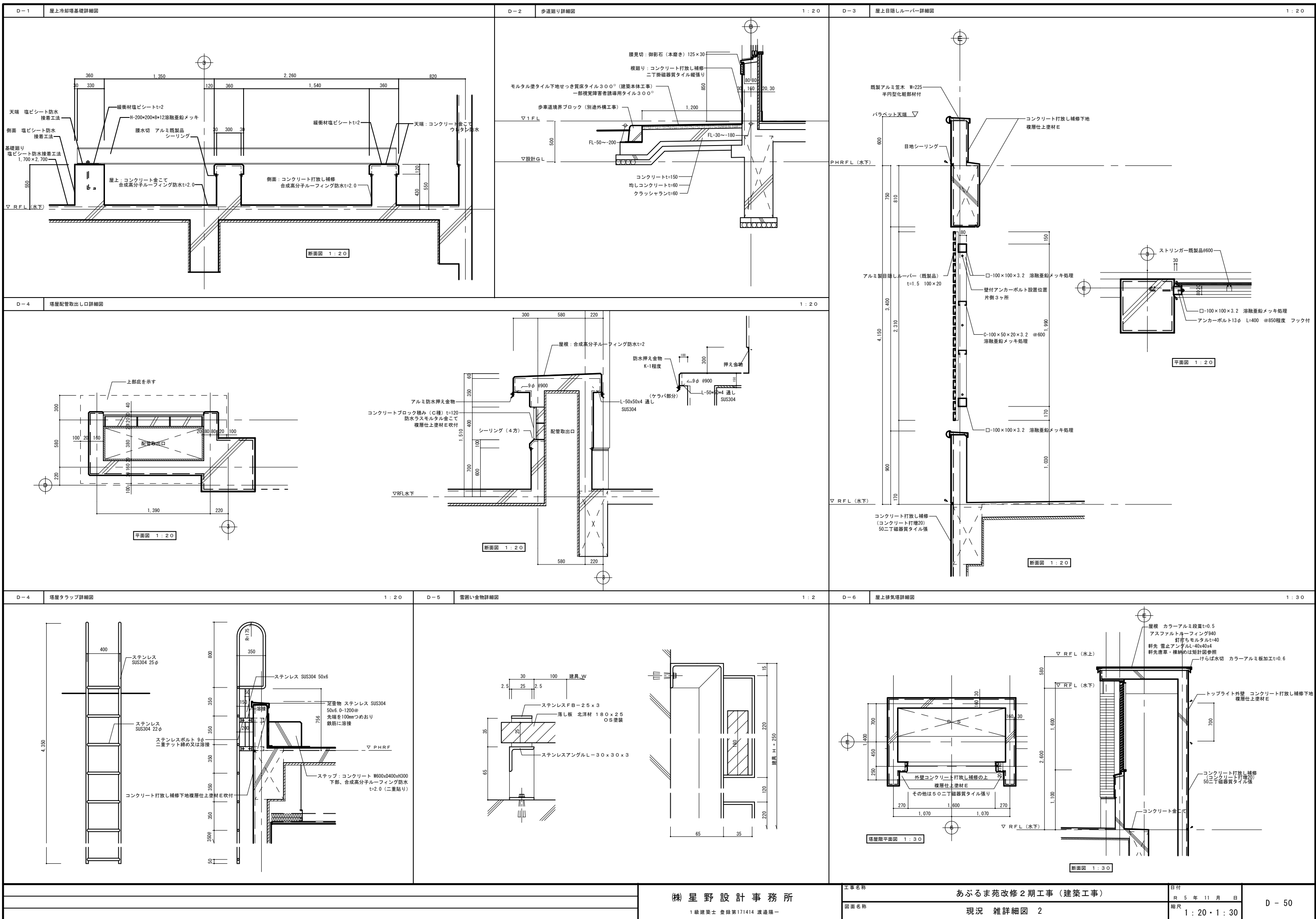
改修前 屋外出入口階段

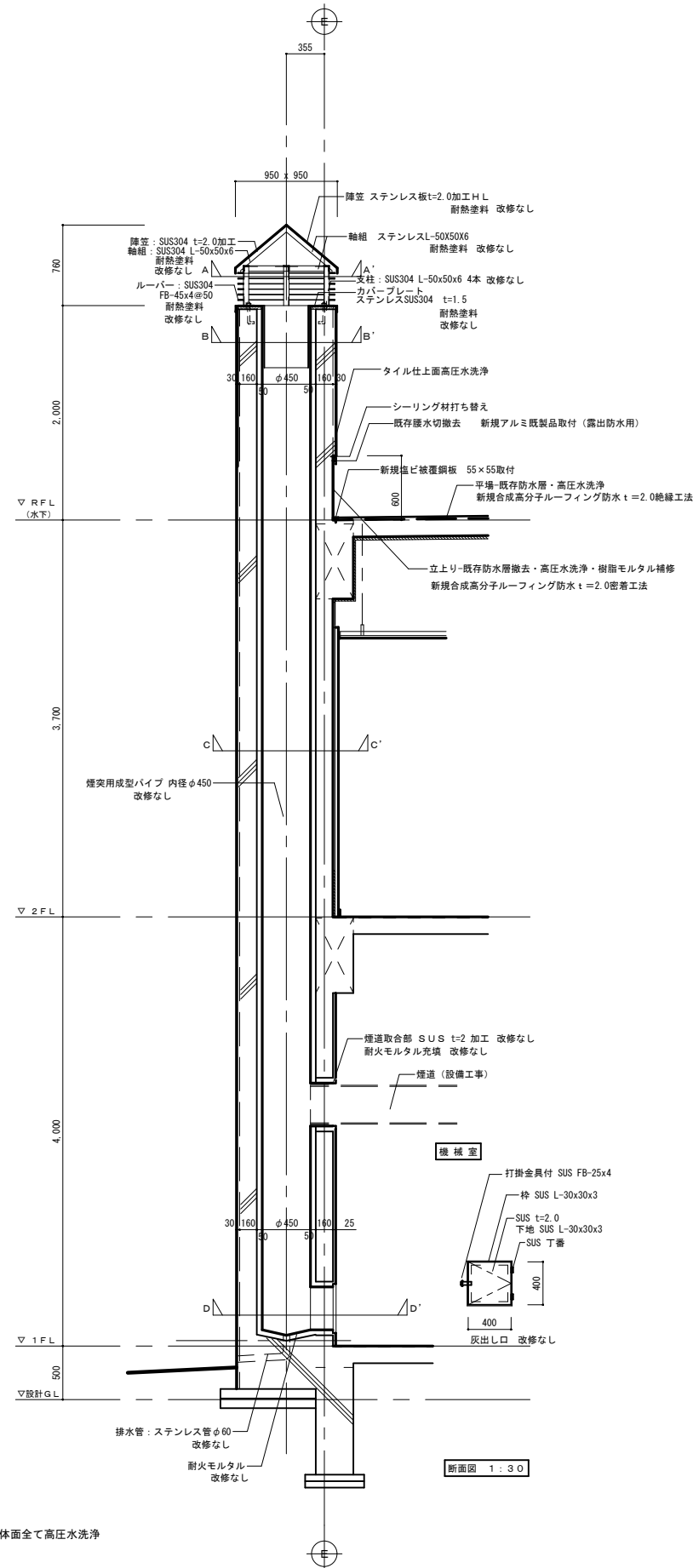
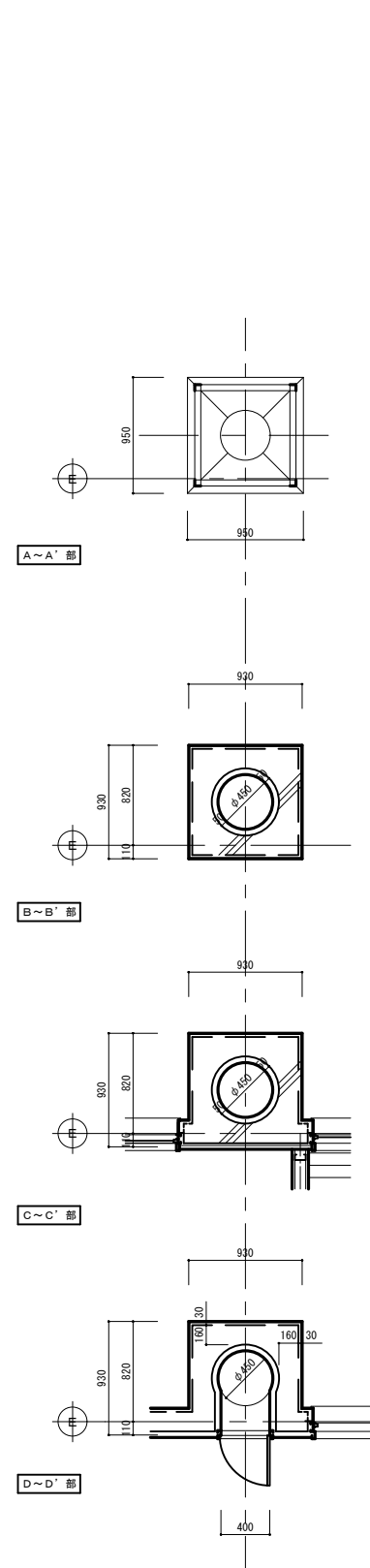
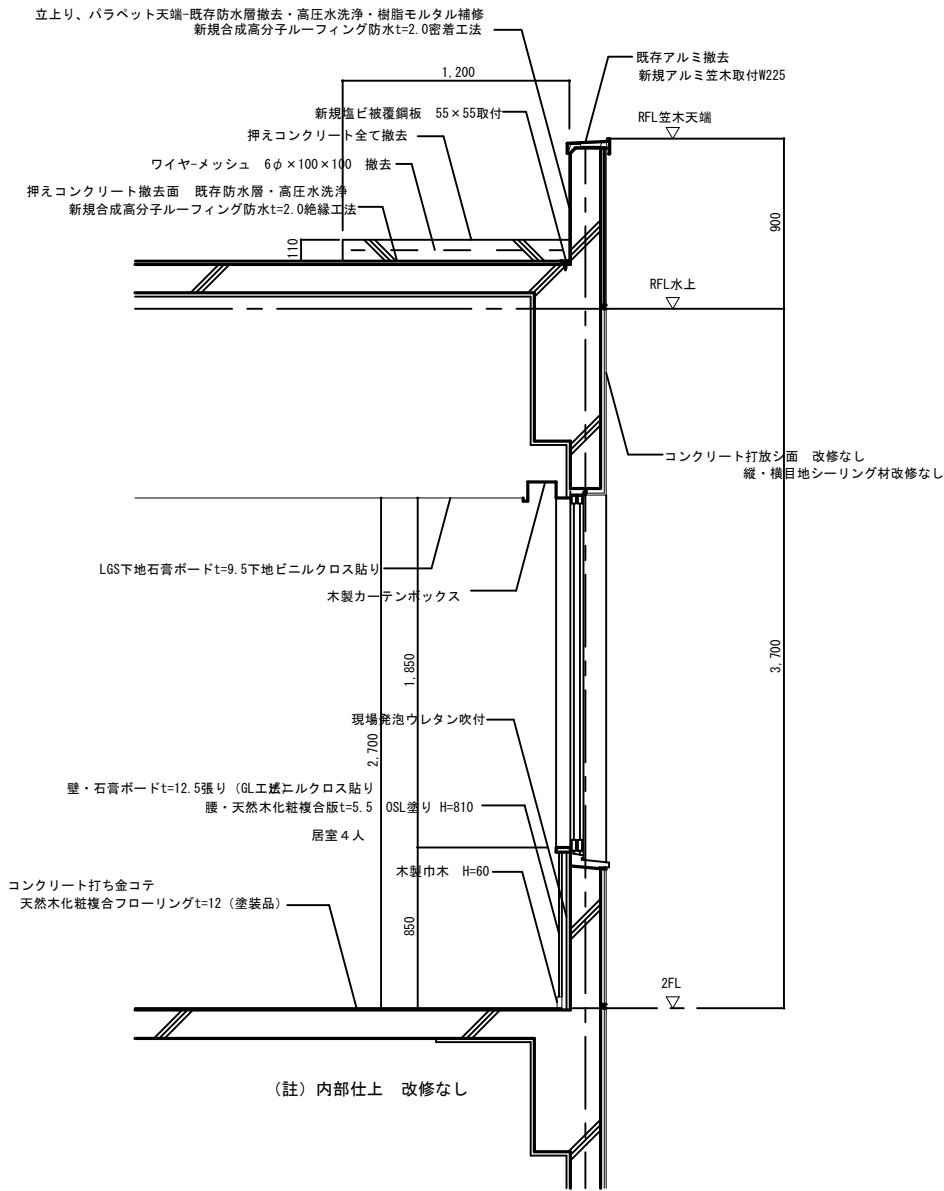


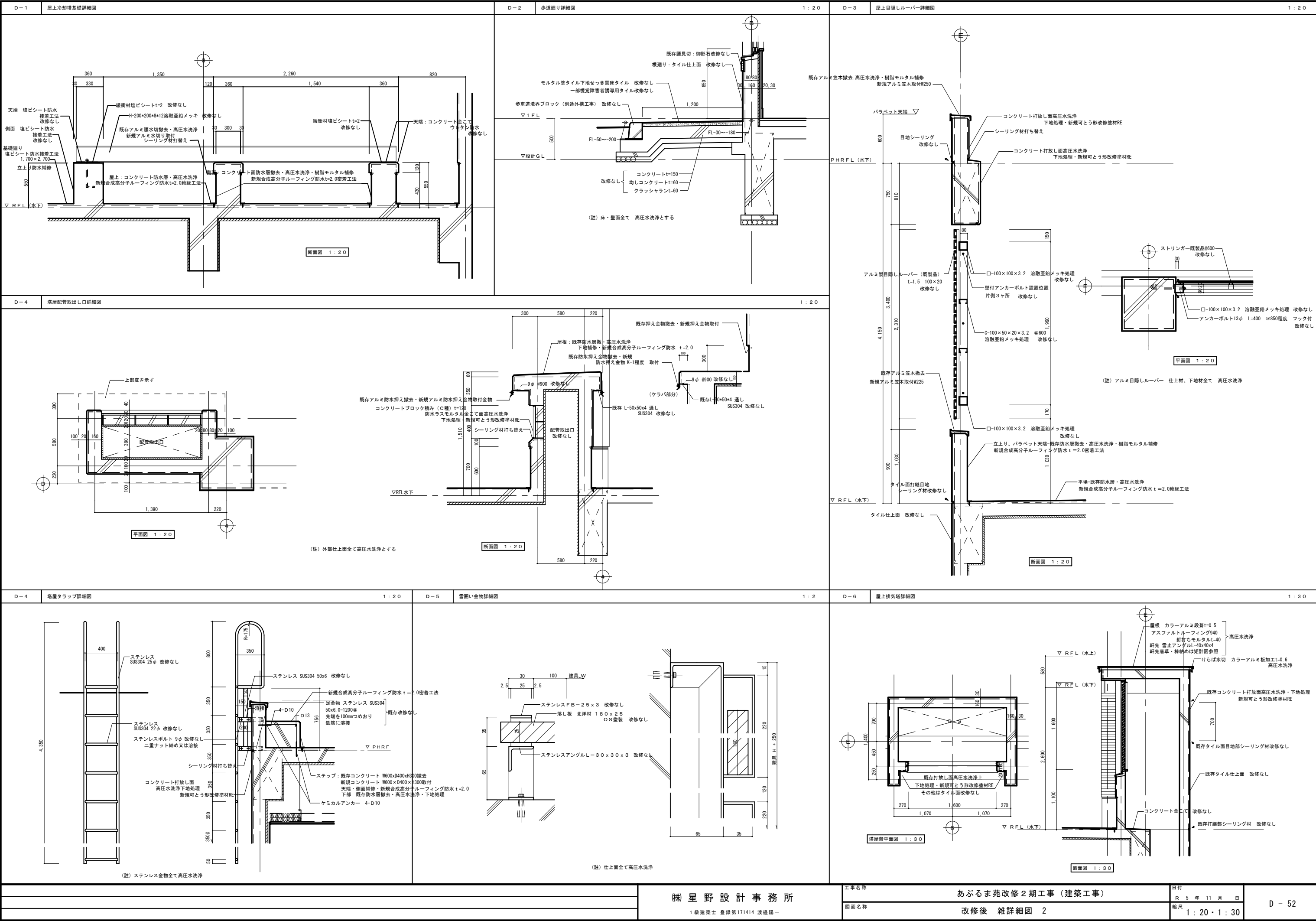
D - 48

1 : 20



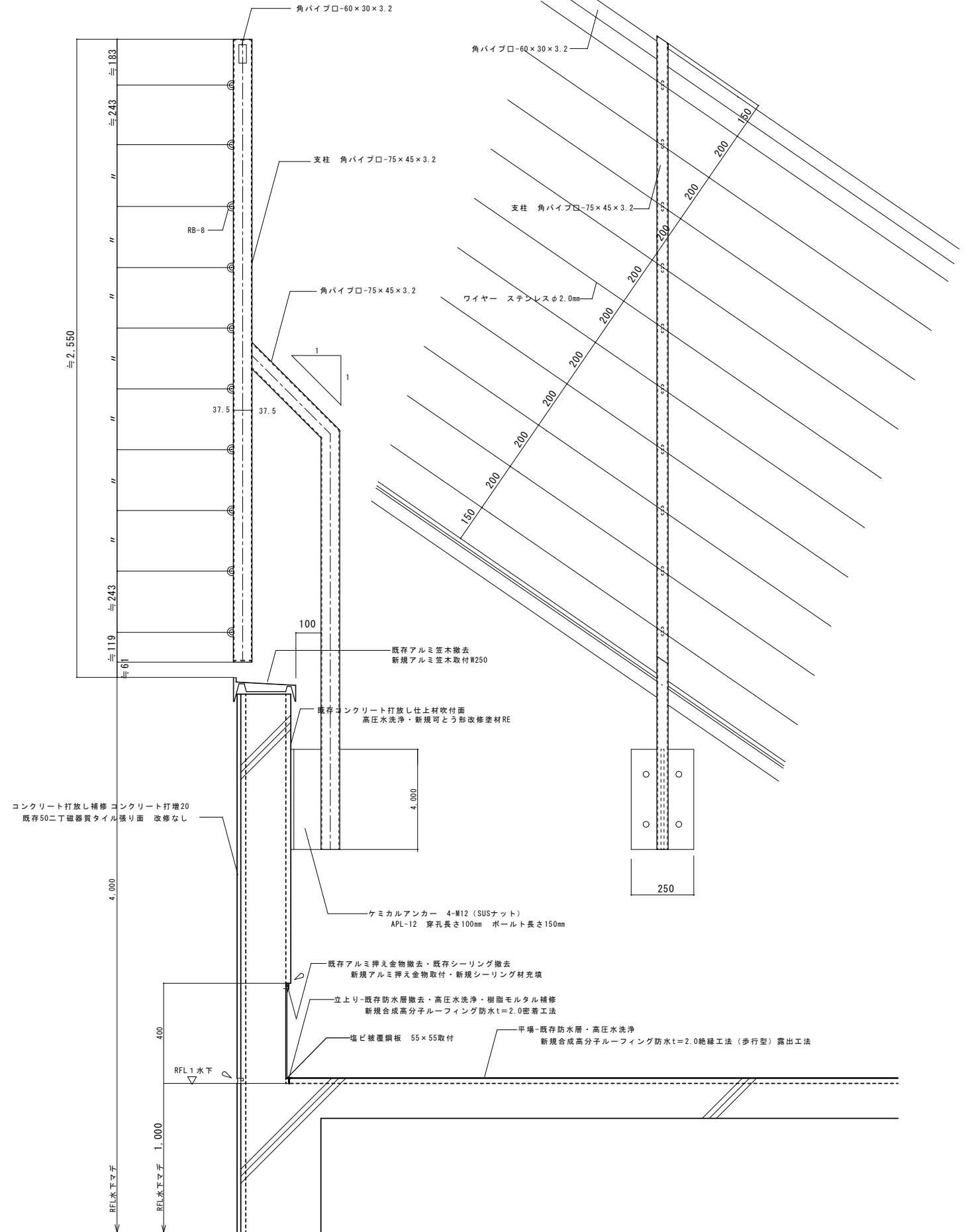






③	改修後屋上笠木（外壁打放し面）	③	改修前屋上笠木（外壁打放し面）	①	改修後屋上笠木（外壁タイル面）	①	改修前屋上笠木（外壁タイル面）
④	改修後屋上笠木（外壁打放し面）	④	改修前屋上笠木（外壁打放し面）	②	改修後屋上笠木（外壁打放し面）	②	改修前屋上笠木（外壁打放し面）
				工事名称 あぶるま苑改修2期工事（建築工事）		日付 R 5 年 11 月 日	
				図面名称 屋上笠木詳細図 1		縮尺 1 : 5	
				（株）星野設計事務所 1級建築士 登録第 171414号 渡邊陽一		D - 53	

		改修前屋上笠木（渡り廊 EXP・J）	⑤改修後屋上笠木（外壁打放し面）	⑤改修前屋上笠木（外壁打放し面）
		改修前屋上笠木（渡り廊 EXP・J）		改修前屋上笠木（渡り廊下）
			<div>工事名称あぶるま苑改修２期工事（建築工事）</div> <div>図面名称屋上笠木詳細図 2</div>	<div>日付R 5 年 11 月 日</div> <div>縮尺1 : 5</div>
		<div>（株）星野設計事務所</div> <div>1級建築士 登録第 171414号 渡邊 隆一</div>	D - 54	



(註) 特記なき場合は下記による

鋼材は全て溶融亜鉛メッキ（ドブ）品とする

ワイヤー端部はタンバクル・専用クリップ止めとする

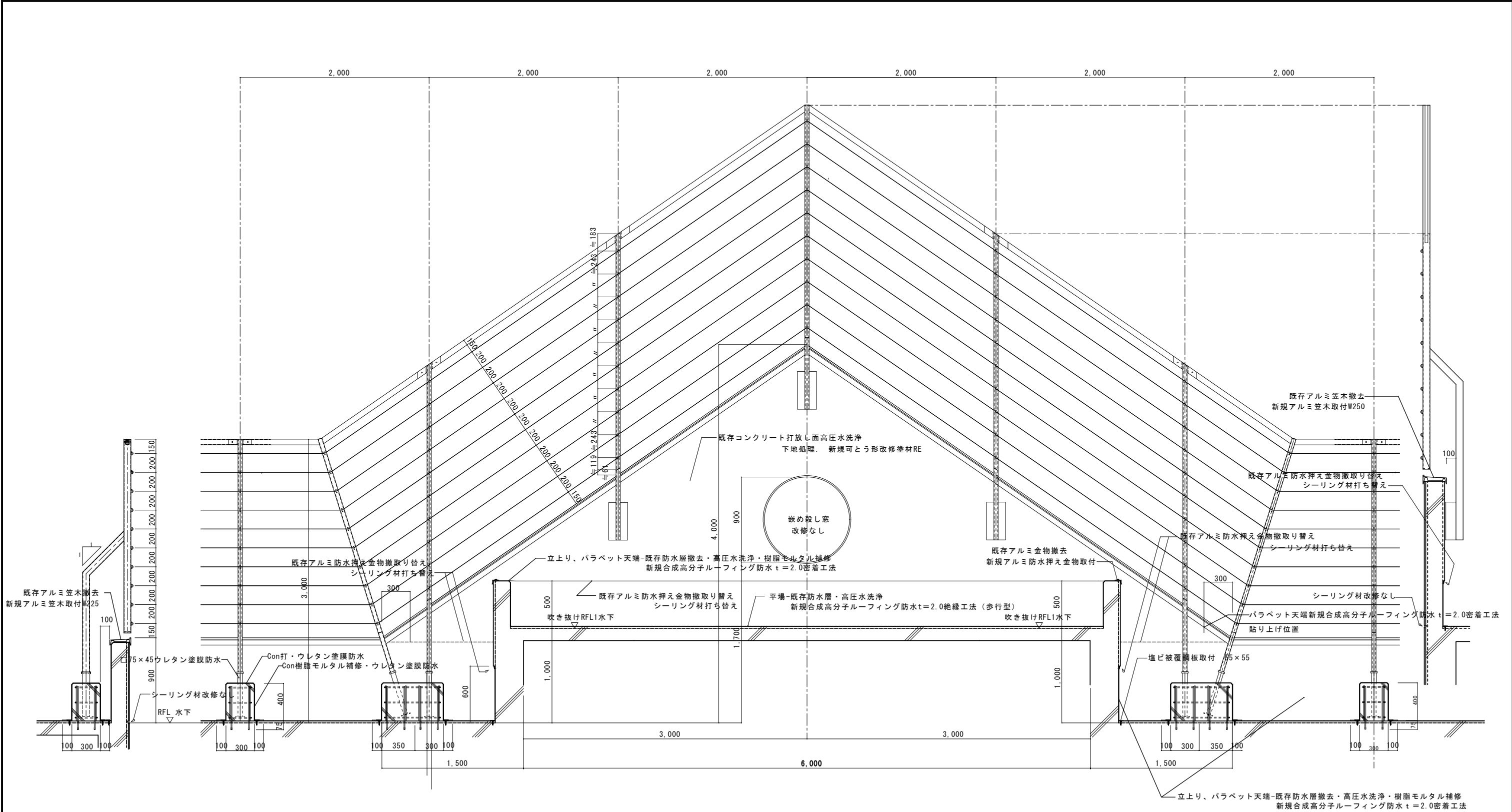
基礎コンクリート Fc-21.S-18 天端はコンクリート即時金コテ仕上 ウレタン塗膜防水

側面コンクリート打放シ補修地下ウレタン塗膜防水

各基礎鉄筋 スラブにケミカルアンカーD10 4本打込、縦筋に接続

渡り廊下部分1スパンは下からワイヤーを取付ない （渡り廊下屋根の管理のため）

	<div>(株) 星 野 設 計 事 務 所</div> <div>1級建築士　登録第　171414号　渡邊陽一</div>	工事名称	あぶるま苑改修2期工事（建築工事）	日付	D - 55
		図面名称	雪底防止柵詳細図　1	R　5　年　11　月　日	
				縮尺	



(註) 特記なき場合は下記による

鋼材は全て溶融亜鉛メッキ (ドブ) 品とする

ワイヤー端部はタンバクル・専用クリップ止めとする

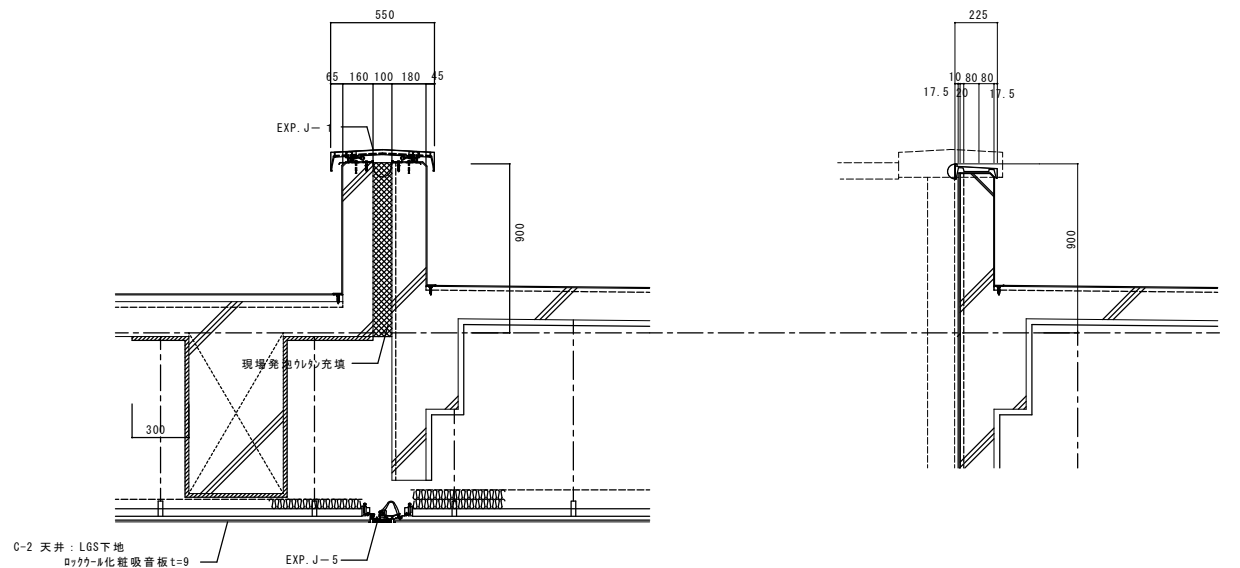
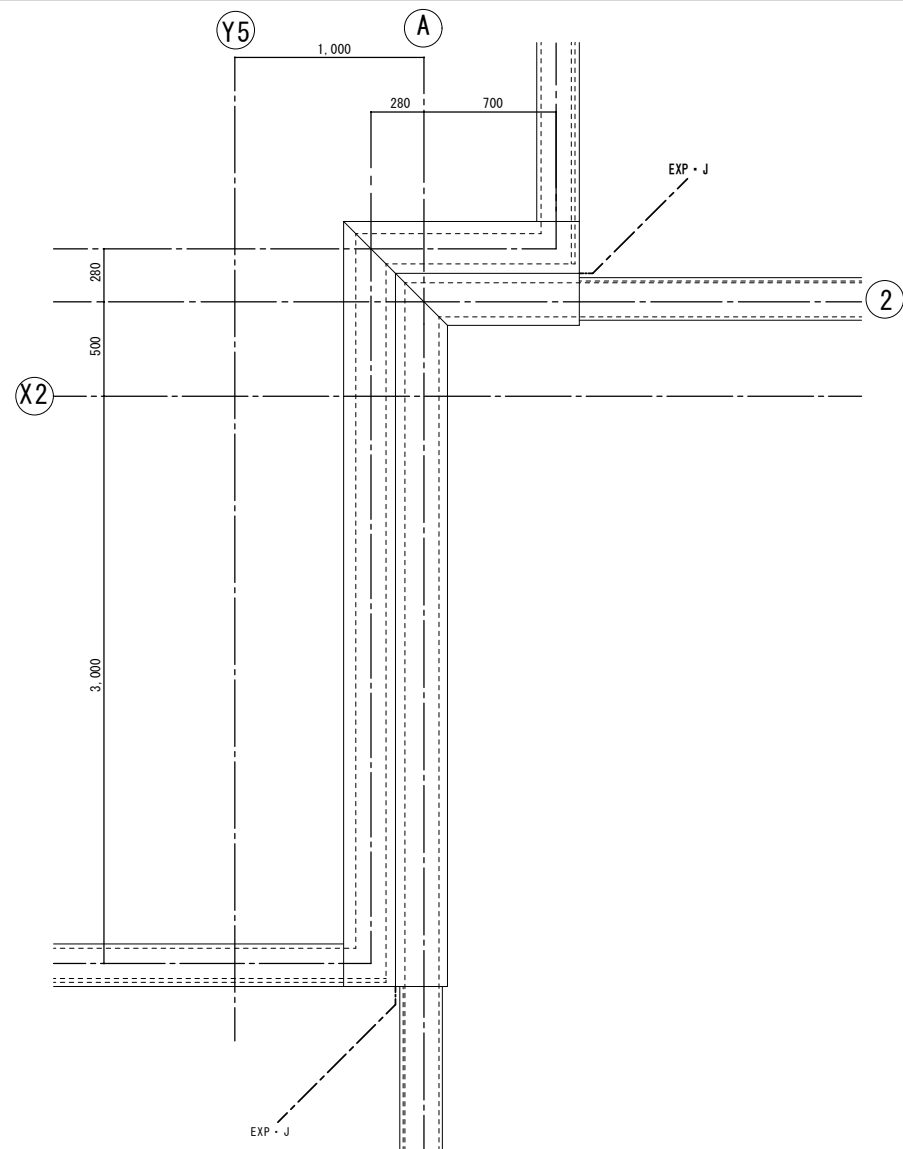
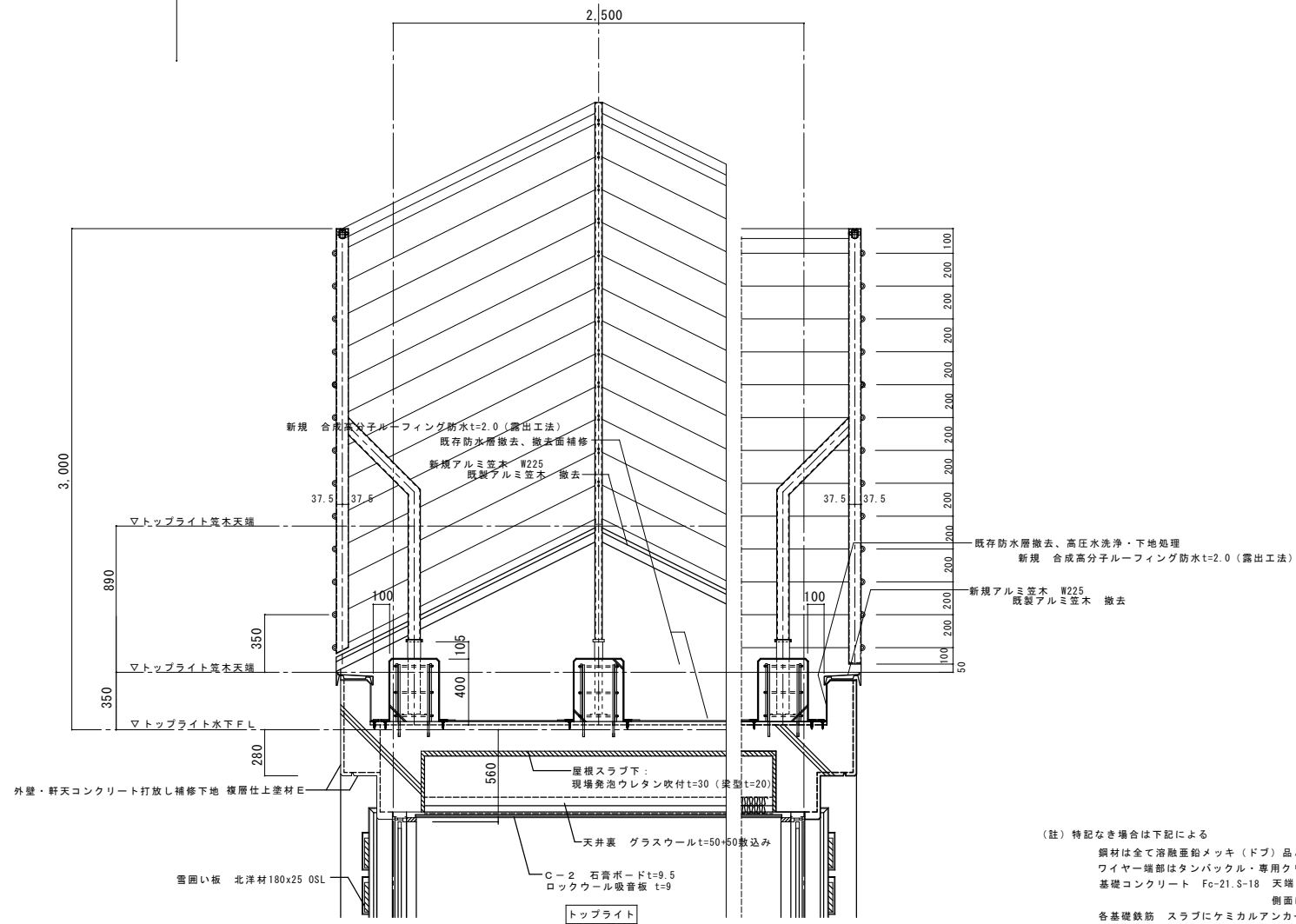
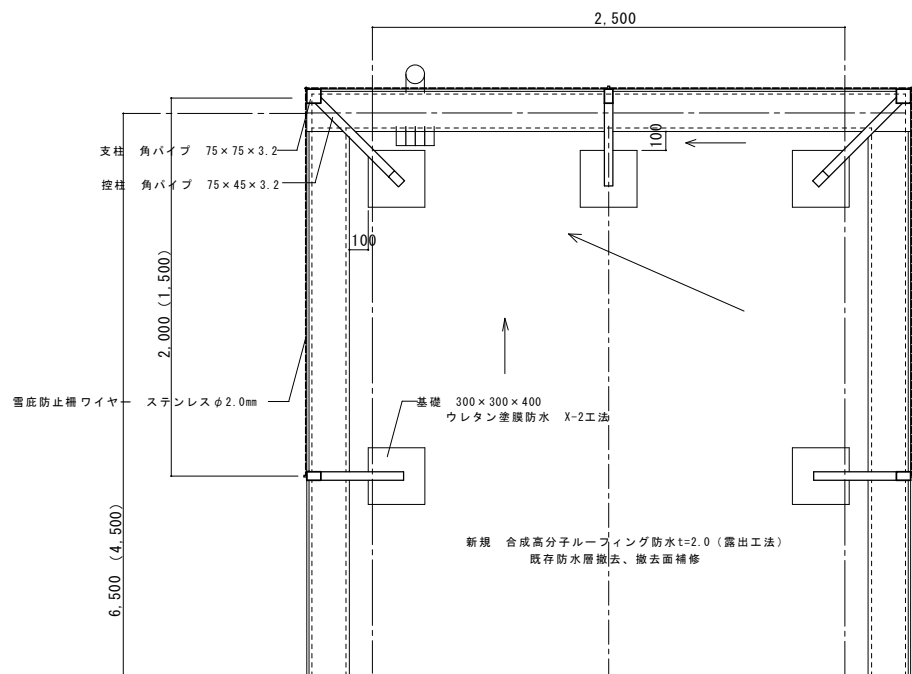
基礎コンクリート Fc-21, S-18 天端はコンクリート即時金コテ仕上 ウレタン塗膜防水

側面コンクリート打放補修下地ウレタン塗膜防水

各基礎鉄筋 スラブにケミカルアンカーD10 4本打込、縦筋に接続

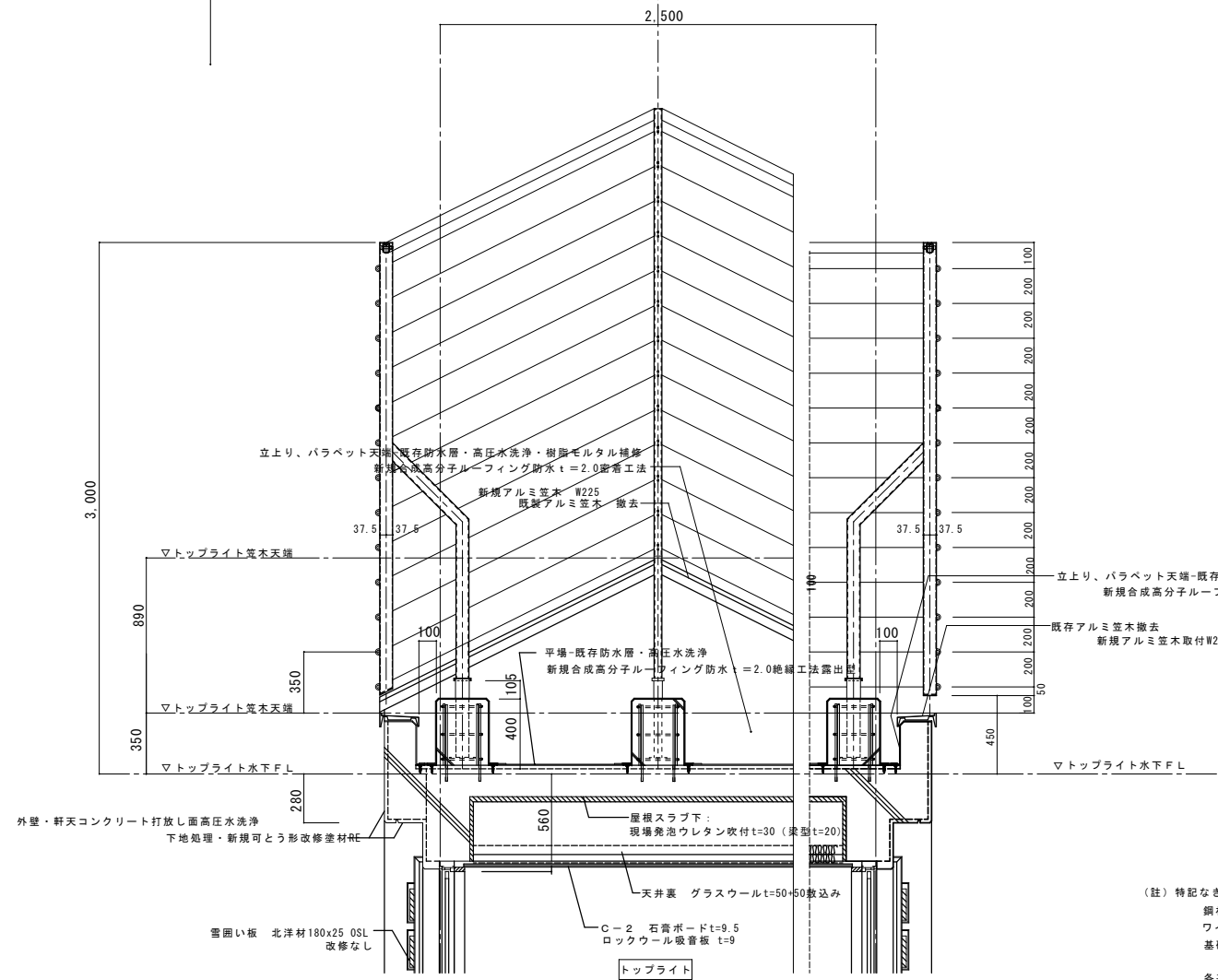
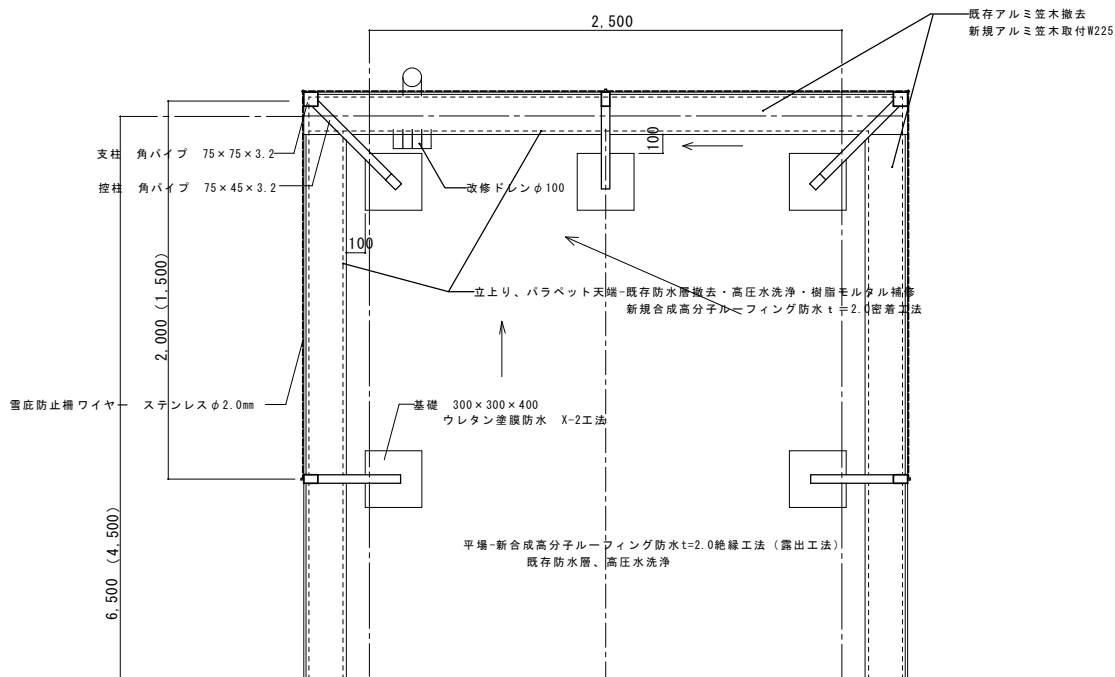
鋼材の材料・寸法等は雪庇防止柵詳細図 1 による

	<div>(株) 星 野 設 計 事 務 所</div> <div>1級建築士 登録第 171414号 渡邊 隆一</div>	工事名称	あぶるま苑改修2期工事（建築工事）	日付	D - 56
				R 5 年 11 月 日	
		図面名称	雪庇防止柵詳細図 2	縮尺	

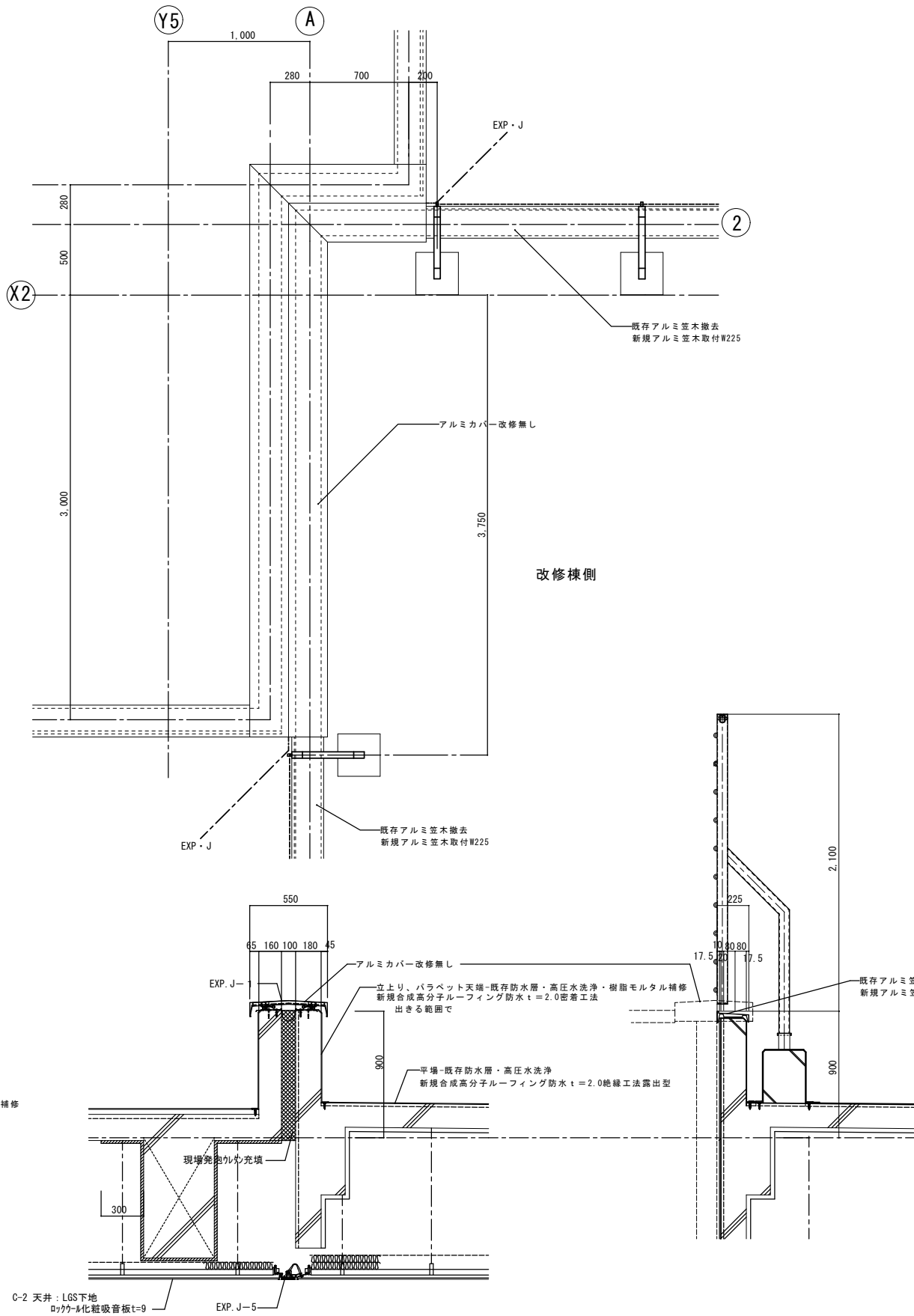


(註) 特記なき場合は下記による
鋼材は全て溶融亜鉛メッキ (ドブ) 品とする
ワイヤー端部はタンバクル・専用クリップ止めとする
基礎コンクリート Fc=21.5-18 天端はコンクリート即時金コテ仕上 ウレタン塗膜防水
側面はコンクリート打放し補修下地 ウレタン塗膜防水
各基礎鉄筋 スラブにケミカルアンカーD10 4本打込、縦筋に接続
鋼材の材料・寸法等は雪底防止柵詳細図 1 による

(註) トップライト屋上の雪底防止柵は雪底防止柵詳細図 3参照		株式会社 星野設計事務所 1級建築士 登録第 171414号 渡邊 隆一	工事名称	あぶるま苑改修2期工事（建築工事）		日付	D - 57
㊦ シーリング材充填位置を示す 既存外壁コンクリート打放し面のシーリングは全て打ち替えとする			図面名称	雪底防止柵詳細図 3 現況 EXP・J 廻り納まり		R 5 年 11 月 日	
特記なき場合の内部改修はなし					縮尺	1 : 20	



(註) 特記なき場合は下記による
鋼材は全て溶融亜鉛メッキ（ドブ）品とする
ワイヤー端部はタンバクル・専用クリップ止めとする
基礎コンクリート Fc-21.S-18 天端はコンクリート即時金コテ仕上 ウレタン塗膜防水
側面はコンクリート打放し補修下地 ウレタン塗膜防水
各基礎鉄筋 スラブにケミカルアンカーD10 4本打込、縦筋に接続
鋼材の材料・寸法等は雪庇防止柵詳細図1による



(註) トップライト屋上の雪庇防止柵は雪庇防止柵詳細図 3参照

シーリング材充填位置を示す 既存外壁コンクリート打放し面のシーリングは全て打ち替えとする

特記なき場合の内部改修はなし

株式会社 星野設計事務所

1級建築士 登録第 171414号 渡邊 隆一

工事名称

あぶるま苑改修2期工事（建築工事）

図面名称

雪庇防止柵詳細図 4 改修後 EXP・J 廻り納まり

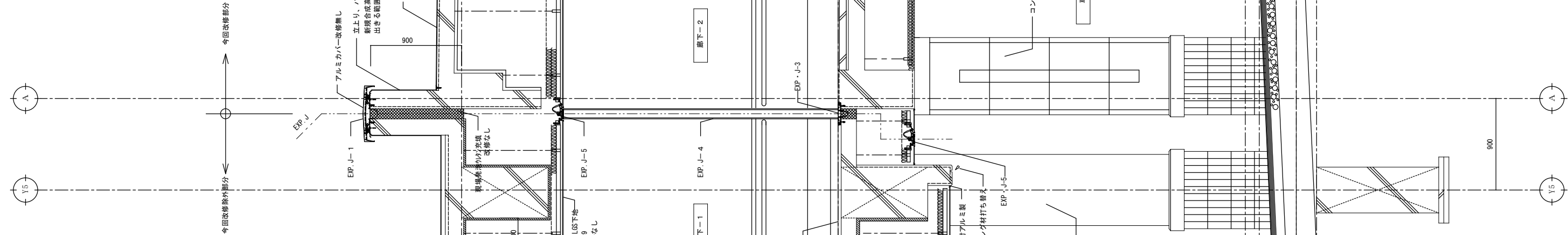
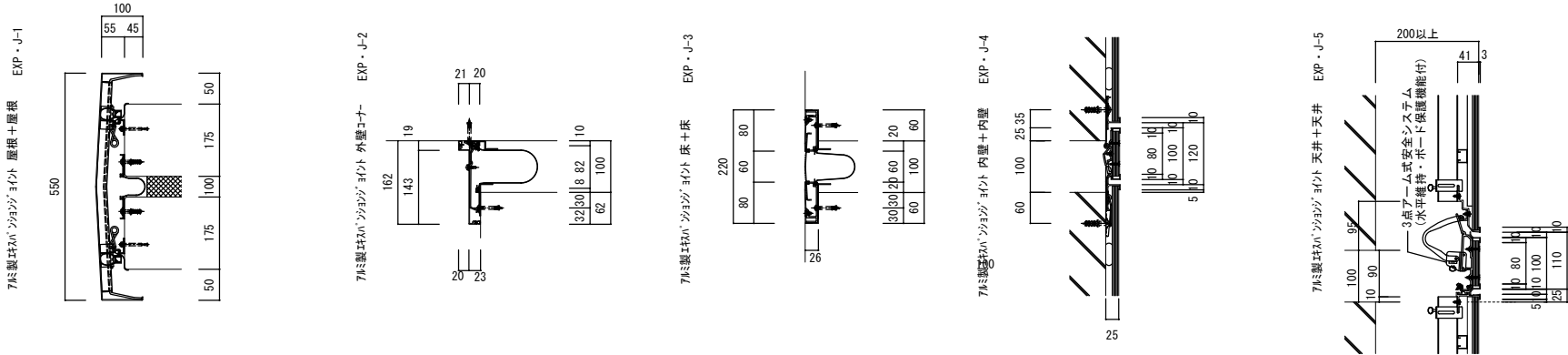
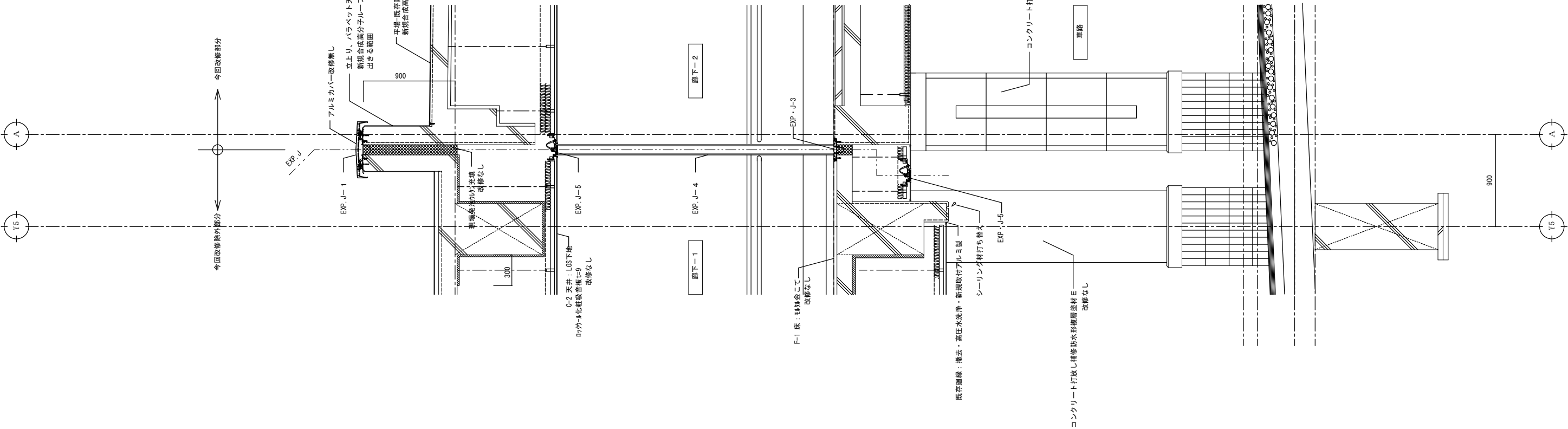
日付

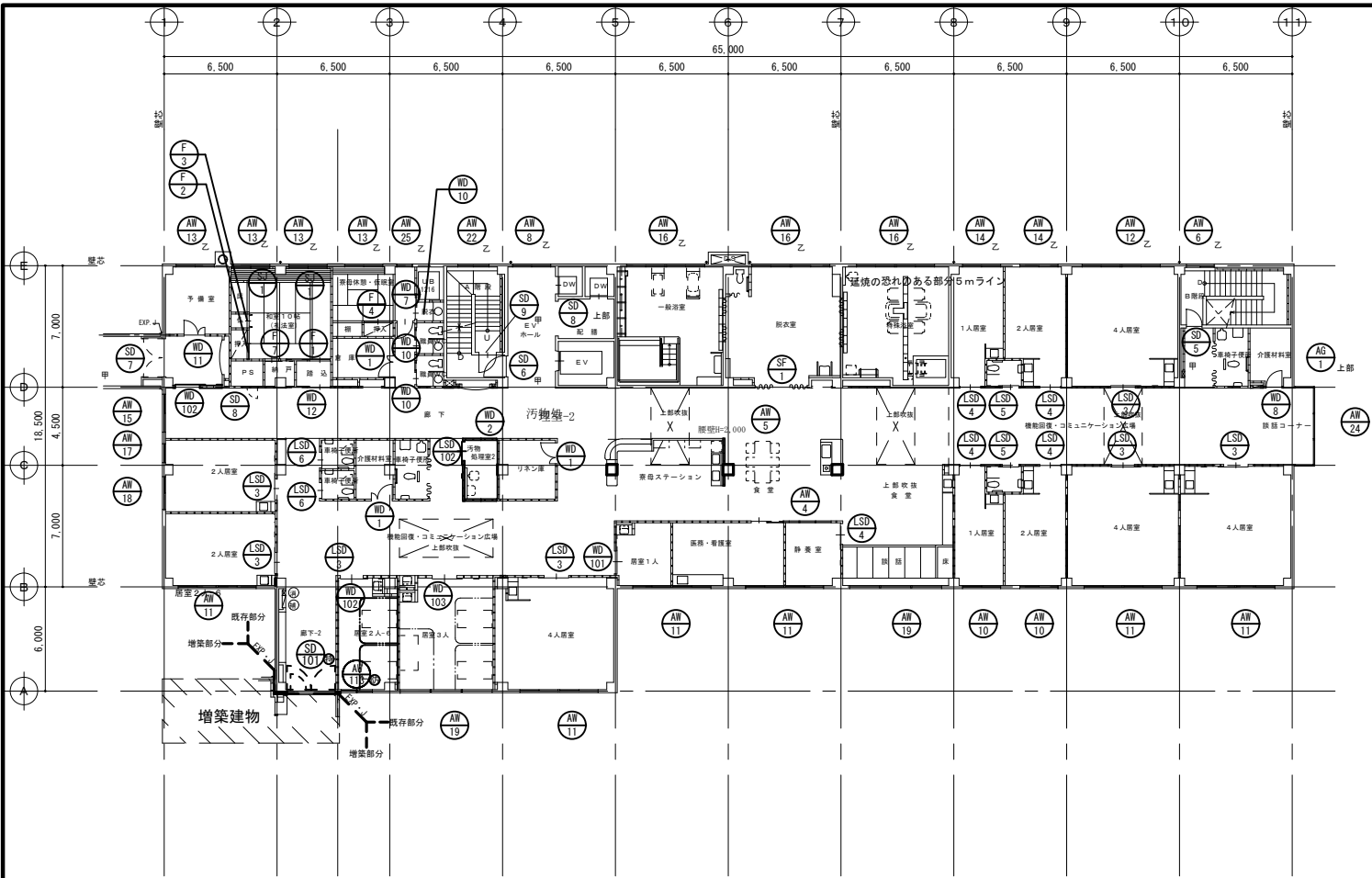
R 5 年 11 月 日

縮尺

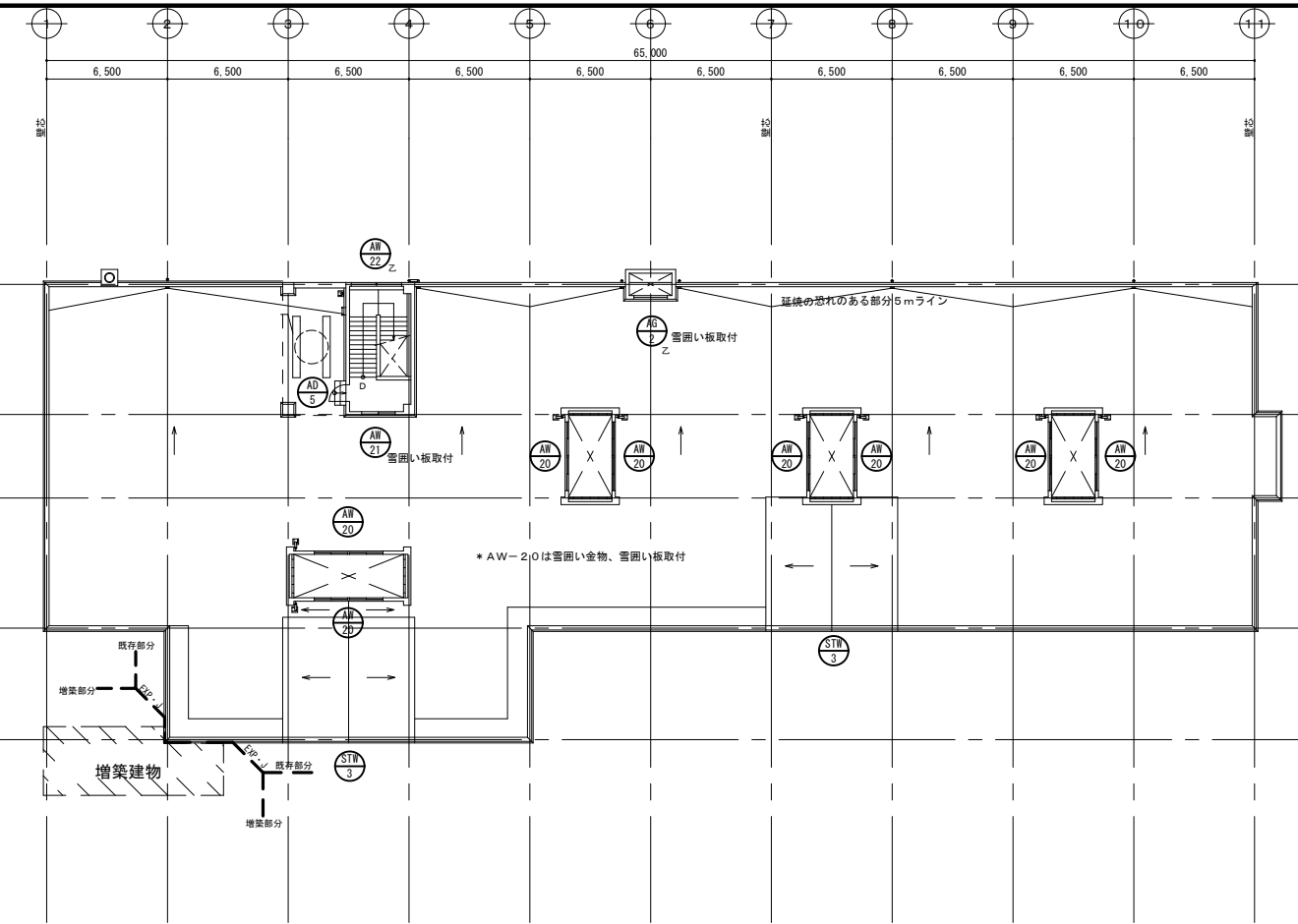
1 : 20

D - 58

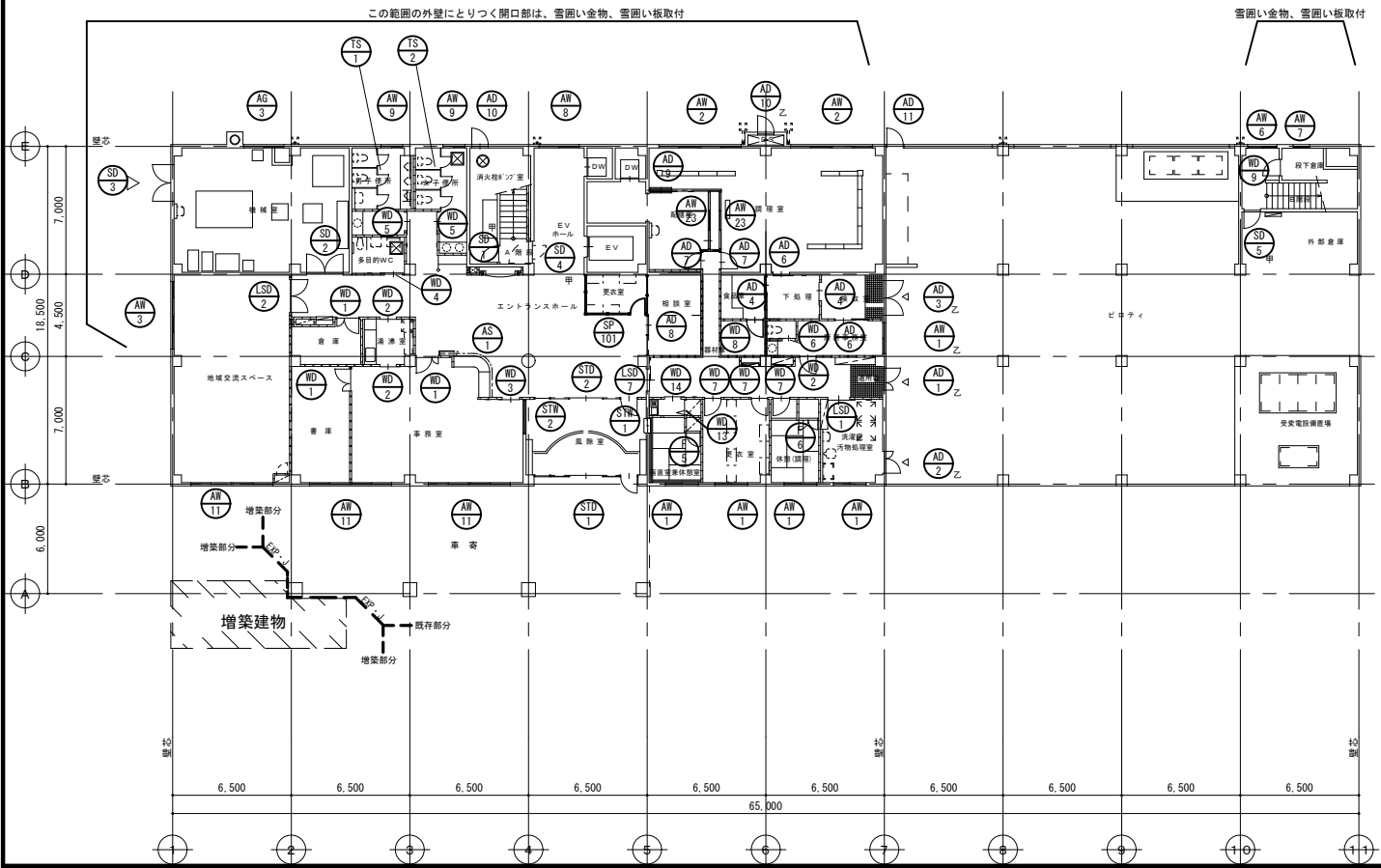




2階建具案内図 1:200



塔屋階建具案内図 1:200



1階建具案内図 1:200

